

年  
報  
  
二  
〇  
二  
一  
  
(  
令  
和  
三  
)  
  
年  
度



# 年 報

2 0 2 1 ( 令 和 3 ) 年 度

Annual Report 2021

Kaishi Professional University

開  
志  
專  
門  
職  
大  
學

## はじめに

開志専門職大学  
学長 北畑 隆生

昨年につき、年報第二号が完成しました。

2020年4月に事業創造学部と情報学部の2学部で開学した開志専門職大学は、2021年にアニメ・マンガ学部を設置し、3学部体制での2年目となりました。いずれの学部も関連する業界は成長分野であり、高度な専門人材が求められており、専門職大学制度創設の趣旨に沿ったものです。現在のところ国内で唯一の総合専門職大学として、3学部のシナジーが発揮できるような取組みが、益々重要となると思います。

その取組みの一つが、全学参加で実施してきた開志ビジネスプランコンテスト等による起業家育成です。教職員による指導、「開志エンジェルファンド」など、学生の起業支援制度の整備により、早くも大学発ベンチャーが誕生したことは心強い限りです。

臨地実務実習が情報学部でもスタートしました。報告会でも学生諸君の成長が実感できました。学んだことが企業の現場でも通用して自信を深めた学生もいれば、反対に自分の未熟さを痛感し、もっと真剣に学ばなければ、と自覚した学生もいると思います。どちらでもよいと思います。これこそが他の大学にはない専門職大学の教育手法の特長です。受入れ企業の協力を頂きながら、さらに充実させていきたいと思っています。

年度末に発生したロシアのウクライナ侵攻は、衝撃的な出来事でした。それまでの米中対立とともに世界の分断が進み、これからの内外の経済、社会環境には大きな変化があると考えられます。

プロフェッショナルなスキルを持った人材を養成し、どのような環境変化にも前向きに対応できる人材を輩出するのが専門職大学の目的です。このような観点からも本学は益々重要な大学となります。

最後に、本年報の作成に様々な形でご協力いただいた教職員の皆さまに、心より感謝を申し上げます。



# 目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念 .....	1
2) 学部・学科の特色 .....	2
2. 沿革 .....	5
3. 組織	
1) 組織図 .....	7
2) 役職者 .....	8
3) 教員数 .....	8
4. 学年暦 .....	9
5. 管理運営	
1) 総務会 .....	15
(1) 学則・規程について .....	15
(2) 制度・組織・人事・業績・評価について .....	15
(3) 教育について .....	15
(4) 学生について .....	15
(5) 研究について .....	16
(6) 入学選考試験について .....	16
(7) 社会連携について .....	16
2) 教授会 .....	16
3) 各種委員会活動 .....	18
(1) 自己点検・評価委員会 .....	18
(2) 産官学・国際交流委員会 .....	19
(3) 図書・情報委員会 .....	21
(4) 教務委員会 .....	22
(5) 学生委員会 .....	23
(6) 入試・広報委員会 .....	24
(7) FD・SD委員会 .....	25
(8) 臨地実務実習委員会 .....	28
(9) 倫理委員会 .....	38
(10) 危機管理委員会 .....	39
(11) 人権委員会 .....	40
(12) 開志専門職大学ビジネスアイデアコンテスト及びロゴコンテスト .....	40

4) 各種センター・LAB活動	42
(1) キャリアセンター体制	42
(2) 開志未来創造研究センター	44
(3) KAISHI LAB	45
(4) 数理・データサイエンスセンター	49
(5) 新潟視覚芸術研究所 (RIVNA)	50
6. 大学の公開と広報	
1) 広報活動	51
7. 研究活動	
1) 事業創造学部事業創造学科	53
2) 情報学部情報学科	67
3) アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	76
4) 外部資金の獲得・取組活動	83
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費補助金採択一覧表	83
8. 図書館および図書室	
1) 蔵書数	84
2) 年間受入冊数	84
3) 利用状況	84
4) 内訳等	84
9. 学生関係	
1) 収容定員	85
2) 入試広報活動	85
3) 入学者選抜方法	85
4) 入学選考試験結果	86
5) 在籍学生数	86
6) 異動学生数	86
7) 学生生活	87
(1) 学生生活に関する指導	87
(2) オリエンテーション	87
(3) 心理相談	87
(4) 奨学金制度	87
(5) 学友会	88
(6) 大学祭	89

# 1. 大学の基本理念

## 1) 基本理念

開志専門職大学設置認可申請書において、「大学設置の趣旨」は次のように記されている。

21世紀の経済社会において産業の高度化・グローバル化がより一層進む中、変化の激しい時代を主体的に生きる実践的な職業人が求められる。つまり、自己の職業における専門性の高度化とともに、幅広い教養を身に付け、複雑化する課題に対応できる実践力と変化への対応力、生涯において自己の能力を高めることのできる専門職業人が求められることとなる。自らの専門性を背景に生産性向上や競争力強化に貢献し、日本の強みや成長につながるイノベーション創出を担えることが専門職業人としての役割である。

以上のことから、専門職大学設置の目的と育成する人材像を次のように定め、「開志専門職大学」を設置することとした。

### 【開志専門職大学の目的】

本学は、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。

### 【開志専門職大学の育成する人材像】

- ① 経済社会、企業経営の中核的役割を担い、改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる人材。
- ② 産業の高度化がより一層進むことに伴い、複雑化する課題に対応できる実践力と創造力を持つ職業人材。
- ③ 高度な専門知識を持ち、各事業分野において地方都市の活性化に貢献し、日本経済全体の発展に寄与する人材。

本学の目的と育成する人材像を実現するために、また、各種の分野で専門職人材を育成するために下記のとおり「建学の精神」を掲げて、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

### 【開志専門職大学の建学の精神】

- ① 自学 ② 挑戦 ③ 創造 ④ 貢献
- ① 「教育を受ける」ととどまらず、自ら課題を設定し、自ら学ぶ人間になる。
- ② 指示待ち人間ではなく、自らの判断で一歩前に踏み出す勇気のある人間を目指す。
- ③ 物事の大小を問わず、それぞれの分野、職業で独創性、創造性を発揮する人材となる。
- ④ 地域、日本、世界で活躍し、社会の発展に貢献する人間となる。

これらの建学の精神に基づき、実践的で特色のある教育を推進し、高い志を開花させ、誇り高い専門職を育成する。

### 【開志専門職大学の人材育成方針】

自己の職業における高度な専門的な知識と実践力を身に付け、その専門性をもって経済社会で新たな価値を創造できる即戦力として、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

## 2) 学部・学科の特色

開志専門職大学設置認可申請書において、「学部・学科の特色」は次のように記されている。

### 事業創造学部

経済産業省では、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」であるとしており、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、地域の「強み」である産地の技術や農林水産品などの地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援するための「中小企業地域資源活用促進法」の制定や地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成を推進することを目的とする「地域新産業戦略推進事業」などを展開している。

一方、新潟県が策定した「にいがた未来創造プラン」では、政策展開の基本方向の中で、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」ことを掲げており、地域産業の振興と起業の促進や成長産業の育成に向けて、「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」などに取り組むこととしている。

このような国や地域が取り組む政策等を踏まえたうえで、事業創造学部では、「地域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを教育研究上の目的としている。

また、事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

事業創造学部の特色は、新潟県が目指す「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」に対応すべく、「新潟県の地域振興、地域政策、地域課題などの地域事情の理解」及び「新潟県の産業基盤や地域資源についての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力」のための科目として、「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」、「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」を配置し、また、「消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付ける」のための科目としては、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置している。

このように、事業創造学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を目指すこととしており、既設の大学の経済系・経営系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

### 情報学部

第四次産業革命による AI、IoT、ビッグデータ等の急速な技術革新は、今後、社会・産業構造や就

業構造にも大きな変化をもたらすと想定されており、日本政府の科学技術政策の指針となる「第5期科学技術基本計画」の中で、「ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく」と明記されている。

一方、平成28年6月の経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」によると2030年にIT人材で約59万人が不足すると予測され、2020年には、ビッグデータ、IoT、人工知能を担う先端IT人材の不足数推計は約4.8万人、情報セキュリティ人材の不足数推計は約19.3万人と推計されており、2018年6月に閣議決定された「総合イノベーション戦略」の特に取組を強化すべき主要分野において、「2025年までに先端IT人材を年数万人規模、IT人材を年数十万人規模で育成・採用できる体制を確立する」としている。

また、新潟県が策定した新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としている。

さらに、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をICT活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ICT活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」こととしている。

このような国や地域が取組む政策等への対応に向けて、情報学部では、「高度情報社会の発展を目的とした情報ビジネスを展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことについて理解させるとともに、情報ビジネスを主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、高度情報社会のさらなる進展を図るための創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを目的としている。

また、情報学部では、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探究し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」を養成することとしている。

情報学部の特色は、新潟県が掲げる「AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上の実現」に向けて、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」及び「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」のための科目として、「新潟と地域社会」、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置し、「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」のための科目としては、「デザイン・シンキング実習Ⅰ」、「デザイン・シンキング実習Ⅱ」、「情報産業論」、「国際文化と伝統」、「社会心理・消費者行動」、「マーケティング」、「マーケティング実践」を配置している。

このように、情報学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識の修得のもと、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力の育成」を目指すこととしており、既設の大学の情報系学部との差別化と特色化を図ることとしている。



## アニメ・マンガ学部

アニメ・マンガ学部は、芸術表現としてのアニメ（ここでは物語性の強い所謂国産商業アニメーション、以下「アニメ」という、を指す）・マンガを主体にした動画・線画に関わる実践的な表現技術力と表現技術についての研究によって、出版・通信・放送をはじめとするさまざまなコンテンツ制作への応用まで深く進展させることを理念としている。

アニメ・マンガ作品創造の基本要素は、(1) 物語、(2) キャラクター、(3) 技法であり、それぞれの要素が不可分に関係しあっている点が顕著な特徴として挙げられる。特にアニメの教育研究教育の現場としては、固有の表現に没入する作り手と、作品の演出および制作進行とを客観的に見ることのできるプロデューサー、そして研究者とが、効果的なコラボレーションをおこなうことによって、これまでのように作業分担されていた分野領域を超えて、客観的に優れた作品を制作することができる。

このようなことからアニメ・マンガ学部では、芸術表現としてのアニメ・マンガに関わる表現力と制作技術の研鑽を図るとともに、作品の企画から制作までを俯瞰できる能力並びに日本のアニメ・マンガの表現力と技術についての研究意識を高めることで、変化に対応した創造力を発揮できる能力を育てることを教育上の目的とする。

また、アニメ・マンガ学部では、職業人としての倫理観とともにアニメ・マンガについて専門的知識と高度かつ専門的な制作技術に加え、隣接分野や隣接芸術に対して興味と教養を持ち、将来の表現上の問題あるいは技術的な課題を確実かつ誠実に解決することができる態度を養い、日本のアニメ・マンガ分野全体の作品の質、文化的・学問的水準、産業的価値をさらに向上させることに貢献できる人材を養成することとしている。

同時にここで養われた客観性は、日本アニメの特性とその世界の顧客分析のための貴重な基礎資料にもなり、またその特性をより発揮しやすい創作ソフトウェアの開発につながる可能性も秘めている。

つまり、アニメ・マンガ作品の制作技術の研鑽と制作そのものを通して、作り手、プロデューサー、研究者という役割の異なる3者の連携による人材育成を行うことによってアカデミックな拠点を形成することが、本学部の特色である。

## 2. 沿革

- 1995年（平成7年）3月 学校法人新潟総合学院設立認可  
下記の学校を宗教法人愛宕神社より学校法人新潟総合学院に設置者を変更  
新潟デザイン専門学校, 新潟ビジネス専門学校, NSG 高校進学予備校（各種学校）, 長岡情報ビジネス専門学校, 郡山情報ビジネス専門学校（福島）, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟国際情報学院（高等専修学校）, アップル外語観光カレッジ
- 1997年（平成9年）4月 新潟会計ビジネス専門学校を開校
- 1999年（平成11年）4月 新潟公務員法律専門学校を開校  
全日本ウインタースポーツ専門学校を開校  
郡山テクノデザイン専門学校を開校（福島）
- 2000年（平成12年）4月 日本アニメ・マンガ専門学校を開校  
国際ビューティモード専門学校開校  
アップル外語観光カレッジの校名を国際エア・リゾート専門学校に変更
- 2001年（平成13年）3月 新潟国際情報学院（高等専修学校）を廃止  
NSG 高校進学予備校（各種学校）を廃止
- 2002年（平成14年）4月 国際情報工科専門学校を開校（福島）  
国際メディカルテクノロジー専門学校を開校（福島）
- 2003年（平成15年）4月 国際ビューティ・ファッション専門学校を開校（福島）
- 2004年（平成16年）4月 国際アウトドア専門学校を開校  
国際エア・リゾート専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2005年（平成17年）4月 郡山テクノデザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン専門学校に変更
- 2006年（平成18年）4月 全日本ウインタースポーツ専門学校に高等課程を設置
- 2008年（平成20年）4月 伝統文化と環境福祉の専門学校を開校
- 2009年（平成21年）4月 国際アウトドア専門学校の校名を国際自然環境アウトドア専門学校に変更  
国際情報工科専門学校の校名を専門学校国際情報工科大学校に変更
- 2013年（平成25年）4月 国際アート & デザイン専門学校に高等課程を設置  
長岡情報ビジネス専門学校の校名を長岡公務員・情報ビジネス専門学校に変更  
長岡こども・医療・介護専門学校を開校
- 2015年（平成27年）1月 上越情報ビジネス専門学校を設置者変更にて取得  
郡山情報ビジネス専門学校の校名を郡山情報ビジネス公務員専門学校に変更  
上越情報ビジネス専門学校の校名を上越公務員・情報ビジネス専門学校に変更
- 2017年（平成29年）4月 郡山情報ビジネス公務員専門学校の校名を国際ビジネス公務員大学校に変更  
国際アート&デザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン大学校に変更  
国際メディカルテクノロジー専門学校の校名を国際医療看護福祉大学校に変更  
専門学校国際情報工科大学校の校名を国際情報工科自動車大学校に変更  
国際ビューティ・ファッション専門学校の校名を国際ビューティファッション・製菓大学校に変更
- 2018年（平成30年）3月 全日本ウインタースポーツ専門学校の高等課程を廃止
- 2018年（平成30年）4月 国際ビジネス公務員大学校, 国際アート&デザイン大学校, 国際医療看護福祉大学校, 国際情報工科自動車大学校, 国際ビューティファッション・製菓大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2019年（平成31年）4月 新潟法律大学校 開校  
新潟ビジネス専門学校, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟デザイン専門学校, 新

潟会計ビジネス専門学校, 全日本ウィンタースポーツ専門学校, 新潟公務員法律  
専門学校, 日本アニメ・マンガ専門学校, 国際ビューティモード専門学校, 国際  
自然環境アウトドア専門学校, 新潟法律大学校を学校法人国際総合学園へ設置者  
変更

2019年(令和元年)10月 伝統文化と環境福祉の専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更

2020年(令和2年)4月 開志専門職大学 開学

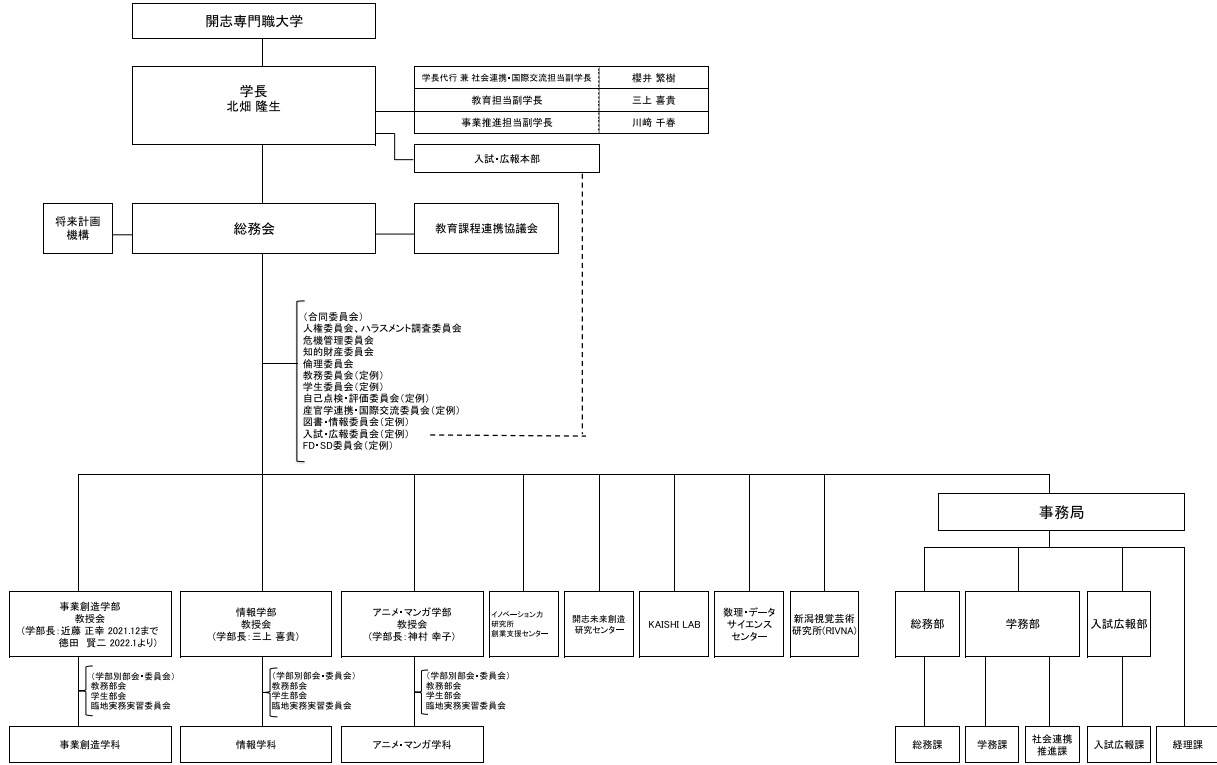
設置学部 学科: 事業創造学部 事業創造学科 情報学部 情報学科

2021年(令和3年)4月 開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科を設置

### 3. 組織

#### 1) 組織図

2021年度(令和3年度) 開志専門職大学 組織図



## 2) 役職者

開志専門職大学

学 長

北畑 隆生

学長代行 兼 社会連携・国際交流担当副学長

櫻井 繁樹

教育担当副学長

三上 喜貴

事業推進担当副学長

川崎 千春

事業創造学部長

近藤 正幸 (2021年12月まで)

徳田 賢二 (2022年1月より)

情報学部長

三上 喜貴

アニメ・マンガ学部長

神村 幸子

イノベーション力研究所 創業支援センター

所 長

古屋 光俊

副所長

高松 孝光

顧 問

近藤 正幸

開志未来創造研究センター

センター長

西川 昌宏

KAISHI LAB

LAB 長

金宮 好和

副 LAB 長

田代 秀一

数理・データサイエンスセンター

センター長

鈴木 源吾

副センター長

平川 秀樹

新潟視覚芸術研究所 (RIVNA)

所 長

神村 幸子

副所長

堀越 謙三

図書館長

常木 正則

大学事務局長

権瓶 拓也

## 3) 教員数

開志専門職大学教員

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
事業創造学部	(1)	11	6	2	1	1	21
情報学部		12	1	3	1	2	19
アニメ・マンガ学部		8	6	3	1	4	22
合 計	(1)	31	13	8	3	7	62

※学長を教授にカウントすると教授 32 名, 専任教員合計 63 名.

## 4. 学年暦

- 4月 5日 (月) ・ 辞令交付式  
・ 教職員オリエンテーション (1日目)
- 4月 6日 (火) ・ 教職員オリエンテーション (2日目)
- 4月 7日 (水) ・ 教職員オリエンテーション (3日目)
- 4月 8日 (木) ・ 新入生オリエンテーション (1日目)
- 4月 9日 (金) ・ 新入生オリエンテーション (2日目)
- 4月10日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (WEB 配信型)
- 4月11日 (日) ・ 第2回開志専門職大学入学式挙行
- 4月12日 (月) ・ 第1学期授業開始
- 4月13日 (火) ・ 臨地実務実習開始 (事業創造学部)
- 4月17日 (土) ・ 第1回開志専門職大学土曜講座開催  
テーマ:「コロナ禍と日本経済のこれから」  
講師:北畑学長
- 4月24日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (来場型)  
・ 学生健康診断 (1年生)
- 4月27日 (火) ~4月28日 (水)  
・ 臨地実務実習オリエンテーション (情報学部)
- 5月 8日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (WEB 配信型)  
・ 学生健康診断 (2年生)
- 5月18日 (火) ・ 新型コロナウイルス感染者発生シミュレーション実施
- 5月20日 (木) ・ 第1回高校教員対象大学説明会
- 5月22日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (来場型)
- 5月26日 (水) ・ 第4回開志コラボセミナー開催  
テーマ:「with コロナの技術戦略と最近技術活用」  
講師:メディアスケッチ株式会社 代表取締役 伊本貴士 氏
- 5月29日 (土) ・ 第2回開志専門職大学土曜講座開催  
テーマ:「日本の有人宇宙活動」  
講師:土井隆雄 氏 (宇宙飛行士, 開志専門職大学客員教授 京都大学大学院総合  
生存学館「思修館」特定教授)
- 6月 5日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (来場型)
- 6月10日 (木) ~6月11日 (金)  
・ 第1学期定期試験
- 6月12日 (土) ・ 事業創造学部トップランナー研究  
アートグリーン株式会社 代表取締役 田中豊 様
- 6月14日 (月) ・ 第2学期授業開始
- 6月19日 (土) ・ 第3回開志専門職大学土曜講座開催  
テーマ:「総合商社の丸紅とその次世代事業について」  
講師:丸紅株式会社 執行役員・次世代事業開発本部長 大本晶之 様
- 6月26日 (土) ・ オープンキャンパス開催 (来場型)
- 6月28日 (月) ・ 現代産業論講演  
元一般財団法人新エネルギー財団 会長 中村薫 様  
ソフトバンク株式会社 中村文威 様
- 6月30日 (水) ・ FD/SD セミナー

- テーマ：「学生フォロー」  
 講師：inquiry 合同会社 代表 山本一輝 様
- 7月 2日 (金) ・第2回高校教員対象大学説明会
- 7月 3日 (土) ・事業創造学部トップランナー研究  
 株式会社和僑ホールディングス 代表取締役 葉葺正幸 様
- 7月 5日 (月) ・現代産業論講演  
 トヨタ自動車株式会社 渉外部第1 渉外室長 西田明生 様
- 7月10日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)
- 7月11日 (日) ・事業創造学部トップランナー研究  
 株式会社 MGNET 代表取締役 武田修美 様
- 7月17日 (土) ・オープンキャンパス開催 (WEB 配信型)  
 ・第4回開志専門職大学土曜講座開催  
 テーマ：「コロナに学んだ ABC バリヤー・クリエイターの道」  
 講師：第一工業製菓株式会社 代表取締役会長兼社長 坂本隆司 様
- 7月20日 (火) ・事業創造学部 臨地実務実習成果発表会
- 7月24日 (土) ・事業創造学部トップランナー研究  
 株式会社バイオマスレジソホールディングス 代表取締役 神谷雄仁 様
- 7月27日 (火) ・アニメ・マンガ学部 木村智哉 准教授  
 日本アニメーション学会賞 2021 受賞記念講演会
- 7月28日 (水) ・FD/SD セミナー「専門職大学について」  
 株式会社大学経営コンサルティング 代表取締役 加藤雄次 様
- 7月31日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)
- 8月 2日 (月)～8月 6日 (金)  
 ・第1, 第2学期定期試験
- 8月 7日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)
- 8月 9日 (月)～8月10日 (火)  
 ・第2学期定期試験
- 8月18日 (水)～9月26日 (日)  
 ・夏季休業期間
- 8月19日 (木) ・第5回開志コラボセミナー開催  
 テーマ：「アニメ・マンガ・ゲーム産業の今とこれから必要なもの」  
 講師：株式会社サイバーコネクトツー 代表取締役 松山洋 様
- 8月21日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)  
 ・週刊少年サンデー出張編集部開催 (アニメ・マンガ学部)
- 8月25日 (水) ・FD/SD セミナー「高等学校進路指導と大学への進学」  
 (学)新潟総合学院 高島徹 顧問
- 8月28日 (土)～10月17日 (日)  
 ・職域接種 (NSG カレッジリーグ/NSG ホールディングス)
- 9月14日 (火)～9月17日 (金)  
 ・夏季集中講義「透視図法基礎」(アニメ・マンガ学部)  
 講師：アニメーション監督 芦野芳晴 様
- 9月18日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)
- 9月22日 (水) ・FD/SD セミナー「講義法」  
 講師：大阪大学 准教授 佐藤浩章 様
- 9月28日 (火) ・第3学期授業開始

- ・TOEIC 対策講座開講（事業創造学部）
- ・臨地実務実習（企業内実習Ⅱ）開始（事業創造学部）
- ・臨地実務実習Ⅰ開始（情報学部）
- 9月29日（水）
  - ・第6回開志コラボセミナー開催
  - 講 師：尾畑酒造株式会社 専務取締役 尾畑留美子 様
- 10月1日（金）
  - ・キャリアセンター開設
- 10月2日（土）
  - ・第5回開志専門職大学土曜講座開催
  - テーマ：「かなえる力～その極意は「志」をもつこと」
  - 講 師：NSG グループ会長 池田弘 氏
- 10月9日（土）
  - ・事業創造学部トップランナー研究
  - 株式会社セブン銀行 代表取締役社長 舟竹泰昭 様
- 10月13日（水）
  - ・臨地実務実習（企業内実習Ⅰ）開始（事業創造学部）
- 10月16日（土）
  - ・オープンキャンパス開催（来場型）
- 10月23日（土）
  - ・総合型選抜専願型A日程
  - ・外国人留学生選抜A日程
- 10月27日（水）
  - ・FD/SD セミナー「大学職員の働き方」
  - 講 師：早稲田大学 リサーチイノベーションセンター  
知財・研究連携担当課長 喜久里要 様
- 10月31日（日）
  - ・大学祭「橙華祭」開催
  - ・保護者会開催
- 11月1日（月）
  - ・現代企業論（事業創造学部）
  - 講 師：関東図書株式会社 代表取締役 岩渕均 様
- 11月6日（土）
  - ・オープンキャンパス開催（来場型）
  - ・小学館週刊少年サンデー出張編集部マンガ添削会開催
- 11月10日（水）
  - ・情報学部トップランナー研究
  - 鈴木茂樹 客員教授（前総務事務次官）
- 11月13日（土）
  - ・ビジネスアイデアコンテスト
- 11月20日（土）
  - ・学校推薦型選抜 公募型前期／指定校型
  - ・トップランナー研究第1回集中講義（情報学部）
  - 講 師：株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役社長兼 CEO 岡村信悟 様
- 11月23日（火）～11月24日（水）
  - ・第3学期定期試験
- 11月24日（水）
  - ・プレ就活スタートアップ講座（事業創造学部）
  - 講 師：株式会社リクルートキャリア 阿部麻子 様, 本学講師 土岐智賀子
  - ・FD/SD セミナー「アクティブラーニング」
  - 講 師：大阪大学准教授 佐藤浩章 様
- 11月25日（木）
  - ・第4学期授業開始
- 11月27日（土）
  - ・第6回開志専門職大学土曜講座開催
  - 講 師：元トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 渡辺捷昭 様
  - ・令和3年度文化庁アニメーション人材育成調査研究事業  
「アニメーション・ブートキャンプ」開催（アニメ・マンガ学部）
  - 企画運営：一般社団法人日本アニメーション教育ネットワーク
  - 講 師：(株)プロダクション・アイジー 副社長 後藤隆幸 様（アニメーター, キャラクターデザイナー）, (株)テレコム・アニメーションフィルム 所属兼取締役 富沢信雄 様（アニメーション監督）, りょーちも 様（アニメーション監



督・キャラクターデザイナー・アニメーター)

- 12月 1日 (水) ・第7回開志コラボセミナー開催  
講師：フューチャー株式会社 取締役 山岡浩巳 様
- ・第1回就職活動準備講座 (アニメ・マンガ学部)  
「低学年から始める就職活動～将来を見据えて今からできること～」  
講師：株式会社リクルート 大学支援推進部 阿部麻子 様
- 12月 4日 (土) ・オープンキャンパス開催 (来場型)
- 12月 6日 (月) ・現代企業論 (事業創造学部)  
講師：元新日鉄住金エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 高橋誠 様
- ・現代の科学技術 (事業創造学部・情報学部)  
講師：一般社団法人 宇宙エレベーター協会 会長 大野修一 様
- 12月 8日 (水) ・没入型コンピューティング・没入型コンピューティング実習 (情報学部)  
講師：株式会社日立製作所 先端 AI イノベーションセンタ  
主任研究員 藤原貴之 様
- 12月 10日 (金) ・スペイン サラマンカ大学 学生オンライン交流会
- 12月 11日 (土) ・第7回開志専門職大学土曜講座開催  
テーマ：「諦めない心が事業を生んだ『ゼクシィ』創業ストーリー」  
講師：株式会社アーレア 代表取締役 渡瀬ひろみ 客員教授
- 12月 15日 (水) ・臨地実務実習「企業内実習Ⅰ」成果報告会 (事業創造学部)
- 12月 18日 (土) ・総合型選抜専願型 B 日程  
外国人留学生選抜 B 日程  
学校推薦型選抜公募型後期／※指定校型追加実施  
事業創造学部、アニメ・マンガ学部のみ
- 12月 20日 (月) ・現代企業論 (事業創造学部)  
講師：スリーフィールズ合同会社 共同代表 米田康三 様
- 12月 22日 (水) ・臨地実務実習シンポジウム (情報学部)
- ・FD/SD セミナー「シラバス」  
講師：大阪大学准教授 佐藤浩章 様
- ・財務諸表論 (事業創造学部)  
講師：税理士法人嘉山会計 所長 佐藤秀和 様
- 12月 23日 (木) ～1月 5日 (水)  
・冬季休業期間
- 1月 1日 (土) ・徳田賢二教授 事業創造学部学部長就任
- 1月 12日 (水) ・古町ルフルキャンパス 避難訓練実施
- 1月 19日 (水) ・企業内実習Ⅰ  
企業・教職員による振り返りミーティング (事業創造学部)
- ・北畑 学長 専門職大学コンソーシアム初代会長就任
- 1月 22日 (土) ・トップランナー研究第2回集中講義 (情報学部)  
講師：ニッセイ情報テクノロジー(株) 代表取締役社長 矢部剛 様
- 1月 25日 (火) ・企業内実習Ⅱ 実習成果報告会 (事業創造学部)
- ・日本政策金融公庫新潟支店との包括連携協定締結
- 1月 26日 (水) ・FD/SD セミナー「成績評価」  
講師：大阪大学准教授 佐藤浩章 様
- ・財務諸表論 (事業創造学部)  
講師：税理士法人山田&パートナーズ 横井一泳 様

- 1月29日(土) ・トップランナー研究第3回集中講義(情報学部)  
講 師:株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス理事  
前『ファイナルファンタジー』シリーズブランドマネージャー 橋本真司 様
- 2月 3日(木) ・没入型コンピューティング・没入型コンピューティング実習(情報学部)  
講 師:Supership 株式会社 VR 戦略企画室プロデューサー 待場勝利 様
- 2月 5日(土) ・トップランナー研究第4回集中講義(情報学部)  
テーマ:「成熟社会の先にあるもの」- DX時代こそ情熱が社会・世界を変える-  
講 師:KDDI(株)元執行役員, 株式会社ジュピターテレコム前社長・会長, 中部テレ  
コミュニケーション株式会社前社長・会長 牧俊夫 様
- 2月 7日(月)~2月17日(木)  
・第3,4学期定期試験
- 2月 9日(水) ・財務諸表論(事業創造学部)  
講 師:三井住友銀行 法人戦略部 本田裕章 様
- 2月10日(木) ・第1回臨地実務実習オリエンテーション(アニメ・マンガ学部)  
・トップランナー研究第5回集中講義(情報学部)  
テーマ:「なぜ, 楽天は大きくなったか?」  
講 師:楽天グループ株式会社 コマースカンパニ  
COO &ディレクター 野原彰人 様  
・第8回開志コラボセミナー開催  
テーマ:「COP26を含む地球温暖化をめぐる国際情勢と日本の課題」  
講 師:東京大学公共政策大学院 教授 有馬純 様
- 2月11日(金) ・一般選抜 個別試験型2次試験  
・共通テスト利用型 前期日程2次試験
- 2月14日(月) ・物語ワークショップ(5日間集中講義)(アニメ・マンガ学部)  
講 師:劇団青年団所属 近藤強 様(俳優)  
劇団青年団所属 館そらみ 様(脚本可・演出家・俳優)
- 2月24日(木) ・FD/SD セミナー「実務家教員向け研修」  
講 師:大阪大学准教授 佐藤浩章 様
- 2月25日(金) ・履修説明会(情報学部)
- 3月 1日(火)~3月24日(木)  
・学習支援センター主催春季講座(情報学部)
- 3月 2日(水) ・臨地実務実習 施設別オリエンテーション(アニメ・マンガ学部)
- 3月 3日(木) ・キャリアセンターおよび履修説明会(情報学部)
- 3月 4日(金) ・総合型選抜 併願型  
・一般選抜 共通テスト利用型 後期日程2次試験
- 3月18日(金) ・防災訓練 避難訓練 紫竹山キャンパス・米山キャンパス  
・総合型選抜 専願型(オンライン面接方式)C日程  
・一般選抜 共通テスト利用型 追加募集A日程
- 3月20日(日) ・ガタケット170 博麗神社例大祭 in 新潟 ブース出展
- 3月22日(火) ・新潟大学経済科学部とアニメ・マンガ学部 学術交流協定締結
- 3月23日(水) ・FD/SD セミナー「学生フォロー研修」  
講 師:大阪大学准教授 佐藤浩章 様
- 3月26日(土) ・春のオープンキャンパス開催
- 3月28日(月) ・在学生オリエンテーション(事業創造学部)  
・在学生オリエンテーション(アニメ・マンガ学部)

- 3月29日(火)
  - ・ビジネスマナー研修(アニメ・マンガ学部)
  - ・在学生オリエンテーション(事業創造学部)
  - ・在学生オリエンテーション(情報学部)
  - ・総合型選抜 専願型(オンライン面接方式) D日程
  - ・一般選抜 共通テスト利用型 追加募集 B日程
- 3月30日(水)
  - ・在学生オリエンテーション(情報学部)
  - ・KAISHI LAB × DMM 連携講座① 電子工作入門講座
- 3月31日(木)
  - ・KAISHI LAB × DMM 連携講座② ミニチュアオンエアランプ制作講座

## 5. 管理運営

### 1) 総務会

(総務会構成員)

北畑隆生学長，櫻井繁樹学長代行兼副学長（社会連携・国際交流担当），三上喜貴副学長（教育担当）兼情報学部長，川崎千春副学長（事業推進担当）兼法人事務局長，近藤正幸事業創造学部長（2021年12月まで），徳田賢二事業創造学部長（2022年1月より），神村幸子アニメ・マンガ学部長，田中恵法人総務部長，矢田広視法人企画部長，権瓶拓也大学事務局長兼入試広報部長

主な審議・決定事項および報告事項

#### (1) 学則・規程について

- ・規程および細則変更について
- ・将来計画機構 第2回運営委員会報告

#### (2) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・将来基本計画骨子（案）  
将来基本計画策定等スケジュール（案）についての報告
- ・情報セキュリティ基本方針についての報告
- ・自己点検評価の目次についての報告
- ・数理・データサイエンスセンターの正式組織化，KAISHI LAB 2021 度組織体制についての報告
- ・客員教授の追加についての報告
- ・新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・合同委員会担当副学長についての報告
- ・学長特命補佐の任命についての報告
- ・入試・広報委員会の委員任命についての報告
- ・新特待生制度についての報告
- ・新型コロナウイルス感染者発生シミュレーション実施結果についての報告
- ・担当委員会に関する副学長報告
- ・夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・再任審査委員会より報告
- ・事業創造学部（経済分野）採用予定者の辞退についての報告
- ・事業創造学部（マーケティング）採用予定者の辞退についての報告
- ・専任教員採用についての報告
- ・NSG グループ人事情報データベースの導入についての報告
- ・事業創造学部 2022 年度専任教員（助手）採用についての報告

#### (3) 教育について

- ・今後の講義体制についての報告
- ・対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止に対応についての報告
- ・教員応募状況報告
- ・教育課程連携協議会についての報告
- ・情報学部，アニメ・マンガ学部 \_ 教員選考委員会報告の報告

#### (4) 学生について

- ・学籍異動（除籍）についての報告
- ・2021 年度大学祭（「橙華祭」）・保護者会の開催結果についての報告

(5) 研究について

- ・「日本アニメーション学会賞 2021」受賞についての報告
- ・業務監査（科研費）に関する内部監査・科学研究費助成事業監査の各報告書についての報告
- ・三上副学長のモンゴル科学技術大学名誉教授称号授与についての報告
- ・AC 教員審査の結果についての報告

(6) 入学選考試験について

- ・入試・広報本部の設置についての報告
- ・高校教員対象大学説明会（5/20）、オープンキャンパス（5/22）開催結果についての報告
- ・2022 年度入学試験結果についての報告
- ・入学試験結果についての報告
- ・入試・広報本部の解散について

(7) 社会連携について

- ・事業創造キャピタル(株)との業務提携覚書についての報告
- ・ビジネスアイデアコンテスト 開催結果についての報告

## 2) 教授会

### ■ 事業創造学部

#### (教授会構成員)

近藤学部長（2021 年 12 月まで）、徳田学部長（2022 年 1 月より）、櫻井副学長、教授、准教授、講師、  
助教 計 19 名

#### (準構成員)

助手 1 名

#### (オブザーバー)

事務局職員 5 名

#### 主な審議・決定事項および報告事項

- ・学生異動（除籍）についての報告
- ・2021 年度年間予定についての報告
- ・開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・コースの設定についての報告
- ・ビジネスアイデアコンテストの報告
- ・夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・職域接種についての報告
- ・平田事業創造学部准教授の退職の報告
- ・教育課程連携協議会報告の報告
- ・2021 年度第 5 回事業創造学部教授会議事録確認の報告
- ・新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・学事歴・年間予定表の変更についての報告
- ・前提科目・後続科目についての報告
- ・大学祭（「橙華祭」）・保護者会 開催結果についての報告
- ・履修条件の取扱い ガイドラインの報告
- ・新しい事業創造学部の発展に向けての報告

## ■ 情報学部

(教授会構成員)

三上副学長兼学部長, 教授, 准教授, 講師, 助教 計 17 名

(準構成員)

助手 2 名

(オブザーバー)

事務局職員 5 名

主な審議・決定事項および報告事項

- ・ 開志未来創造研究センターについての報告
- ・ 開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・ 2021 年度年間予定についての報告
- ・ 開志未来創造研究センターについての報告
- ・ 開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・ 対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応についての報告
- ・ 数理・データサイエンスセンター状況報告
- ・ KAISHI LAB 報告
- ・ 開志未来創造研究センター 報告
- ・ ビジネスアイデアコンテストの報告
- ・ 夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・ 職域接種についての報告
- ・ 学事歴・年間予定表の変更についての報告
- ・ 落第者の発生と情報学部の教育方針についての報告
- ・ 前提科目・後続科目についての報告
- ・ レポート不正の取り扱いについての報告
- ・ 開志未来創造研究センターについての報告
- ・ 開志アイデアコンテスト 2021 についての報告

## ■ アニメ・マンガ学部

(教授会構成員)

神村学部長, 教授, 准教授, 講師, 助教 計 18 名

(準構成員)

助手 4 名

(オブザーバー)

事務局職員 5 名

主な審議・決定事項および報告事項

- ・ 開志専門職大学 教授会規程についての報告
- ・ 2021 年度年間予定についての報告
- ・ オフィスアワーについての報告
- ・ 開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について (案) の報告
- ・ 対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応について (案) の報告
- ・ ビジネスアイデアコンテストの進捗についての報告
- ・ 第 5 回開志コラボセミナー打合せ取り纏めの報告
- ・ 開志アイデアコンテスト 2021 について (資料 4) アイデアコンテスト実行委員会の報告

(図書・情報委員会規程, 履修・試験・成績評価に関する細則)

- ・開志専門職大学 教授会規程についての報告
- ・2021 年度年間予定についての報告
- ・オフィスアワーについての報告
- ・開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・アニメ・マンガ学部研究部門の名称についての報告
- ・夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・職域接種についての報告
- ・研究倫理 e ラーニング受講・科研費応募状況についての報告
- ・ビジコンについての意見交換の報告
- ・視覚芸術研究所設置準備会より 2022 年度正式設置に向けての報告
- ・学生の挨拶励行についての報告
- ・新潟視聴芸術研究所 (RIVNA) 組織体制 (案) についての報告
- ・新潟大学経済科学部と開志専門職大学アニメ・マンガ学部との学術交流協定の報告
- ・次年度ビジネスアイデアコンテスト委員についての報告
- ・新潟視聴芸術研究所 (RIVNA) 組織体制 (案) についての報告
- ・新潟大学経済科学部と開志専門職大学アニメ・マンガ学部との学術交流協定の報告
- ・次年度ビジネスアイデアコンテスト委員についての報告
- ・2022 年度 4 月からの委員会構成変更についての報告
- ・アニメ・マンガ学部学事暦変更に伴う確認の報告
- ・アニメ・マンガ学部 長期目標 (案) の報告
- ・開志アイデアコンテスト 2021 についての報告
- ・対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応についての報告

### 3) 各種委員会活動

#### (1) 自己点検・評価委員会

##### ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

後藤 幸功 (情報学部, 委員長)  
原岡 和生 (事業創造学部, 副委員長)  
磯西 徹明 (情報学部, 委員)  
松澤 孝紀 (事業創造学部, 委員)  
深井 利行 (アニメ・マンガ学部, 委員)  
森岡 淳 (アニメ・マンガ学部, 委員)  
高野総務部長 (事務局)  
岡田 (事務局)  
安達 (事務局)  
草間 (事務局)

##### ②会議開催回数 14 回 (内 1 回は書面による会議)

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2020 年度自己点検・評価報告書作成に関する審議および決定
  - ・作成のための配布資料の内容に関する検討と審議および配布資料の承認
  - ・作成スケジュール修正審議と承認
  - ・2020 年度自己点検・評価報告書の途中経過内容に関する検討と審議および承認

- ・2020年度自己点検・評価報告書の最終内容に関する検討と審議および承認
- ・2020年度自己点検・評価報告書の総務会に提出に関する審議および承認
- 2) 2021年度自己点検評価報告書作成に関する審議および決定
  - ・2021年度自己点検・評価報告書作成スケジュールに関する検討と承認
  - ・2021年度自己点検・評価報告書の評価項目に関する審議と承認
  - ・2021年度自己点検・評価報告書の執筆依頼に関する審議と承認
- 3) 2021年度の自己点検・評価報告書作成のための組織改正に関する審議および決定
  - ・自己点検・評価報告書を作成するための本学の体制について総務会へ上程する内容に関する審議および承認

#### ④特記事項

2021年度の大きな活動内容とその成果は2020年度自己点検・評価報告書を作成し公開できたことである。この活動の中で今後、自己点検・評価報告書を作成するためには、現状の総務会配下にある本会会の立場では困難であることがわかった。そこで、次年度から学内において内部質保証を実施する機関の設置について副学長を通じて発足することを提案したことも大きな成果である。2021年度の3月末には内部質保証を実施する機関として内部質保証機構が総務会と並列して配置されたことで、総務会配下の自己点検・評価委員会は2021年度で活動を終えた。そして、内部質保証機構の中で自己点検・評価委員会を新たに設置することとなった。今後の自己点検・評価報告書および認証評価に関する事項および文書については内部質保証機構自己点検・評価委員会で作成することとなる。

#### (2) 産官学・国際交流委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

平川 秀樹（情報学部，委員長）  
 渡辺 康英（事業創造学部，副委員長）  
 美甘 哲秀（事業創造学部，副委員長）  
 上野 衆太（情報学部，委員）  
 KENTOO（アニメ・マンガ学部，委員）  
 土岐智賀子（事業創造学部，委員）  
 成田 兵衛（アニメ・マンガ学部，委員）  
 福田 稔（事業創造学部，委員）  
 遠田 孝之（事務局）  
 大滝 智菜（事務局）  
 宮本真由美（事務局）  
 安井 智章（事務局）  
 谷内田真理（事務局）

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2021年度の開志コラボセミナー年間スケジュールが決定した。
- 2) 第4回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 3) 第1回サラマンカ大学とのオンライン交流会が決定した。
- 4) 産官学連携推進委員会の規定を改定し決定した。
- 5) 第2回サラマンカ大学とのオンライン交流会が決定した。
- 6) 第5回開志コラボセミナーの開催が決定した。



- 7) 第 5 回開志コラボセミナーをシンポジウム形式にて開催することが決定した。
- 8) 日本サラマンカ大学友の会への入会が決定した。
- 9) 新潟商工会議所への入会が決定した。
- 10) 第 6 回開志コラボセミナーのテーマについて審議した。
- 11) 第 6 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 12) 国際交流活動について検討がされた。
- 13) 第 7 回開志コラボセミナーのテーマについて審議した。
- 14) 日本政策公庫新潟支店との連携協定を進めることが決定した。
- 15) にいがた産業創造機構との連携を強化することが決定した。
- 16) 第 7 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 17) 日本政策公庫新潟支店との連携協定を締結することが決定した。
- 18) DX プラットフォームへの入会が決定した。
- 19) 佐渡市との連携について検討された。
- 20) 国際交流先大学の拡充について検討された。
- 21) 株式会社 SNAP 新潟とイノベーション研究所の業務提携が承認された。
- 22) 台湾の大学（未定）と国際交流を行うことが検討された。
- 23) 開志コラボセミナーの集客方法について検討された。
- 24) 第 8 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 25) 第 3 回サラマンカ大学とのオンライン交流会が決定した。
- 26) 第 9 回開志コラボセミナーのテーマが検討された。
- 27) 国立高雄餐旅大学（台湾）との国際交流を行うことが検討された。
- 28) オーストラリアの大学との国際交流が検討された。
- 29) 新潟大学経済学部とアニメ・マンガ学部の学術協定の締結について承認された。
- 30) 第 9 回コラボセミナーの開催が決定した。
- 31) 2022 年度の委員会活動と目標について審議された。
- 32) DX プラットフォーム会員へ臨地実務実習の案内をすることが決定した。
- 33) DX プラットフォームのプロジェクトへ構成員参加が審議された。

#### ④特記事項

- ・ 第 1 回サラマンカ大学とのオンライン交流会が実施された。
- ・ 第 2 回サラマンカ大学とのオンライン交流会が実施された。
- ・ 事業創造学部の新規商品開発・販売実習Ⅰが実施された。
- ・ 燕市立吉田中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 五泉市立五泉中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 新発田市立七葉中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 新潟県立新潟商業高等学校大学見学の受け入れが実施された。
- ・ 燕市立小池中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 新潟県立巻総合高等学校大学見学の受け入れが実施された。
- ・ 事業創造学部の企業内実習Ⅰが実施された。
- ・ 事業創造学部の企業内実習Ⅱが実施された。
- ・ 情報学部の臨地実務実習Ⅰが実施された。
- ・ 阿賀野市立水原中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 新潟市立潟東中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・ 東京学館新潟高等学校大学見学の受け入れが実施された。
- ・ 新発田中央高等学校大学見学の受け入れが実施された。

- ・ 栃尾高等学校大学見学の受け入れが実施された。
- ・ 村上桜ヶ丘高等学校大学見学の受け入れが実施された。
- ・ 日本政策金融公庫新潟支店との包括連携に向けた調印式が実施された。
- ・ アニメーションブートキャンプ新潟が開催された。
- ・ 第 3 回サラマンカ大学とのオンライン交流会が実施された。
- ・ 事業創造学部の教育課程連携協議会が開催された。
- ・ 情報学部の教育課程連携協議会が開催された。
- ・ アニメ・マンガ学部の教育課程連携協議会が開催された。

### (3) 図書・情報委員会

#### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

- 常木 正則（事業創造学部，委員長）
- 大野 幸夫（情報学部，副委員長）
- 高嶋 洋一（情報学部，委員）
- 石川 秀才（事業創造学部，委員）
- 村井さだゆき（アニメ・マンガ学部，委員）
- 中西 素規（アニメ・マンガ学部，委員）
- 高野 真司（事務局，委員）
- 菅原 悠矢（事務局）
- 谷井 陽子（司書，事務局）

#### ②会議開催回数 12 回

#### ③審議事項及び決定事項等

- 1) 2021 年度委員会年間スケジュールおよび委員会活動計画が承認された。
- 2) 図書・情報委員会規程の変更並びに追加事項を確認した。
- 3) 情報セキュリティー基本方針が 3 月 31 日の総務会で承認されたことが報告された。
- 4) 図書予算執行方針が承認された。シラバス掲載図書は最優先で購入することとした。
- 5) アニメ・マンガ図書館の開館予定及び利用ルール等を審議した。
- 6) 情報関係の整備について，以下の方針等が確認された。
  - ア 今後情報セキュリティー関連の規約，諸事項について定めること。
  - イ 情報セキュリティー委員会（部会）の体制づくり，立ち上げが必要であること。
  - ウ 著作権管理について検討が必要であること。
- 7) 次年度購読希望雑誌及び契約希望データベースについて，年間購読料を把握したうえで決定するとの報告があり了承された。
- 8) 教員推薦図書募集の結果が報告され承認された。
- 9) 授業目的公衆送信補償金制度登録について，事務局にて登録が完了した旨報告された。
- 10) 学生対象の図書館利用アンケートの集計結果及び考察が報告され確認された。
- 11) 大川出版賞受賞図書を米山図書室に配架したとの報告があり了承された。
- 12) 学生からの図書購入リクエスト受付を年度で 3 回行いその結果がその都度報告され承認された。なお，次年度は常時受け付けることとした。リクエストしやすい手段として，Forms と申込書（紙）のいずれかによることとした。
- 13) 学生及び教員の図書館利用増加に繋がる対策について検討した。
- 14) 電子書籍導入に伴い無料トライアルが実施され，実施結果を踏まえ電子図書館 KinoDen の導入が承認された。

- 15) 電子書籍 47 冊を選定したとの報告があり了承された。
- 16) オンライン授業期間の図書館利用サービスについて検討し、学生に通知した。
- 17) 2021 年度の図書・情報委員会の活動総括を行い承認された。
- 18) 2022 年度教職員オリエンテーション図書館からの報告資料について確認された。
- 19) 電子図書館 Kino Den の利用案内について、学生の登校開始に合わせて行う方針であることが報告され了承された。
- 20) 2022 年度の学生リクエスト募集及び教員推薦図書募集の方針を確認した。
- 21) 3 月 8 日から 11 日に蔵書点検を実施することが確認された。

#### (4) 教務委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

- 徳田 賢二（事業創造学部，委員長）
- 田代 秀一（情報学部，副委員長）
- 鈴木 源吾（情報学部，委員）
- 向 正道（事業創造学部，委員）
- 木村 智哉（アニメ・マンガ学部，委員）
- 日高トモキチ（アニメ・マンガ学部，委員）
- 遠田 孝之（事務局）
- 淡路 雅博（事務局）
- 三上 真紀（事務局）
- 水澤 駿介（事務局）
- 須藤 麻衣（事務局）
- 白井真結美（事務局）

##### ②会議開催回数 12 回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回，令和 3 年度教務運営ベース（令和 2 年度教務委員会決定通知事項の整理）について確認した。
- 2) 第 2 回，留学生の課題・最終試験等における英語の対応について審議の上，決定された。
- 3) 第 3 回，オフィスアワーの運用について確認され，情報を共有することが決定された。
- 4) 第 3 回，GPA 順位の学生への伝達について決定された。
- 5) 第 3 回，定期試験実施要項の改訂が決定された。
- 6) 第 4 回，カリキュラム改訂について審議され，今後の準備内容が決定された。
- 7) 第 4 回，新型コロナウイルス感染症ワクチンの職域接種に伴う副反応発生者への対応が決定された。
- 8) 第 5 回，カリキュラム改訂について審議され，検討項目をまとめること・教育課程連携協議会の準備を行うこと・教員向けアンケートの検討を進めることが決定された。
- 9) 第 5 回，シラバス記載内容および作成スケジュールについて検討することが決定された。
- 10) 第 5 回，オープンキャンパス等学生ボランティアへの対応について審議され，学生委員会への提案を行うことが決定された。
- 11) 第 6 回，進級条件・再履修の取扱いについて審議され，進級条件は検討を進めることが決定され，再履修の取扱いは運用方法が決定された。
- 12) 第 6 回，オンライン講義への対応が審議され，今後の状況を見ながら検討を進めることが決定された。

- 13) 第 7 回, 出席時間のガイドラインについて, 検討することが決定された
- 14) 第 7 回, 再履修の内規について審議され, 再検討することが決定された.
- 15) 第 7 回, 講義対応について, 対応内容が決定した.
- 16) 第 8 回, 単位保留の取扱いが決定した.
- 17) 第 8 回, カリキュラム改訂について審議され, 検討を進めていくことが決定された.
- 18) 第 9 回, 前提科目・後続科目ガイドラインについて検討していくことが決定された.
- 19) 第 10 回, 再履修に関する内規について審議され, 改定案を作成した後に審議されることが決定された.
- 20) 第 11 回, 再履修(履修年次, クラス分け)について内容が審議の上, 決定した.
- 21) 第 12 回, 不正行為対応手順について内容が確認され, 試験要項としてまとめることが決定した.

#### (5) 学生委員会

##### ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

- 堀川桂太郎(情報学部, 委員長)  
 星 和樹(事業創造学部, 副委員長)  
 東城 歩(事業創造学部, 委員)  
 PANN YU MON(情報学部, 委員)  
 こだま兼嗣(アニメ・マンガ学部, 委員)  
 青木 健一(アニメ・マンガ学部, 委員)  
 遠田 孝之(事務局)  
 淡路 雅博(事務局)  
 三上 真紀(事務局)  
 阿部 朋子(事務局)  
 和平 勝明(事務局)  
 石丸 香織(事務局)

##### ②会議開催回数 12 回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回 退学に関する手続きフローが決定した.
- 2) 第 1 回 大学祭実行委員会との連携について決定した.
- 3) 第 1 回 古泉育英財団候補者が決定した.
- 4) 第 2 回 外部奨学金選定方法が決定した.
- 5) 第 3 回 学生ボランティアについて調査検討チームの割り当てが決定した.
- 6) 第 3 回 進級生に対する特待生・奨学制度について調査検討チームの割り当てが決定した.
- 7) 第 3 回 自己点検・評価・AC 対応チームについて調査検討チームの割り当てが決定した.
- 8) 第 5 回 学内イベントの学生ボランティアについて, 通常のアライトの取り扱いとするよう総務会へ提案することが決定した.
- 9) 第 5 回 進級生に対する特待生・奨学制度について総務会へ提案することが決定した.
- 10) 第 6 回 外国人留学生奨学生候補者が決定した.
- 11) 第 7 回 SNS に関する啓蒙ワークショップの開催が決定した.
- 12) 第 9 回 入学前ガイダンス・事前学習・新入生オリエンテーションについて, 各学部で検討を進めることが決定した.
- 13) 第 9 回 障害者の学習を支援する合理的な配慮のガイドライン作成にあたり, ワーキンググループを作成することが決定した.

- 14) 第 10 回 次年度担任・学生フォロー制度について、各学部で検討を進めることが決定した。
- 15) 第 12 回 古泉財団奨学金の今後の手続きについて決定した。

## (6) 入試・広報委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

高松 孝光（事業創造学部，委員長）2021 年 6 月まで  
宮元万葉美（情報学部，副委員長） 2021 年 7 月より委員長  
平田 沙織（事業創造学部，副委員長）  
松澤 孝紀（事業創造学部，委員）  
柄沢 直之（情報学部，委員）  
横山 昌吾（アニメ・マンガ学部，委員）  
青木 健一（アニメ・マンガ学部，委員）  
権瓶 拓也（事務局）  
多賀 祥治（事務局）  
濱田 昌宏（事務局）  
柳沼つぐみ（事務局）  
渡辺 一朋（事務局）  
松田 和也（事務局）  
藤原 詩子（事務局）  
小杉 春花（事務局）  
高島 徹（事務局）

### ②会議開催回数 12 回

### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2021 年度入試・広報委員会の年間計画について審議し，確認された。
- 2) 4 月・5 月のオープンキャンパスの実施内容について審議し，決定した。
- 3) オープンキャンパス運営協力学生への謝礼について内容を審議し，確認された。
- 4) 入試問題作成部会および入試問題検討部会について内容を審議し，確認された。
- 5) 2022 年度入試概要について，変更事項等の内容が審議された。
- 6) 2022 年度学校推薦型選抜指定校型の指定高等学校について内容が審議された。
- 7) 学校推薦型選抜 指定校型における特待生制度の検討について審議された。
- 8) 2022 年度入学選考の各種評価表作成に関して内容を審議し，確認された。
- 9) アニメ・マンガ学部のイラストコンテスト実施について内容が確認された。
- 10) 6 月・7 月のオープンキャンパス実施内容について審議し，決定した。
- 11) オープンキャンパス在学生スタッフ及び交流会開催について審議し，決定した。
- 12) 第 2 回高等学校教員対象大学説明会の実施について審議し，決定した。
- 13) 2022 年度入試概要の最終案について内容を審議し，確認された。
- 14) 2022 年度学生募集要項および出願書類の作成について，内容が確認された。
- 15) 2022 年度募集における高校訪問の実施について内容が審議され，決定された。
- 16) 7 月・8 月のオープンキャンパス実施内容について審議し，決定した。
- 17) 2022 年度入学選考試験合格否判定会議日程について内容を審議し，確認された。
- 18) 2022 年度入学選考試験における必要見込教員数について審議し，確認された。
- 19) 総合型選抜 A 日程・外国人留学生選抜 A 日程の実施概要について審議し，確認された。
- 20) 2022 年度総合型選抜合格否判定配点について内容が審議された。

- 21) 8月・9月のオープンキャンパス実施内容について審議し、決定した。
- 22) 2022年度入学目標者数および入学者獲得計画数について、内容が審議された。
- 23) 第1次合否判定会議結果の記入例および第2次合否判定会議へ提出する資料について審議し、確認された。
- 24) 9月・10月のオープンキャンパス実施内容について審議し、決定した。
- 25) 学校推薦型選抜公募型前期日程・指定校型の実施概要について審議し、確認された。
- 26) 学校推薦型選抜の合否判定配点について内容が審議された。
- 27) 2023年度以降における入試制度の変更について内容が審議された。
- 28) 11月・12月のオープンキャンパス実施内容について審議し、決定した。
- 29) 総合型選抜B日程・学校推薦型選抜後期日程・外国人留学生選抜B日程の実施概要について審議し、確認された。
- 30) 2023年度および2024年度入学選考試験概要について内容が審議された。
- 31) 2022年度オープンキャンパス計画について内容が審議された。
- 32) 一般選抜個別試験型・共通テスト利用型前期日程の実施概要について審議し、確認された。
- 33) 併願型の合格者への手続率向上に向けた施策について審議し、決定された。
- 34) 総合型選抜併願型・一般選抜共通テスト利用型後期の実施概要について内容を審議し、確認された。
- 35) 入学選考試験におけるオンライン面接の実施方法について内容が審議された。
- 36) 3月追加入試の実施概要について審議し、確認された。
- 37) 2023年度入試問題作成部会および検討部会担当者の選出について審議された。

#### (7) FD・SD委員会

##### ①委員名簿（委員会役職、氏名、所属）

- 西村 伸也（事業創造学部，委員長）
- 金宮 好和（情報学部，副委員長）
- 土岐智賀子（事業創造学部，委員）
- 西川 浩平（情報学部，委員）
- 木村 智哉（アニメ・マンガ学部，委員）
- 雑賀 忠宏（アニメ・マンガ学部，委員）
- 江口 五郎（事務局）
- 水澤 駿介（事務局）
- 須藤 麻衣（事務局）
- 白井真結美（事務局）

##### ②会議開催回数 12回

##### ③審議事項および決定事項等

- 1) 2021年度FD・SD研修会の内容検討および実施について審議した。
  - ・研修会の実施頻度について、他大学の研修実施状況の平均回数などを参照し、2022年度より「各学期にFD研修1回（計4回）+SD研修1回=年間5回の開催を基本とする」旨を決定した。
- 2) 授業評価アンケートについて、内容の検討並びに実施・運用について審議した。
  - ・回答率向上のための施策として、教員から学生に向けたアナウンス徹底と、そのためのマニュアル制作が決定された。また、事務局から学生へのこまめなリマインドと教員への注意喚起を行うこととした。
  - ・アンケート結果に対する教員側からのフィードバックに関する基本方針について決定した。

- ・ 回答率向上を目指した設問内容の整備を検討していくこととした。
- ・ 授業評価アンケートの運用について、教員人事には使用しないことを再確認した。

#### ④特記事項

##### 1) 2021 年度 FD・SD 研修会実施

- ・ 第 1 回 FD・SD 研修会（学生委員会協働）  
実施日：6 月 30 日（水）  
テーマ：「学生フォロー」  
講師：inquiry 合同会社 CEO 山本一輝 様  
参加率：87.3%
- ・ 第 2 回 FD・SD 研修会  
実施日：7 月 28 日（水）  
テーマ：「専門職大学」  
講師：株式会社大学経営コンサルティング 加藤雄次 様  
参加率：88.2%
- ・ 第 3 回 FD・SD 研修会  
実施日：8 月 25 日（水）  
テーマ：「高等学校進路指導と大学への進学」  
参加率：82.7%
- ・ 第 4 回 FD 研修会  
実施日：9 月 22 日（水）  
テーマ：「講義法」  
講師：佐藤浩章 顧問  
参加率：83.3%
- ・ 第 5 回 SD 研修会  
実施日：10 月 27 日（水）  
テーマ：「大学職員」  
講師：早稲田大学 喜久里要様  
参加率：66.0%
- ・ 第 6 回 FD 研修会  
日 時：11 月 24 日（水）  
テーマ：「アクティブラーニング」  
講師：佐藤浩章 顧問  
参加率：78.0%
- ・ 第 7 回 FD 研修会  
日 時：12 月 22 日（水）  
テーマ：「シラバス」  
講師：佐藤浩章 顧問  
参加率：69.2%
- ・ 第 8 回 FD 研修会  
日 時：1 月 26 日（水）  
テーマ：「成績評価」  
講師：佐藤浩章 顧問  
参加率：76.2%
- ・ 第 9 回 FD 研修会

- 日 時：2月24日（木）  
テーマ：「実務家教員」  
講 師：佐藤浩章 顧問  
参加率：91.3%
- ・第10回 FD・SD 研修会  
日 時：3月23日（水）  
テーマ：「学生フォロー」  
講 師：開志専門職大学 カウンセラー 安藤ますみ 様  
参加率：52.7%

2) 情報学部 教育プログラム意見交換会 (FD 活動) 実施

- ・第1回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：4月28日（水）  
参加率：82.3%
- ・第2回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：5月26日（水）  
参加率：88.2%
- ・第3回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：6月30日（水）  
参加率：94.1%
- ・第4回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：7月28日（水）  
参加率：88.2%
- ・第5回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：8月25日（水）  
参加率：82.3%
- ・第6回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：9月29日（水）  
参加率：88.2%
- ・第7回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：10月27日（水）  
参加率：94.1%
- ・第8回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：11月24日（水）  
参加率：94.1%
- ・第9回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：12月15日（水）  
参加率：82.3%
- ・第10回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：1月26日（水）  
参加率：94.1%
- ・第11回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会  
日 時：2月24日（水）  
参加率：88.2%
- ・第12回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会



日 時：3月23日（水）

参加率：82.3%

#### (8) 臨地実務実習委員会

##### 事業創造学部

###### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西村 伸也（事業創造学部，委員長）  
福田 稔（事業創造学部，副委員長）  
石川 秀才（事業創造学部，委員）  
平田 沙織（事業創造学部，委員）  
渡辺 康英（事業創造学部，委員）  
土岐智賀子（事業創造学部，委員）  
松澤 孝紀（事業創造学部，委員）  
東城 歩（事業創造学部，委員）  
遠田 孝之（事業創造学部 学務課課長，社会連携推進課課長，事務局）  
安井 智章（事業創造学部 社会連携推進課 課員，事務局）  
谷内田真理（事業創造学部 社会連携推進課 課員，事務局）

###### ②会議開催回数 12回

###### ③審議事項および決定事項等

- 1) 第1回 今年度の臨地実務実習に向けて実習内容の具体化と支える仕組みづくりに取り組むことが共有された。
- 2) 第1回 今後の課題として4年間の実習参加企業の確保，学生の保険加入，交通手段，補助，教職員に対する保険等，コロナに対する対応等が挙げられた。
- 3) 第2回 GW明けの新型コロナウイルス対応について，企業側から大学にリモートでの対応を求める要望があり，危機管理委員会への報告を行うことが確認された。
- 4) 第3回 新型コロナの状況下では，企業の実習担当者が来学して実習することもリアルの扱いとなるとの文科省の判断を得たことが報告された。
- 5) 第4回 学生の実習先配属について，希望調査方法について審議を行った。3案をベースに学生面談を通じて学生の意向を確認することとなった。
- 6) 第5回 企業への配属方法をエントリーシート方式とすることが決定した。
- 7) 第5回 コロナ感染者拡大を受け，検温結果を企業と大学とが共有することが決定した。
- 8) 第6回 臨地実務実習時の交通費支給規定について，既に総務会承認済の規定を確認し承認された。
- 9) 第6回 実習中の感染症防止・対応策について協議が行われ，学部内ガイドライン作成を委員会で検討していくことになった。
- 10) 第7回 「新規商品開発・販売実習 I」成績評価に対する学生からの異議申し立ての取り扱いについて協議し教務委員会と相談の上フローや窓口を明確にしていくこととなった。
- 11) 第7回 「企業内実習 II」企業希望に基づく実習日の他曜日への振替について協議され，教務委員会と連携の上進めることが決定した。
- 12) 第7回 企業との振り返り・学生アンケートへの検討が行われ，出された課題・問題に対応して，実習内容の改善を図っていくこととなった。
- 13) 第8回 実習曜日以外の訪問も可とし訪問記録は残すことが承認された。
- 14) 第8回 長期欠席が見込まれる学生の実習継続に向けた課題等による対応を協議した。

- 15) 第 9 回 次年度の実習先企業開拓に向け、夏休み等での集中講義が可能である旨の文科省からの回答が報告された。
- 16) 第 10 回 「企業内実習Ⅰ」において受入企業に対し実習学生の言動の説明を行ったことが報告された。
- 17) 第 11 回 企業との振り返り・学生アンケートへの検討が行われ、実習に関する課題・問題が議論され、実習内容の改善を図っていくこととなった。
- 18) 第 12 回 新入生・進級生オリエンテーションにおいてマナー研修の実施が決定した。

#### ④特記事項

以下 3 つの臨地実務実習が実施された。また学内にて実習成果報告会も開催された。

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」4月13日～7月28日

「企業内実習Ⅰ」10月13日～12月15日

「企業内実習Ⅱ」9月28日～2月1日

実施された 3 つの臨地実務実習にて、実習振り返り会が実施された。

「新規商品開発・販売実習Ⅰ」2021年9月～7日

「企業内実習Ⅰ」2022年1月19日

「企業内実習Ⅱ」2022年2月8日

#### 情報学部臨地実務実習委員会

##### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

磯西 徹明（情報学部，委員長）

鈴木 源吾（情報学部，副委員長）

堀川桂太郎（情報学部，副委員長）（2021年11月より）

上野 衆太（情報学部，委員）

西川 昌宏（情報学部，委員）（2021年11月より）

柄沢 直之（情報学部，委員）

PANN YU MON（情報学部，委員）（2021年11月より）

淡路 雅博（事務局）

宮本真由美（事務局）

金子 茜（事務局）

鈴木 菜々（事務局）

##### ②会議開催回数 11 回

##### ③審議事項および決定事項等

第 1 回 2021 年 4 月 7 日（水）13：30～14：30

1）学生向けオリエンテーションの開催と、日程が 4/27，4/28 の両日となることが決定。

2）学生向けオリエンテーションに向けた作業工程と担当，他教員への依頼事項が決定。

（ア）三上学部長への説明（3/27）内容確認

（イ）スケジュール，内容のアップデート，留意事項

（ウ）実習先企業の決定方法（アンケートの取り方など）確認

（エ）実習計画概要の作成（委員メンバー例を基にし担当教員へ提示）

（オ）学生オリエンテーションに向けた担当教員へのアナウンス，依頼：4/9 中目標

3）最終成果報告会の開催，日程（12/22）の決定

- (ア) 目的は、①大学の活動広報、②学生が得た成果（ベストプラクティス）を学生を含め、内外に理解いただくこと。

4) 企業との打合せ、協定書締結状況を確認

第2回 2021年6月2日(水) 13:30~16:30

- 1) 臨地実務実習Ⅰの希望調査結果をもとに仮配属を行い、委員による審議の上、以下再配属の方針が決定

- (ア) 2年生 77名中 74名回答 (3名未回答)
- (イ) 3名の未回答者については、磯西委員長と上野委員がアサイン
- (ウ) 各企業の定員を決めた上(2~4名などの場合)で、ルールに則り再割り振りを実施する。ルールベースとして、本人が希望しない実習先へのアサインはモチベーションが下がるため、可能な限りしないこととした。

第3回 2021年7月7日(水) 13:30~14:45

- 1) 学生への実習先割当の周知状況について確認。
- 2) 実習先ごとのチームの作成について、各教員にて個別に実施いただくようご依頼することが決定。
- 3) 遠隔地実習に対し、大学祭実施に伴う交通費補助を行うことが決定。
- (ア) 大学祭の実施に伴い、新潟に戻ることを希望する場合は、交通費の補助を行う。
  - (イ) 原則として、実習最初と最後の移動に準じる補助である同等の交通費全額を補助する。
  - (ウ) ただし、本件については教員において実習先担当者へ説明を行い、実習先企業がこれを了承することを条件とする。

- 4) 実習の開始に向けて、今後の業務と担当等が決定。

- (ア) 実習計画票取りまとめ
- (イ) 実習前の依頼状
- (ウ) 実習後の礼状
- (エ) 臨地実務実習報告書(製本)の作成
- (オ) 宿泊施設・実習に必要な機器などの手配
- (カ) 学生向けビジネスマナー指導
- (キ) 学生向けオリエンテーション
- (ク) 教員向けオリエンテーション
- (ケ) 学生向けオリエンテーション配布資料
- (コ) 日報システムの説明資料

- 2) 日報システムは現在改修中であること、納期は7月末であることを確認。

- 3) 文科省提出の実習計画書を根拠とし、担当教員は実習中3回以上、実習先を巡回することを確認。またリモートでの巡回を認めること、現地への巡回に係る交通費は大学負担となることを確認。

- 4) 臨地実務実習Ⅰオリエンテーション実施概要を審議。

- (ア) 学部長挨拶、科目のねらい、注意事項(守秘義務、個人情報保護、労災、抗原検査キット事前入手等)、日報の書き方、今後の予定

第4回 2021年8月4日(水) 13:30~15:00

- 1) 実習に際し、以下事項の周知が決定した

- (ア) 実習初日については学生だけで出社させるのではなく、担当教員が同行すること。
- (イ) 複数の実習先を担当している場合は初日が重ならないように考慮すること。
- (ウ) 実習巡回(実習中3回以上)については、事前に巡回する日を伝えること。

- 2) 連絡体制と緊急時の対応は教員と実習指導者の間にて協議の上、決定することが決定。

- 3) 交通費の補助について、関東実習地、新潟県内の実習地、新潟県内であるが遠隔地での取り扱いが決定。
- 4) 実習に向けての以下項目につき進捗状況を確認。
  - (ア) 実習前の依頼状、実習後の礼状、宿泊施設、実習に必要な機器、事前学習、事前面談の切符、実習前後の移動、学園祭のための移動切符手配、実習中の定期、学生向けビジネスマナー指導、
- 5) 教員から問い合わせがありそうな以下事項を確認。
  - (ア) 公欠の判断
  - (イ) 成績評価シラバスに規定あり（実習先評価：40%、実習日誌：30%、課題・プレゼン：30%）
- 6) 日報システムのデモンストレーションを行い、ユーザインタフェース、画面を確認。

第5回 2021年9月1日（水）13：30～14：30

- 1) 臨地実務実習Ⅰ前提科目不合格者3名、モリパワー株式会社（1名）、新潟人工知能研究所（2名）、この3名を除く74名が第3期の臨地実務実習Ⅰ履修可能となることを確認。
- 2) 日報システム説明会の宿題事項を確認。
- 3) 9月21日（火）臨地実務実習Ⅰ直前オリエンテーション実施内容が決定。また対面で予定していたがコロナ感染状況からリモートで実施とすることが決定。
  - 10：00～10：05 学部長挨拶
  - 10：05～10：45 科目のねらい⇒担当：磯西委員長
  - 10：45～11：05 注意事項⇒担当：磯西委員長  
守秘義務、個人情報保護、労災、抗原検査キット事前入手等
  - 11：05～11：45 日報の書き方⇒担当：事務局（説明）、鈴木（日報の内容）  
当日は学生が実際に日報を入力、テスト送信まで実施
  - 11：45～12：00 今後の予定⇒担当：柄沢
- 4) 臨地実務実習シンポジウム（最終成果報告会）の開催概要が決定。またプログラム案・内容・パネラー等について各自検討することを確認。
 

12/22（水）午後 紫竹山キャンパス S405・S406 大教室（予約済）

対象者：情報学部1・2年、専任教員、実習先企業

  - 13：30 開会
  - 13：30～13：35 挨拶 北畑学長
  - 13：35～13：50 実務訓練に期待する効果 三上学部長
  - 13：50～14：20 臨地実務実習について 磯西委員長  
（全体像説明、アンケート集計結果等）
  - 14：20～14：30 休憩
  - 14：30～16：40 パネルディスカッション
  - 16：40～16：55 質疑応答
  - 16：55～17：00 閉会挨拶
  - 17：00 閉会
- 5) 交通費の補助について確認
  - (ア) 自宅から実習先の区間が直線2km以上なら支給
  - (イ) 規定上では車通勤を認めている。（要申請書）（実習先の承諾も必要）
  - (ウ) 実習開始前に申請、実習完了後に精算
  - (エ) 上記の中で関東組だけは、先行して出金する予定
  - (オ) 関東への移動は別途新幹線チケットを手配し、事前に渡す
- 6) 実習初日に抗原検査の結果を提示することが決定。

第 6 回 2021 年 10 月 6 日 (水) 13:30~14:50

- 1) 実習先にお渡しする書類を確認。
  - (ア) 協力依頼文 (企業毎)
  - (イ) 臨地実務実習同意書 (学生毎)
  - (ウ) 評価表 ※記入例をつけて実習先に依頼をする。(担当教員から)
- 2) リモート実習における学内教室の運用方針が決定。
- 3) 日報による合計実習時間の中にシステム上昼休みが含まれているが 150 時間の必修実習時間に昼休みは含まないため、注意が必要であることを確認。
- 4) 大学祭からの依頼事項を確認 (企業情報リスト)。
- 5) 次年度の実習先開拓について、各教員へ依頼する方針が決定。
- 6) 企業向けアンケートの実施が決定。
  - (ア) アンケートは記名式 (次年度実習受け入れの可否の項目もあるため)。
  - (イ) 10 月末までに項目内容を決定。
- 7) 臨地実務実習シンポジウムにおいてポスターセッションを行うことが決定。また 1 年目なので一般の方々には呼ばず、内部および実習先などの関係者による発表に限定することを確認。
- 8) 臨地実務実習シンポジウム、テーマ、アジェンダ、ゲストが決定。

第 7 回 2021 年 11 月 3 日 (水) 13:30~14:30

- 1) 臨地実務実習委員会にメンバーが増え、新組織の構成員、目的を確認。
  - (ア) 次年度は、臨地実務実習Ⅱ (450 時間) が加わり、業務量が増大するため、3 名の委員が加わり 7 人体制となった。3 年生実習担当は鈴木副委員長・柄沢委員・西川委員、2 年生実習担当は堀川副委員長、上野委員、PANN 委員。2 年生担当と 3 年生担当に分かれるが、実習先が重なる場合もあるので密な連携を図っていく。実習先については担当教員 1 人につき 10 名分確保を目標とするが、不足部分については全学事務局 (権瓶局長に依頼)、委員会事務局、学部長と連携して埋めていく。
- 2) 今後のスケジュールが確認された
  - (ア) 2021 年 11 月~12 月実習先との調整 (新規及び既存実習先確認)
  - (イ) 2022 年 1 月~3 月協定書締結
  - (ウ) 2022 年 4 月学生向けオリエンテーション (新 2 年・3 年ごと)
  - (エ) 2022 年 5 月~6 月実習先と学生とのマッチング
  - (オ) 2022 年 10 月~11 月臨地実務実習Ⅰ (2 年生: 150 時間)
  - (カ) 2022 年 10 月~2 月臨地実務実習Ⅱ (3 年生: 450 時間)
  - (キ) 2023 年 2 月・3 月学内成果報告会 (企業による評価)
- 3) シンポジウムの準備内容、担当等を確認。
  - (ア) パネル登壇者 (学生、教員) 推薦期限
  - (イ) 基調講演、パネルディスカッションでアピールするポイントの情報収集。
  - (ウ) 企業指導責任者へのアンケート様式・項目 収集期限。
- 4) 臨地実務実習シンポジウムの報告書を作成することが決定。
- 5) 臨地実務実習成績評価基準と 1 次提出の確認。
- 6) 次年度企業開拓について、教員 1 人につき学生 10 名分の実習先確保を依頼することが決定。

第 8 回 2021 年 12 月 1 日 (水) 13:30~14:35

- 1) 臨地実務実習シンポジウムの報告書を作成することが決定。
- 2) 臨地実務実習シンポジウムの役割分担が決定。
  - (ア) シンポジウム全体責任者: 磯西委員長

- (イ) 会場全体設営・手配・通知・周知：事務局
  - (ウ) 基調報告：磯西委員長
  - (エ) パネル討論：上野委員，西川委員
  - (オ) ポスターセッション：鈴木副委員長，堀川委員
  - (カ) ネット映像配信準備：事務局，PANN 委員
  - (キ) 広報：事務局
  - (ク) 司会：鈴木副委員長
- 3) 臨地実務実習シンポジウムをネット配信することが決定.
  - 4) 臨地実務実習シンポジウムにて企業コメンテータの招聘が決定.
  - 5) シンポジウム時，学生の服装はオフィスカジュアルにすることを確認.

第 9 回 2022 年 1 月 12 日 (水) 16:35~17:30

- 1) 2021 年 12 月 22 日に皆様のご協力により，無事 2021 年度隣実務実習シンポジウムが終了．このシンポジウムを総括すると共に，以下を確認．
  - (ア) ご協力いただいた方々へのお礼状送付.
  - (イ) シンポジウム後の報道
  - (ウ) 臨地実務実習 1 年目の総括論文作成・投稿.
- 2) 2022 年度臨地実務実習 I・II に向けた準備状況を確認．
  - (ア) 2 年生 Typ80 名，3 年生 Typ50 名
  - (イ) 3 年生はかなり厳しい状況
- 3) 臨地実務実習シンポジウムポスターセッションのポスターを米山キャンパス内に掲示することが決定.
- 4) 企業開拓の促進，数字が埋まっていない教員，不足している教員のフォローが決定.
- 5) 来年度の担当教員分担方法，学生の配属方法の検討することが決定.

第 10 回 2022 年 2 月 2 日 (水) 13:30~14:30

- 1) ポスターセッション学生アンケート結果を確認.
- 2) 臨地実務実習の成果を論文にまとめ，国際会議 WACE へ投稿することが決定し，投稿状況を報告.
- 3) 企業開拓の促進，数字が埋まっていない教員，不足している教員のフォローの状況を確認．今後も継続し，フォローしていく.
- 4) 来年度の担当教員分担方法，学生の配属方法を議論.
- 5) 実習における報酬パターン 1 (手当あり) の場合の報酬支給額について，「最低賃金」を考慮いただきたい旨返答することを確認.
- 6) 日報システム改修について，教員からの改修リクエストを確認し，ベンダーとの協議に入ることとした.

第 11 回 2022 年 3 月 2 日 (水) 13:30~14:30

- 1) 企業開拓状況を確認.
- 2) 3 年生担当チーム準備状況を確認.
- 3) 2 年生担当チーム準備状況を確認.
- 4) 2022 年 8 月末~9 月に金沢工業大学で開催される国際会議 WACE 4th International Research Symposium へ投稿 (査読ありで採択) が完了したことを報告．投稿論文は，以下の通り．
  - (ア) Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi; "Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan: Case Studies of

5) 文部省インターンシップ表彰への応募を検討することが決定.

④特記事項

1) 臨地実務実習委員会主催／関連イベント

(ア) 事前準備講座

・ビジネスマナー講座：2021年5月12日～8月11日（全10回）、他			
第1回	5/12（水）	挨拶、態度、自己紹介	73名
第2回	5/19（水）	言葉遣い（敬語）	70名
第3回	5/26（水）	職場の「報・連・相」	69名
第4回	6/2（水）	身だしなみ	72名
第5回	6/16（水）	職場の基本マナー	68名
第6回	6/23（水）	電話対応・訪問のマナー	70名
第7回	6/30（水）	ビジネス文書・オンライン会議	65名
第8回	7/21（水）	実習後のマナー（お礼状）	64名
第9・10回	8/11（水）	最終テスト（ロールプレイング）	70名

(イ) 臨地実務実習Ⅰ学生オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅰ履修対象者

2021年4月27日（火）16：35～18：05 米山キャンパス1Fロビー

- ・臨地実務実習の進め方（実習の目的、概要、実習の流れ、履修上の留意点）
- ・実習企業紹介と実習概要の説明（1社5分）：実習担当教員→16社

2021年4月28日（水）16：35～18：05 米山キャンパス1Fロビー

- ・実習企業紹介と実習概要の説明（1社5分）：実習担当教員→9社
- ・実習開始までのスケジュール説明
- ・実習希望先調査について

(ウ) 臨地実務実習Ⅰ学生直前オリエンテーション ※臨地実務実習Ⅰ履修対象者

2021年9月21日（火）10：00～12：00（オンライン）

- ・科目のねらい
- ・実習にあたっての注意・確認事項（機密情報取扱い、情報セキュリティ、新型コロナウイルス感染予防他）
- ・日報の書き方、日報テスト入力
- ・今後の予定

(エ) 臨地実務実習Ⅰ（150時間）

期間：2021年9月28日（火）～11月24日（水）

- ・実習先企業：25社

Adam Innovations 株式会社, 株式会社ジェイ・エス・エス, 株式会社幻の酒, NTT コミュニケーションズ株式会社, 株式会社ホロラボ, 株式会社 VR デザイン研究所, 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社新潟支社, 株式会社チャリー, リコージャパン株式会社新潟支社, LINE 株式会社, 株式会社 LEApass, 株式会社 MGNET, 株式会社 シアンス, 株式会社 BSN アイネット, モリパワー株式会社, 株式会社 Dream Advance, 株式会社博進堂, 株式会社スピードパーク新潟, 三井住友 DS アセットマネジメント株式会社, 株式会社グラフ, 株式会社新潟人工知能研究所, シスココンサルティング株式会社, 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟, INSIGHT LAB 株式会社, 楽天グループ株式会社

- ・参加学生数：74名

(オ) 臨地実務実習シンポジウム

2021年12月22日（水）13：30～18：00 紫竹山キャンパス S405, S406

- ・基調報告 情報学部臨地実務実習委員長 磯西 徹明

- ・パネルディスカッション  
司会 情報学部 上野 衆太 教授  
学生 情報学部 2年 羽田 郁矢, 遠山 美江, 近田 翼, 田代 陽輪  
教員 情報学部 三上 喜貴学部長, 情報学部 堀川 桂太郎教授  
招待パネリスト 長岡技術科学大学 武田 雅敏 副学長
- ・ポスターセッション ※紫竹山キャンパス 4F フロア, S408, S409, S410  
実習先企業 25 社個々にポスターを使用して学生が発表
- ・企業様からの講評  
Adam Innovations 株式会社 カウシャル・ワウラガラ様, 株式会社グラフ 杉本裕樹様, 株式会社 BSN アイネット 落合里美様, シスココンサルティング株式会社 梅田欣司様, 株式会社 ジェイ・エス・エス 長井基樹様, 株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟 松木隆様, 他
- ・実習総括 北畑 隆生 学長

## 2) 臨地実務実習に関する広報

### (ア) 大学ウェブサイト

<開志のまなび>情報学部「臨地実務実習シンポジウム」レポート  
<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/1222/>

### (イ) YouTube

- ・開志専門職大学 情報学部「臨地実務実習 I」紹介動画  
実習先：Adam Innovations 株式会社 様  
[https://youtu.be/SVo\\_0r8iw\\_8](https://youtu.be/SVo_0r8iw_8)
- ・開志専門職大学 情報学部「臨地実務実習 I」紹介動画  
実習先：NTT コミュニケーションズ株式会社 様  
<https://youtu.be/H6vwqUt9Wxs>
- ・開志専門職大学 情報学部「臨地実務実習 I」紹介動画  
実習先：LINE 株式会社 様  
[https://youtu.be/X7GAnS\\_Gyoc](https://youtu.be/X7GAnS_Gyoc)
- ・開志専門職大学 情報学部「臨地実務実習 I」紹介動画  
実習先：株式会社 BSN アイネット 様  
<https://youtu.be/BW6Hx0nOGg4>
- ・開志専門職大学 情報学部「臨地実務実習 I」紹介動画  
実習先：株式会社グラフ 様  
<https://youtu.be/-nofxNehy2g>

## アニメ・マンガ学部臨地実務実習委員会

### ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

神村 幸子（アニメ・マンガ学部，委員長）  
KENTOO（アニメ・マンガ学部，副委員長）  
深井 利行（アニメ・マンガ学部，委員）  
森岡 淳（アニメ・マンガ学部，委員）  
日高トモキチ（アニメ・マンガ学部，委員）  
中西 素規（アニメ・マンガ学部，委員）（2021年7月より）  
青木 健一（アニメ・マンガ学部，委員）（2021年7月より）  
三上 真紀（事務局）  
大滝 智菜（事務局）



②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

第1回 2021年4月7日(水) 13:30～

- 1) 各委員の自己紹介
- 2) 臨地実務実習の仕組み, アニメ・マンガ学部の実習科目・実習先を確認.

第2回 2021年5月19日(水) 15:00～15:30

- 1) 臨地実務実習企業訪問持参資料について共有.
- 2) 2021年4月～5月までの臨地実務実習企業訪問について報告.
- 3) 今後の臨地実務実習企業訪問方針について審議.
  - (ア) 臨地実務実習は臨地での実施が前提であることを確認.
  - (イ) 新潟出身の学生が多い為, 可能な限り新潟県内で実習先を確保する.
  - (ウ) 授業が少ない2021年度に企業訪問し, 2022年度以降の実習先を確保する.

第3回 2021年6月16日(水) 15:00～15:30

- 1) 実習先企業の新規開拓記録は企業リストに集約することが決定.
- 2) 新規開拓方針を以下の通り確認.
  - (ア) 企業リスト内の印刷・広告・イラスト関連企業について営業先を精査する.
  - (イ) 学部全教員で企業確保に取り組む.
  - (ウ) 実習先候補の営業担当決定について方針を決定.
  - (エ) 卒業要件を考慮し, 学生に2単位の臨地実務実習科目の履修を勧める.
  - (オ) ガタフェスは新潟市, ガタケット, 日本アニメ・マンガ専門学校, 開志専門職大学アニメ・マンガ学部が主催, 神村臨地実務実習委員長が実行委員長を務める. 以降も集客が見込めるイベントには積極的に学生を参加させる.
  - (カ) 中西素規准教授・青木健一助教を新たに委員として迎える.

第4回 2021年7月7日(水) 11:30～

- 1) 臨地実務実習受入企業リストについて, 以下の通り報告された.
  - (ア) 臨地実務実習受入企業リスト内の各社受入可能性評価について説明.
- 2) 実習受入企業の教員担当を以下の通り決定.

新潟市マンガアニメ情報館	(雑賀先生)
新潟市マンガの家	(雑賀先生)
新潟市文化スポーツ部文化政策課	(日高委員)
文化スポーツ施設系・美術館	(日高委員)
広告・印刷分野	(中西委員)
ゲーム系企業	(KENTOO 副委員長・森岡委員)
ガタケット	(青木委員・日高委員)
ガダマン	(日高委員)
- 3) 企業コンタクト・訪問方法について共有された.
- 4) その他決定・報告事項
  - (ア) 臨地実務実習前にマナー研修を実施, 青木委員が手配する.
  - (イ) 実習先との交渉の成功事例を共有する.
  - (ウ) 保険未加入者は在籍42名中6名.
  - (エ) 臨地実務実習の前提科目が履修されているか, 学生との確認のため面談を2021年7月より実

施する。

(オ) 学生のスキル一覧について企業用資料を作成する。

第5回 2021年8月18日(水) 15:00～

- 1) 企業訪問の進捗を報告。
- 2) 企業訪問教員担当の確認。
- 3) 企業訪問時の手持ち資料としてポートフォリオを追加することが決定。

第6回 2021年9月22日(水) 13:00～

- 1) 今後の企業開拓方針について確認。
- 2) 2022年度臨地実務実習準備スケジュールの確認。
- 3) 今後のスケジュールを以下の通り決定。

2021年9月 臨地実務実習候補リスト・企業ユニット作成  
神村委員長：文化啓発施設運営実務  
KENTOO 副委員長・森岡委員：デジタルペイント実務

2021年10月 担当教員選定

2021年11月 実習先と本契約

(文化啓発施設運営実務Ⅰ・デジタルペイント実務)

2021年12月 学生オリエンテーション実施

第7回 2021年10月6日(水) 13:30～

- 1) 文化啓発施設運営実務Ⅰの企業訪問について進捗報告。

第8回 2021年11月3日(水) 13:30～

- 1) 文化啓発施設運営実務Ⅰの企業訪問について進捗報告。
- 2) 2023年度以降の臨地実務実習科目の企業開拓について進捗報告。

第9回 2021年12月1日(水) 13:30～

- 1) 文化啓発施設運営実務Ⅰの企業訪問について進捗報告。

今後のスケジュール

(ア) 2022年2月 学生オリエンテーション

(イ) 2022年4月 直前オリエンテーション

時間割

(ア) 文化啓発施設運営実務Ⅰ

1・2学期 金曜日1～5限 7.5時間×8回を2セット(2チーム編成)

(イ) 文化啓発施設運営実務Ⅱ

アニメ・マンガコース 4学期 木曜1～5限

7.5時間×8回を2セット(2チーム編成)

キャラクターデザインコース 3・4学期 金曜3～5限

3.75時間×16回を1セット(1チーム編成)

- 2) デジタルペイント実務Ⅰの実習先確保について進捗報告。

第10回 2022年1月19日(水) 14:15～15:25

- 1) 文化啓発施設運営実務Ⅰ実施準備について進捗報告。
- 2) 2022年度実習に向けたスケジュールを確認。

(ア) 文化啓発施設運営実務 I

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 月まで        | 協定書締結, 学生配属先決定 |
| 2 月 10 日 (木) | 学生オリエンテーション    |
| 4 月 6 日 (水)  | 直前オリエンテーション    |
| 4 月 15 日 (金) | 実習 1 回目        |

(イ) デジタルペイント実務 I

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 2 月～4 月           | 実習・協定内容取りまとめ        |
| 4 月末～5 月          | 中旬協定書締結完了, 実習先希望調査  |
| 5 月末～6 月上旬        | 学生オリエンテーション (実習先発表) |
| 7 月末～8 月          | 直前オリエンテーション         |
| 8 月 12 日～9 月 21 日 | 実習期間                |

- 3) 2022 年度臨地実務実習委員会 委員構成について以下の通り承認がなされた。  
委員長：KENTOO 委員                      副委員長：日高委員  
委員：森岡委員                              委員：西村先生

第 11 回 2022 年 2 月 2 日 (水) 13:30～

- 1) 文化啓発施設運営実務 I 実施準備について進捗報告.
- 2) デジタルペイント実務 I 企業開拓の進捗報告.

第 12 回 2022 年 3 月 2 日 (水) 13:30～

- 1) 文化啓発施設運営実務 I 実施準備について進捗報告.
- 2) 2022 年 2 月企業開拓の進捗を確認.

④特記事項

2022 年度の臨地実務実習に向けて, 以下のオリエンテーションを実施。  
マナー研修, 実習内容の説明・連絡, 手続き・書類の説明がなされた。

- 1) 「臨地実務実習 学生オリエンテーション」 2 月 10 日
- 2) 「文化啓発施設運営実務 I 学生オリエンテーション」 2 月 10 日
- 3) 「文化啓発施設運営実務 I 施設毎のオリエンテーション」 3 月 2 日～8 日

(9) 倫理委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

- 三上 喜貴 (情報学部, 委員長)  
西村 伸也 (事業創造学部, 副委員長)  
宮元万葉美 (情報学部, 委員)  
星 和樹 (事業創造学部, 委員)  
土岐智賀子 (事業創造学部, 委員)  
高山 裕司 (学識経験者, 委員)  
横山 昌吾 (アニメ・マンガ学部, 委員)  
雑賀 忠宏 (アニメ・マンガ学部, 委員)  
高野 (総務部長, 事務局)  
草間 (総務課職員, 事務局)  
安達 (総務課職員, 事務局)  
村木 (総務課職員, 事務局)

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

審査件数：2件（新規2件）

審査結果：承認2件

1)申請者名：西川 浩平（情報学部）

課題名：採用担当が求めるスキル基準調査に基づく、リカレント教育受講提案システムの開発

承認番号：004-210629

2)申請者名：島田 健太郎（事業創造学部）

課題名：起業教育の効果に関する研究—専門職大学の臨時実務実習を事例に

承認番号：005-21101201

(10)危機管理委員会

①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

北畑 隆生（学長、委員長）

櫻井 繁樹（副学長・学長代行、委員）

三上 喜貴（副学長・情報学部長、委員）

川崎 千春（副学長、委員）

近藤 正幸（事業創造学部長、委員）

徳田 賢二（事業創造学部長、委員）

神村 幸子（アニメ・マンガ学部長、委員）

田代 秀一（教務委員長、委員）

堀川桂太郎（学生委員長、委員）

権瓶 拓也（事務局長、委員）

江口 五郎（学務部長、委員）

高野 真司（総務部長、委員）

多賀 祥治（広報担当課長、委員）

濱田 昌宏（広報担当課長、委員）

②会議開催回数 13回

③審議事項および決定事項等

1)新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された（2021年4月20日）

2)対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応について決定された（2021年4月20日）

3)新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された（2021年4月27日）

4)対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応について決定された（2021年4月27日）

5)オープンキャンパスの新潟県外からの参加者対応について決定された（2021年5月17日）

6)新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された（2021年6月3日）

7)夏季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された（2021年7月28日）

8)ワクチン職域接種・副反応に伴う講義等の取扱について決定された（2021年8月25日）

- 9) 「大学祭」開催の可否について決定された (2021 年 8 月 25 日)
- 10) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された (2021 年 9 月 9 日)
- 11) 第 3 学期以降の講義体制について決定された (2021 年 9 月 9 日)
- 12) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された (2021 年 11 月 13 日)
- 13) 第 4 学期以降の講義体制について決定された (2021 年 11 月 13 日)
- 14) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された (2021 年 12 月 15 日)
- 15) 新型コロナウイルス感染者発生 of ホームページ公表文案について決定された (2022 年 1 月 9 日)
- 16) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された (2022 年 1 月 9 日)
- 17) 2022 年 1 月 11 日以降の授業体制について決定された (2022 年 1 月 9 日)
- 18) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された (2022 年 2 月 4 日)
- 19) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針について決定された (2022 年 3 月 11 日)
- 20) 対面授業により入構する学生への新型コロナ感染拡大防止の対応について決定された (2022 年 3 月 11 日)

#### ④特記事項

- ・2021 年 5 月 18 日に新型コロナウイルス感染症が本学で発生した際の訓練シミュレーションを行った。

#### (11) 人権委員会

##### ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

- 櫻井 (事業創造学部, 委員長)
- 高野 (総務部長, 副委員長)
- 堀川 (情報学部, 委員)
- 土岐 (事業創造学部, 委員)
- こだま (アニメ・マンガ学部, 委員)
- 宮本 (社会連携推進課職員, 委員)

##### ②会議開催回数 1 回

##### ③審議事項および決定事項等

- 審査件数: 1 件 (新規 1 件)

#### (12) 開志専門職大学ビジネスアイデアコンテスト及びロゴコンテスト

##### ①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

- 原岡 和生 (事業創造学部, 実行委員長)
- 高松 孝光 (事業創造学部 (21 年時点), 委員)
- 美甘 哲秀 (事業創造学部, 委員)
- 福田 稔 (事業創造学部, 委員)
- 西川 浩平 (情報学部, 委員)
- 青木 健一 (アニメ・マンガ学部, 委員)
- 権瓶 拓也 (大学事務局, 委員)

##### ②開志専門職大学ビジネスアイデアコンテスト／ロゴコンテスト

- 2021 年 11 月 13 日土曜日 13:30 - 15:30

紫竹山キャンパス S406 を中心に、4F を全面的に用いて実施。参集者、約 120 名。

[参集者 内訳]

ご来賓及び審査員：4 名

佐藤光歳様（審査員事業創造キャピタルキャピ代表取締役）

野見山智様（政策金融公庫新潟支店支店長）

渋谷修太先生（フラー株式会社代表取締役会長，開志専門職大学情報学部講師）

有元知史先生（新潟大学経済学部准教授）

招待企業：31 社 36 名

新聞・報道：5 社

にいがた経済新聞，新潟日報，TeNY（テレビ新潟），UX（新潟テレビ 21），NST（新潟総合テレビ）

学生：約 40 名

教職員：約 40 名

[開志専門職大学ビジネスアイデアコンテスト応募対象]

2021 年度は、本学在校生のみを対象とした。

2 部門を設置した。

企画書を必須とする本気<ガチ>部門，アイデアのみの未来<ゆる>部門

[開志専門職大学ビジネスアイデアコンテスト受賞者]

応募ビジネスアイデア数：23（複数応募およびグループ応募含む）

グランプリ：4 名 1 グループ

古津瑛陸（代表）（事創），大平涼介（事創），平山泰暉（情報），

バトジャラガル テギシトルガ（事創）

理事長賞：2 名 1 グループ

酒井晏慈（代表）（事創），佐藤隆伸（事創）

池田弘賞：3 名 1 グループ

上野真路（代表）（事創），紺野愛貴（事創），古川祐輝（東洋大学）

聴衆賞：坂本大樹（事創）

開志自学賞：大枝美音（アニメ）

開志挑戦賞：服部友規（事創）

開志創造賞：青木玲於奈（事創），紺野愛貴（事創）

未来賞：坂本大樹（事創），後藤峰志（事創）

実行委員会特別賞：関口輝（情報），村松旦陽（事創）

佳作：澤村栄吉（事創），飯田正明（事創），栗林友香（事創）

（文中の略称：事業創造学部→事創，情報学部→情報，アニメ・マンガ学部→アニメ）

[ロゴコンテスト受賞者]

応募作品数：23

グランプリ：小澤吉野（アニメ）

2021 年度アイコン賞品，2022 年度のビジコン賞品における図書カードや Amazon ギフト券の

ロゴとして使用することに決定。

特別賞：大平涼介（事創）

（文中の略称：事業創造学部→事創，情報学部→情報，アニメ・マンガ学部→アニメ）

### ③今後の継続事項

- (ア) 開志エンジェルファンドとの接続のフレームワークづくり
- (イ) 創業支援に関する枠組みの確認
- (ウ) 2022 年の実行委員長は情報学部より選出, 2023 年の実行委員長はアニメ・マンガ学部, 2024 年の実行委員長は事業創造学部とし, 以降持ち回りで実施していく.
- (エ) 対象の拡大
  - ① 2021 年度: 本学在校生を対象に実施
  - ② 2022 年度: 2021 年度の対象に, 新潟県を中心に全国の高校生を追加.
  - ③ 2023 年度: 2022 年度の対象に, 本学以外の外部の大学を追加.

### ④エピソード・後日談・感想・反省

- (ア) 企業から, 出資したい, のオファーが来た, との報告.
- (イ) 事業創造学部 2 年は, 二層に完全に分離してきた感がある (2020 年のコンテストと参加者層が同じ).
- (ウ) 前日夜は, 誰いうことなしに全員集まって通しリハーサルになった.
- (エ) <ゆる>で応募しても<ガチ用>のメンタリングを希望する学生が多い.
- (オ) 来年以降, 学部毎の特色を生かした「コンテスト」になるだろう.
- (カ) メディア対応・一般集客が後手に回った.
- (キ) 高校生来場 0 人, 学生参加数が予定より 20 名少なかった.
- (ク) メンタリングが特定の教員に集中する.
- (ケ) 招待企業の投票によるスター誕審査会は, 満足の意見が多いが, 継続するかは 2022 委員の判断 (労力大).
- (コ) 本番直前の一週間で, 「先輩のようにになりたいです」と特訓を希望してきた学生が 3 名おり, 本コンテストが良い影響を与えている.

## 4) 各種センター・LAB活動

### (1) キャリアセンター体制

#### ①構成員名簿 (敬称略, 所属, 役職)

平川 秀樹 (情報学部, 教授, センター長)

江口 五郎 (学務部, 部長, 副センター長)

#### [紫竹山キャンパス: 事業創造学部]

土岐千賀子 (事業創造学部, 講師)

遠田 孝之 (社会連携推進課, 課長)

谷内田真理 (社会連携推進課)

安井 智章 (社会連携推進課)

#### [米山キャンパス: 情報学部]

平川 秀樹 (情報学部, 教授)

淡路 雅博 (社会連携推進課, 課長)

鈴木 菜々 (社会連携推進課)

#### [古町ルフルキャンパス: アニメ・マンガ学部]

belne (アニメ・マンガ学部, 教授)

三上 真紀 (社会連携推進課, 課長)

大滝 智菜 (社会連携推進課)

## ②活動状況報告

[紫竹山キャンパス 事業創造学部]

### [1] キャリア支援のためのファシリティ・組織活動の状況

- (1) 学内ファシリティ（キャリアセンターの場所や設備・データなどの準備状況）  
キャリアセンター  
場所：紫竹山キャンパス S112  
資料：就職活動関連書籍，求人票，セミナー・説明会案内，企業パンフレット
- (2) 実施した内部会議・外部会議，就職対象先企業訪問など  
・県内大学等と新潟県内企業とのオンライン情報交換会参加  
新潟県主催，2021年11月12日（金）開催

### [2] 学生支援活動の状況

- (1) 就職支援イベントの開催（就職支援セミナー，企業説明会など）
  - ・「プレ就活スタートアップセミナー」  
講師：株式会社リクルート 阿部麻子様  
日時：2021年11月24日（水） 13：15～14：45  
会場：紫竹山キャンパス S309  
対象：事業創造学部2年生  
参加人数：22名（休学を除く在籍者数63名）
  - ・「新3年生オリエンテーション」内での各ナビサイト一斉登録会，  
パネルディスカッション開催  
講師：株式会社リクルート 阿部麻子様，株式会社マイナビ 稲越早紀様，  
株式会社広報しえん 野瀬山知巳様  
日時：2022年3月28日（月） 14：10～16：25  
会場：紫竹山キャンパス S406  
対象：事業創造学部2年生  
参加人数：47名（休学を除く在籍者数63名のうち）
- (2) 就職活動関連情報の提供（求人情報，インターンシップ情報など）  
インターンシップ情報，セミナー・合同企業説明会案内
- (3) 個別面談の実施
  - ・第1回 個別キャリア面談実施  
日時：2021年10月25日～11月12日  
対象：休学者1名を除く63名の2年生  
内容：進路希望調査に基づく希望等のヒアリング

[米山キャンパス：情報学部]

### [1] キャリア支援のためのファシリティ・組織活動の状況

- (1) 学内ファシリティ（キャリアセンターの場所や設備・データなどの準備状況）  
場所：Y201（米山キャンパス東棟2階）  
設備：面談ブース，面接練習ブース，検索用PC

### [2] 学生支援活動の状況

- (1) 就職支援イベントの開催（就職支援セミナー，企業説明会など）  
3月3日（木） キャリアセンター説明会  
3月30日（水） 求人NAVI説明会，就職支援サイト一括登録会



### 進路希望調査

- (2) 就職活動関連情報の提供（求人情報、インターンシップ情報など）  
外部就活イベント情報の提供
- (3) 学生スキルアップ支援（資格取得、公務員試験対策など）  
未実施
- (4) 個別面談の実施  
2年生1名実施

[古町ルフルキャンパス：アニメ・マンガ学部]

#### [1] キャリア支援のためのファシリティ・組織活動の状況

- (1) 学内ファシリティ（キャリアセンターの場所や設備・データなどの準備状況）  
キャリアセンター  
場所：古町ルフルキャンパス F118 学習支援センター  
資料：求人票（主にアニメーション制作会社）、セミナー・説明会案内
- (2) 実施した内部会議・外部会議、就職対象先企業訪問など  
実施なし

#### [2] 学生支援活動の状況

- (1) 就職支援イベントの開催（就職支援セミナー、企業説明会など）  
「就職活動準備基礎講座～将来を見据えて今から出来ること～」  
講師：株式会社リクルート 阿部麻子様  
日時：2021年12月1日（水） 11:20～12:20  
会場：古町ルフルキャンパス F204 プレゼンテーションルーム  
対象：アニメ・マンガ学部1年生  
参加人数：21名（対象41名）
- (2) 就職活動関連情報の提供（求人情報、インターンシップ情報など）
  - ・求人票（主にアニメーション制作会社）
  - ・インターンシップ情報
  - ・セミナー・説明会案内
  - ・自己分析ツール案内
- (3) 学生スキルアップ支援（資格取得、公務員試験対策など）  
色彩ワークショップ（色彩士検定）
- (4) 個別面談の実施  
実施なし

#### (2) 開志未来創造研究センター

##### ① 構成員名簿（敬称略、所属、役職）

西川 昌宏（情報学部准教授、センター長）

西川 浩平（情報学部講師）

PANN YU MON（情報学部助教）

淡路 雅博（事務局）

##### ② ミッションと活動

専門職大学の「研究」は、産業界での活用を出口とする実践的な開発研究、コンサル、産学共同教育による人材育成など多様な活動が考えられる。未来創造研究センターは、共創の場の提供やワークショップ

ブ運営などによりこれらの活動を支援する。また、その取り組みや成果を視覚化することで「見せる」センターとして、科学技術の啓発や情報発信を行う。

### ③ 2021 年度活動

#### I. 基本方針

コロナ禍のため、5/22（土）仮オープンし、学内での運営試行、展示試作を行うことで、今後のブラッシュアップにつなげる。

#### II. 活動内容

##### 1) 一部展示・パネルの試作

教員紹介、臨地実務実習先企業紹介、情報学部カリキュラム、情報の歴史年表など

##### 2) オープンキャンパス対応（11回）

5/22（土）、6/5（土）、6/26（土）、7/10（土）、7/31（土）、8/21（土）、9/18（土）、10/16（土）、11/6（土）、12/4（土）、3/26（土）

##### 3) 見学対応（2回）

7/8（木）新潟商業高校、7/9（金）巻総合高校

##### 4) 公開講座（オンライン開催9回）

テーマ；プログラミング、IoT 入門、クラウド入門、機械学習アプリ入門など

5/14（金）、6/11（金）、6/25（金）、7/8（木）、7/23（金）、8/26（木）、9/2（木）、9/11（土）、10/21（金）

##### 5) 臨地実務実習協力

・㈱スピードパーク新潟様への実習場所の提供（10～11月）

##### 6) サークル活動支援

・音楽サークル、写真・動画サークル（月1回程度）

### (3) KAISHI LAB

#### ①委員名簿（敬称略、所属、委員会役職）

金宮 好和（情報学部、LAB 長）

田代 秀一（情報学部、副 LAB 長）

大和田 翔（情報学部、指導助手）

淡路 雅博（事務局）

金子 茜（事務局）

#### ②会議開催回数 13回

#### ③審議事項および決定事項等

1) 第14回 LABの基本方針を協議の上、決定した

2) 第14回 学生に向けて3Dプリンタ、レーザーカッター、UVプリンタの定期的な講習を開催することを決定した

3) 第14回 オープンキャンパス時のラボ紹介の内容を協議の上、決定した

4) 第14回 2021年開講予定の授業に対する支援方針について決定した

5) 第14回 利用申請の方法について、サークル、プロジェクト（共同研究含む）は計画書提出を、個人利用は事前予約制とすることが決定した

6) 第15回 LABのセキュリティについて、カメラを設置することが決定した

7) 第15回 LABを表す表記が曖昧であったため「KAISHI LAB」で統一することが決定した

8) 第15回 機材の講習に加え、ソフトウェア講習の有無を検討することが決定した

- 9) 第 15 回 ソフトウェア講習の検討に伴い、関連初期を LAB に配架することが決定した
- 10) 第 15 回 WORKS エリアの利用について、簡単な工具のみであってもスタッフが共同で作業を行える際にしか立ち入れないようにすることが決定した
- 11) 第 15 回 火曜 15:00~18:00 にメンテナンス日を設けることが決定した
- 12) 第 16 回 大判プリンタの料金、利用方法が決定した
- 13) 第 16 回 他学部の利用を促進するため、講習会などの発信を行うことが決定した
- 14) 第 16 回 学園祭等イベント開催が予想されることから、デジタルミシンや、衣類対応プリンタ、大判プリンタの利用などの準備をすることが決定した
- 15) 第 16 回 指導助手および専任職員の安全のため、作業服を整備することが決定した
- 16) 第 16 回 LAB に対する入試広報との認識のズレが大きいため、外部向けアナウンス内容について入試広報課とすり合わせを行うことが決定した
- 17) 第 17 回 LAB の企画運営用の予算が無いため、次年度に向けて要求することが決定した
- 18) 第 17 回 機材や消耗品の管理担当者を明確にすること、消耗品の購入個数、消費個数を管理することが決定した
- 19) 第 17 回 清掃・ゴミについて、通常のゴミ取り扱いで問題ないか、総務と契約内容の確認をすることが決定した
- 20) 第 17 回 授業支援のため、大型モニタを 2 台設置することが決定した
- 21) 第 17 回 学生利用が少ない状況の改善を目的とし、学生の需要を汲み取りものづくりの相談に対応を行うことが決定した
- 22) 第 17 回 外部企業と協同でワークショップの開催が決定した
- 23) 第 18 回 3D プリンタの利用に伴い、著作権の観点から、既存データをただダウンロードして出力するなどの利用に対し、どのような取り扱いとするか検討することが決定した
- 24) 第 18 回 倉庫内で漏電の可能性があるため、専門業者による検査が決定した
- 25) 第 18 回 監視カメラの設置完了が報告された
- 26) 第 19 回 サーキットエリアのメーカートレーニングを行うかどうかに関して、現状このエリアを使う見込みの学生・教職員がほとんどないため、トレーニングは実施しないことが決定した
- 27) 第 19 回 メンバーより上がった購入希望備品について、UV プリンタトナー、液晶タブレット、サーキュレータ、ルーターの購入が決定した
- 28) 第 20 回 DMM との連携講座について、機材体験ラリー、IoT ミニ四駆を作ろう、フリスク風ヘッドフォン・アンプを作ろう、電子工作基礎講座が提案された  
※その後、8・9 月にかけてコロナ禍の影響が強くなったことから、夏期でのイベント開催を行わないことが決定した
- 29) 第 20 回 各機材のマニュアル作成が完了したことが報告された
- 30) 第 20 回 各機材の管理リストが更新されたことが報告された
- 31) 第 20 回 作業着の整備が完了したことが報告された
- 32) 第 20 回 LAB へのモニター移動および設置が完了したことが報告された
- 33) 第 20 回 ブレーカー改修工事によって、合計 100A から 1 つ 100A となったことが報告された
- 34) 第 21 回 LAB スペースの確保のため、Works エリア、Circuit エリアの機材を選別し、移動するなどを計画することが決定した
- 35) 第 21 回 LAB での成果物をライブラリ化することが決定した
- 36) 第 21 回 指導お助手によるものづくりのプロジェクト「オルゴール制作」が決定した
- 37) 第 21 回 Works エリアの一部機材は怪我をする恐れがあるため凍結することが決定した
- 38) 第 22 回 KAISHI LAB の規定が改定され、目的が見直された
- 39) 第 22 回 KAISHI LAB の規定が改定され、意思決定のための委員会と、日常的な運用を行うチームの 2 つを組織することが決定した

- 40) 第 22 回 KAISHI LAB 事業計画を作成し、今後はこの事業計画に基づき、スケジュールに沿って運営していくことが決定した
- 41) 第 22 回 KAISHI LAB 利用規定が改定された
- 42) 第 23 回 3D プリンタなどの好悪集について、参加者無しが続いたことから、今後は希望学生と個別に開催することが決定した
- 43) 第 23 回 機材の移設について、移設先に紫竹山キャンパスも検討することが決定した
- 44) 第 23 回 LAB 利用者用のロッカーの設置について検討を行ったが、設置場所、大きさ、目的、現在の利用状況などから、見送ることが決定した
- 45) 第 23 回 学生作品展示コーナーの設置が決定した
- 46) 第 23 回 KAISHI LAB 独自の web サイトを制作することが決定した
- 47) 第 23 回 製作の手がかりとなるよう、簡単な 3D モデルなどのライブラリを整備することが決定した
- 48) 第 23 回 半田こてに大量の錆が出たため、保存方法の変更することが決定した
- 49) 第 23 回 コロナの影響で中断されていた DMM ワークショップの企画を再始動することが決定した
- 50) 第 24 回 指導助手より、オルゴール制作イベントの進捗が報告された
- 51) 第 24 回 LAB の開館時間について、現状の 12 時半から 18 時の開館時間以外での学生のニーズが高いことが報告され、今後開館時間の延長を検討することが決定した
- 52) 第 24 回 LAB の開館時間について暫定的な対応として、あらかじめ午前中利用したい場合は事前に使用したい旨をスタッフに申し出る、予約を行うなどして対応することが決定した
- 53) 第 24 回 KAISHI LAB サイト制作の進捗が報告された
- 54) 第 24 回 凍結が決定した Works エリアの一部機材について、ラボの利便性が落ちてしまうことを懸念し、指導助手でその取扱を検討することが決定した

④特記事項

- 別紙 1 2021 年度 KAISHI LAB 開催行事・講習一覧
- 別紙 2 2021 年度入館記録表

2021 年度 KAISHI LAB 開催行事・講習一覧

開催日時

4 月
12 日 (月) KAISHI LAB オープン

5 月
12 日 (水) レーザーカッター講習 (3 名)
19 日 (水) レーザーカッター講習 (5 名)
26 日 (水) レーザーカッター講習 (4 名)

6 月
2 日 (水) 3D プリンタ講習 (6 名)
9 日 (水) 3D プリンタ講習 (3 名)
16 日 (水) 3D プリンタ講習 (3 名)
23 日 (水) レーザーカッター講習 (1 名)
30 日 (水) UV プリンタ講習 (4 名)

7月
6日(火) UVプリンタ講習(2名)
27日(火) 3Dプリンタ講習(2名)
8月
17日(火) 3Dプリンタ講習(1名)
26日(木) UVプリンタ講習(1名)
9月
21日(火) レーザーカッター講習(2名)
24日(金) 3Dプリンタ講習(2名)
29日(水) レーザーカッター講習(2名)
10月
6日(水) レーザーカッター講習(3名)
18日(月) レーザーカッター講習(1名)
11月
29日(月) 3Dプリンタ講習(3名)
レーザーカッター講習(3名)
UVプリンタ講習(3名)
12月
1日(水)～14日(火) スノードーム制作イベント(5名)
6日(月) 3Dプリンタ講習(3名)
レーザーカッター講習(3名)
UVプリンタ講習(3名)
13日(月) レーザーカッター講習(1名)
UVプリンタ講習(1名)
1月
KAISHI LAB ホームページ制作 着手
3月
30日(水) 電子工作入門講座(DMM.com .make AKIBA 共催)(12名)
31日(木) ミニチュアオンエアランプ制作講座(DMM.com .make AKIBA 共催)(8名)
その他
オープンキャンパス KAISHI LAB ツアー
オープンキャンパス リピーターイベント(キーホルダー製作体験, コースター製作体験)
IoT 演習
臨地実務実習

## 広報一覧

### 大学ホームページ

- ・<サークル活動密着> CReators of KAISHI LAB サークル  
【ドローン特別講義編】  
<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/0525/> (2021年6月4日更新)
- ・<開志のまなび> IoTを実現するハードウェア, アプリ, ネットワークを学ぶ  
「IoT演習」の講義をご紹介します。【情報学部2年生】  
<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/0702/> (2021年7月7日更新)
- ・<開志専門職大学×DMM.com>  
電子工作・ミニチュアオンエアランプ制作講座 inKAISHI LABを開催しました。  
<https://kaishi-pu.ac.jp/topics/033031/> (2022年4月6日更新)

### YouTube

- ・開志専門職大学 サークル活動紹介 CReators of KAISHI LAB  
ドローン特別講義編  
<https://youtu.be/6TN1xIEv9nU> (2021年6月4日更新)
- ・開志専門職大学 6/5 (土) 情報学部オープンキャンパス動画  
写真・動画サークル 上田氏作 米山キャンパス  
<https://youtu.be/WzvJa3sBc9E> (2021年6月8日更新) (1:10~)
- ・開志専門職大学 情報学部 IoT演習 講義紹介 AI データサイエンス  
IoT サイバーセキュリティ ゲーム アプリ開発  
[https://youtu.be/yF89F1y\\_hbw](https://youtu.be/yF89F1y_hbw) (2021年7月9日更新)

入館記録表 (学生)		入館記録表 (教職員)		入館記録表 (合計)	
4月	7	4月	0	4月	7
5月	14	5月	2	5月	16
6月	52	6月	6	6月	58
7月	35	7月	4	7月	39
8月	16	8月	10	8月	26
9月	20	9月	9	9月	29
10月	37	10月	5	10月	42
11月	35	11月	4	11月	39
12月	32	12月	1	12月	33
1月	1	1月	0	1月	1
2月	0	2月	0	2月	0
3月	15	3月	0	3月	15
合計	264	合計	41	総合計	305

#### (4) 数理・データサイエンスセンター

##### ① 構成員名簿 (敬称略, 所属, 役職)

- 鈴木 源吾 (情報学部, センター長)
- 平川 秀樹 (情報学部, 副センター長)
- 田代 秀一 (情報学部, センター員)
- 原岡 和生 (事業創造学部, センター員)
- 柄沢 直之 (情報学部, センター員)
- 淡路 雅博 (事務局)

## ②活動事項

- 1) データサイエンティスト育成・データ分析実践に取り組む某 SI 企業とデータサイエンスに関する共同研究について打合せを実施し、スマート農業・もの作りデータなどへの取り組み状況を報告し、協力関係の可能性について議論した。
- 2) 株式会社ベジ・アビオとスマート農業に関する共同研究について打合せを実施した。環境情報の自動収集とデータベース化・データ可視化を実施した。共同研究の着手について、広報発表を実施した。
- 3) 株式会社 MGNET と、もの作りに関するデータ整備・活用に関する打合せを実施し、共同研究に向けた契約書準備などに着手した。株式会社 MGNET の紹介により、燕三条地場産業振興センター部長・MGNET 担当者と打合せを実施し、もの作りにおけるデータ整備について説明・議論した。
- 4) 起業サークルの依頼により、データに関するセミナー（「ランキングに騙されるな！データとビジネス入門」）を実施した（起業サークル主催・数理・データサイエンスセンター協力）。
- 5) 数学系科目の学生支援サポートについて検討し、新潟大学データサイエンス担当の協力により、新潟大学の大学院生を学生支援サポートの講師として採用し、サポートを実施した。
- 6) 学生向けの相談対応などのサービス開始に向けて、リソースの確保（場所・予算など）の検討に着手した。

## (5) 新潟視覚芸術研究所 (RIVNA) Research Institute of Visual and Narrative Arts, Niigata (センター・LAB 等) 2022 年 1 月 1 日に正式発足

### ①構成員名簿（敬称略，所属，役職）

神村 幸子（アニメ・マンガ学部，所長）  
堀越 謙三（アニメ・マンガ学部，副所長）  
成田 兵衛（アニメ・マンガ学部，研究員）  
村井さだゆき（アニメ・マンガ学部，研究員）  
木村 智哉（アニメ・マンガ学部，研究員）  
横山 昌吾（アニメ・マンガ学部，研究員）  
雑賀 忠宏（アニメ・マンガ学部，研究員）  
青木 健一（アニメ・マンガ学部，研究員）  
三上（学務課長，事務局）

### ② 2022 年 3 月 22 日

新潟大学 経済科学部と開志専門職大学 アニメ・マンガ学部にて、学術交流協定が締結されました。

## 6. 大学の公開と広報

### 1) 広報活動

#### (1) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット ・募集要項 ・入試ガイド ・オープンキャンパス案内 DM
- ・出張講義リーフレット 等

#### (2) ホームページの管理・運営

- ・リニューアルによる大学情報の充実
- ・動画での情報発信
- ・入学選考試験概要等の入試情報の発信
- ・学部学科情報、在校生の様子、オープンキャンパス、入学選考試験等の大学情報の発信
- ・教育研究上の目的、授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス、ニュース掲載 年間 208 本
- ・大学公式 SNS 設置および情報発信 (Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE)
- ・SEO (内部・外部) 施策の充実

#### (3) オープンキャンパスの実施

年間 14 回開催

4 月 (1 回), 5 月 (1 回), 6 月 (2 回), 7 月 (2 回), 8 月 (2 回), 9 月 (2 回), 10 月 (1 回), 11 月 (1 回), 12 月 (1 回), 3 月 (1 回)

#### (4) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス
- (ブース参加) 36 会場※オンライン参加 6 会場含む
- ・高校内ガイダンス 111 校※オンライン参加 21 校含む
- ・高校出張講義 16 講座※オンライン参加 1 校含む
- ・大学見学の受入れ 9 団体
- ・高校教員向け大学説明会 2 回実施 5/20 (金), 7/2 (金)

#### (5) メディア広報

##### TVCM

- ・認知拡大 CM 7/18 (日) ~9/3 (金)

##### 新聞広告

- ・保護者、高校など関係者ターゲット新聞広告 7/18 (日), 8/15 (日)
- ・新設の給付型奨学金制度  
9/26 (日) 新潟日報全 5 段, 10/3 (日) 長野, 山形, 福島で全 5 段
- ・11/14 (日) および 12/12 (日) 新潟日報全 5 段, 11/28 (日) 信濃毎日新聞全 3 段
- ・12/12 (日) 新潟日報全 5 段, 1/4 (火) 信濃毎日新聞全 3 段

##### パブリシティ掲載

- ・年間 31 件 (TV, 新聞, WEB 等)



(6) その他

高校訪問

6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月に新潟県内主要校を中心に実施.

コンソーシアム新潟への参加

出張個別相談会

7月より出張個別相談会開催(新潟県内の上中越, 長野県, 山形県, 福島県)

## 7. 研究活動

### 1) 事業創造学部事業創造学科

氏名：徳田 賢二

#### 1 研究題目

市場流通・消費システム 仕組み・機能, 2. 地域・都市経済の構造, 政策, 制度, 3. イノベーション  
地域・企業・産業

#### 2 論文

1. 徳田賢二. 単著. 川崎市・都市システムを考える ～都市政策と都市構造の統合～. 専修大学社会科学  
研究月報. 2021年11月20日; 701: p25-66 (原著論文) (発刊済)
2. 徳田賢二. 単著. 小売の未来 ダグ・ステューブンス著 実店舗に潜むメディア価値. 日本経済新聞.  
2021年8月21日 (書評) (発刊済)
3. 徳田賢二. 単著. 産業革命史 郭四志著 技術革新が動かす国際秩序. 日本経済新聞. 2022年1月8  
日 (書評) (発刊済)

#### 3 公的機関や職能団体における活動

1. 政令都市レベル. 川崎市都市農業振興計画委員会 副座長
2. 政令都市レベル. 川崎市福祉製品等開発支援補助金審査委員

#### 4 学会活動

##### 1) 所属学会

1. 日本経済政策学会
2. 行動経済学会
3. 企業と社会フォーラム

##### 2) 学会等の役職

1. 公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業政策研究所 客員研究員, 専修大学社会科学研究所 研究参  
与

氏名：櫻井 繁樹

#### 1 研究題目

主要な研究分野は、資源・エネルギー政策であり、とりわけ、SDGs・地球環境問題、ものづくり産業も含  
めた地球社会の将来を展望する文理融合・包括的な資源・エネルギー政策に係る研究

#### 2 論文

1. Katsuaki Koike, Taiki Kubo, Koki Kashiwaya, Yohei Tada, Tada-nori Goto, Shigeki Sakurai,  
Sudarto Notosiswoyo, Mohamad Nur Heriawan, Irwan Iskandar, Asep Saepuloh, Arie Naftali Hawu  
Hede, Nenny Miryani Saptadji, & Sutopo. 共著 (コレスポ). Technology Development of 'Steam  
Spot' Detection for Suitable Location of Production Wells by Integrating Geoscientific Methods.  
Proceedings World Geothermal Congress 2020+1. 2021. (発刊済)
2. Ryohei Nakatsu, Naoko Tosa, Satoshi Niiyama, Shigeki Sakurai, Takashi Kusumi, pp.583-586  
(2021.12). 共著 (コレスポ). "Evaluation of the Effect of Art Content on Mental States Using  
Mirror Display with AR Function," Proceedings of the 28th International Display Workshop  
(IDW'21). 2021. (発刊済)

#### 3 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. KYOTO DAIRI PROJECT (KDP) 懇話会における代表世話人としての参画

#### 4 公的機関や職能団体における活動

1. 政令都市レベル. KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム 2022 (京都市主催); KYOTO DAIRI  
PROJECT 実行委員会委員長

2. 国レベル。「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ（2025年日本国博覧会協会主催）；京都大学大学院総合生存学館アートイノベーション産学共同講座コアメンバー

## 5 学会活動

### 1) 所属学会

1. AusIMM（豪州鉱産物資源学会）Fellow 会員
2. SME（米国資源学会）正会員
3. 資源・素材学会 正会員

### 2) 学会等の役職

1. 異業種交流研究会・幹事

## 6 学外兼務講師

1. 京都大学大学院総合生存学館特任教授，2021/4/1-
2. 京都光華女子大学 客員教授，2021/4/1-

## 氏名：近藤 正幸

### 1 研究題目

グローバルなイノベーション・ネットワーク，起業家教育

### 2 論文

1. 近藤正幸. 単著. 国立大学法人化の産学連携と知的財産マネジメントへのインパクト. 事業創造大学院大学紀要. 2021年4月；第12巻第1号：1-15頁（原著論文）（発刊済）
2. 近藤正幸. 単著. 日米独企業のグローバル・イノベーション・ネットワークの相異－タイ拠点を中心とする事例－. アジア経営学会第28回全国大会自由論題報告予稿集. 2021年9月10日-12日；[http://www.ifeama.org/jsaam/taikai\\_annai2021\\_program.html](http://www.ifeama.org/jsaam/taikai_annai2021_program.html)（予稿）（発刊済）
3. 近藤正幸. 単著. 国際特許創出から見たグローバル・イノベーション・ネットワーク：日本企業のタイ拠点における事例. 研究・イノベーション学会第36回年次学術大会講演要旨集. 2021年10月30日-31日；154-159（予稿）（発刊済）
4. 近藤正幸. 単著. 国際特許創出から見たグローバル・イノベーション・ネットワーク：ドイツ企業のタイ拠点における事例. 研究・イノベーション学会第36回年次学術大会講演要旨集. 2021年10月30日-31日；160-165（予稿）（発刊済）
5. KONDO Masayuki. 単著. Automation and “Thailand+1” Strategy of Japanese Companies in Thailand by Thai Engineers. Proceedings of The 17th ASIALICS International Conference, Online. November 3-5, 2021；302-314（国際会議論文）（発刊済）
6. KONDO Masayuki. 単著. Global Corporate Laboratory in a Developing Country – The Case of a Japanese Company in Thailand –. Proceedings of The 17th ASIALICS International Conference, Online. November 3-5, 2021；315-325（国際会議論文）（発刊済）
7. KONDO Masayuki. 単著. PHÒNG THÍ NGHIỆM DOANH NGHIỆP TOÀN CẦU TẠI QUỐC GIA ĐANG PHÁT TRIỂN – TRƯỜNG HỢP CÔNG TY NHẬT BẢN TẠI THÁI LAN (in Vietnamese) (Global corporate laboratory in a developing country – the case of a Japanese company in Thailand), JSTPM (Science and Technology Policies and Management Journal) Tập (Vol.) 10, Số (No.) 4, pp.95-107, 2021 (Published: 2022-01-05). JSTPM (Science and Technology Policies and Management Journal). 2021 (Published: 2022-01-05). ; Tập (Vol.) 10, Số (No.) 4, : 95-107（原著論文）（発刊済）
8. 島田健太郎, 近藤正幸. 共著（コレスポ以外）. 起業教育の効果に関する研究. 日本ベンチャー学会第24回全国大会報告要旨集. 2021年12月；116-119（予稿）（発刊済）
9. 島田健太郎, 近藤正幸. 共著（コレスポ以外）. 起業意思の規定要因分析. 日本ベンチャー学会第24回全国大会報告要旨集. 2021年12月；120-123（予稿）（発刊済）

### 3 学会等研究発表

1. 近藤正幸. 日米独企業のグローバル・イノベーション・ネットワークの相異－タイ拠点を中心とする事例－. アジア経営学会第 28 回全国大会. オンライン. 2021 年 9 月 10 日 -12 日. 一般発表 (筆頭)
2. 近藤正幸. 国際特許創出から見たグローバル・イノベーション・ネットワーク：日本企業のタイ拠点における事例. 研究・イノベーション学会第 36 回年次学術大会. オンライン. 2021 年 10 月 30 日 -31 日. 一般発表 (筆頭)
3. 近藤正幸. 国際特許創出から見たグローバル・イノベーション・ネットワーク：ドイツ企業のタイ拠点における事例. 研究・イノベーション学会第 36 回年次学術大会. オンライン. 2021 年 10 月 30 日 -31 日. 一般発表 (筆頭)
4. KONDO Masayuki. Automation and “Thailand+1” Strategy of Japanese Companies in Thailand by Thai Engineers. The 17th ASIALICS International Conference. オンライン. November 3-5, 2021. 一般発表 (筆頭)
5. KONDO Masayuki. Global Corporate Laboratory in a Developing Country – The Case of a Japanese Company in Thailand –. The 17th ASIALICS International Conference. オンライン. November 3-5, 2021. 一般発表 (筆頭)
6. 島田健太郎, 近藤正幸. 起業教育の効果に関する研究. 日本ベンチャー学会第 24 回全国大会. オンライン. 2021 年 12 月. 一般発表 (筆頭以外)
7. 島田健太郎, 近藤正幸. 起業意思の規定要因分析. 日本ベンチャー学会第 24 回全国大会. オンライン. 2021 年 12 月. 一般発表 (筆頭以外)

### 4 外部資金受入

[科研費]

1. 2020. 基盤研究 (C). 日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略. 近藤正幸. 継続

### 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2021 年 4 月 7 日. 技術開発の国際連携, 日米独で差. 2021 年 4 月 7 日
2. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2021 年 9 月 15 日. お米由来のプラスチック 新潟から世界へ. 2021 年 9 月 15 日
3. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2021 年 12 月 15 日. 企業での実習オンラインでも効果. 2021 年 12 月 15 日
4. メディア掲載. 日経産業新聞 Techno Salon 2022 年 2 月 2 日. ノーベル賞受賞者数と産業競争力. 2022 年 2 月 2 日
5. メディア掲載. 日・タイパートナーシップ No.172, pp. 18-19. 研究フィールドとしてのタイとの長い付き合い. 2022 年 2 月

### 6 公的機関や職能団体における活動

1. 国レベル (一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS) の令和 3 年度技術協力活用型・新興国市場開拓事業調査業務委託先選定のための審査委員会委員長)
2. 国レベル (国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術委員)

### 7 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 研究・イノベーション学会
2. 日本ベンチャー学会
3. アジア経営学会

#### 2) 学会等の役職

1. 研究・イノベーション学会評議員

2. Member of Editorial Board, International Journal of Foresight and Innovation Policy
  3. Member of Editorial Board, DLSU Business & Economics Review, De La Salle University
  4. Honorary Advisor, Asian Journal of Technology Innovation
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 研究・イノベーション学会. 研究・イノベーション学会第 36 回年次学術大会のセッションの座長. オンライン. 2021 年 10 月 30 日 -31 日
  2. The 17th ASIALICS International Conference. Member of Scientific Committee. オンライン. November 3-5, 2021
- 8 学外兼務講師
1. 東京電機大学大学院非常勤講師 (総合技術特別講義). 2021 年 6 月 24 日
  2. 東京電機大学大学院非常勤講師 (イノベーション戦略論). 秋学期 (2021 年 9 月 -2022 年 3 月)

**氏名：常木 正則**

- 1 研究題目  
専門職大学の基礎科目である「日本語コミュニケーション」の実践研究
- 2 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 人文学教育学会
    2. 新潟大学教育学部国語国文学会

**氏名：西村 伸也**

- 1 研究題目  
設計方法論：創造的な建築デザインの仕組み  
まちづくり研究：実践的まちづくりの方法とその教育効果  
学校研究：小中一貫校と教科教室型での児童・生徒の行動様態  
町家研究：町家の平面構成・配置の特性とダシアイ・ヒアワイの使われ方  
海外居住：カンを持つ中国の民家の空間特性  
海外居住：天井（テンジン）を持つ中国民居の空間構成とその使われ方  
海外居住：ベトナムの伝統的な住居の住まい方とその温熱環境特性  
海外居住：モンベルにある民家の depse の役割と配置計画の特性
- 2 論文
  1. 西村伸也, 棒田恵, 上野陽子, 北山達也, 山下真, 寺田慎二. 共著 (筆頭). 荻ノ島集落における集団形成と環境維持の仕組みに関する研究. 日本建築学会技術報告集. 2022 : 68 : 332-337 (原著論文) (発刊済)
  2. 甲賀達郎, 西村伸也, 棒田恵, ORKHONTUUL SANDAGSUREN. 共著 (コレスポ). 児童と生徒の移動からみる小中一貫校の空間利用に関する研究 - 中学校側階段の利用に着目した児童生徒の接触と交流. 日本建築学会学術講演梗概集. 2021 ; 2021 : 463-464 (原著論文) (発刊済)
  3. 澁谷日菜, 棒田恵, 西村伸也, 佐々木夏穂, 甲賀達郎. 共著 (コレスポ以外). 子育て支援室を併設した保育施設の平面構成に関する研究 その 1 - 子育て支援室の配置と施設運営 -. 日本建築学会学術講演梗概集. 2021 ; 2021 : 879-880 (原著論文) (発刊済)
  4. 佐々木夏穂, 棒田恵, 西村伸也, 澁谷日菜, 甲賀達郎. 共著 (コレスポ以外). 子育て支援室を併設した保育施設の平面構成に関する研究 その 2 - 平面構成と運営の関係による支援室の利用特性 -. 日本建築学会学術講演梗概集. 2021 ; 202 : 881-882 (原著論文) (発刊済)
  5. 棒田恵, 西村伸也, 甲賀達郎. 共著 (コレスポ). 施設一体型小中一貫校における児童生徒の居場所に関する研究 - 小中の共用空間と接続空間について. 日本建築学会北陸支部研究報告集. 2021 ; 64 :

236-239 (原著論文) (発刊済)

6. 呉イェンハン, 西村伸也, 棒田恵, 小林勉, 石黒翔梧, 甲賀達郎. 共著 (コレスポ以外). 出雲崎の町家における空間構成と住まい方に関する研究 クラの有無からみるトオシニワ周りでの生活. 日本建築学会北陸支部研究報告集. 2021; 64: 224-227 (原著論文) (発刊済)
- 3 外部資金受入  
〔科研費〕
  1. 2017. 基盤研究 (C). 廻船ルートで栄えた日本海沿岸 (北陸～東北地域) 町家の建築構法・建築文化の継承. 研究分担者. 継続
  2. 2018. 基盤研究 (B). 蒸暑地の住居での半屋外空間が持つ社会的持続性と環境的持続性を両立させる仕組の解明. 研究分担者. 継続
  3. 2021. 基盤研究 (C). 小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ為に環境・行動特性から捉る建築計画研究. 研究代表者. 新規
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
  1. 三条市でのポケットパークによるまちづくり・企画と実施
  2. 長岡市栃尾地区での雁木によるまちづくり・企画と実施
  3. 出雲崎でのまちづくり・企画
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
  1. メディア掲載. 新潟市・新潟日報. 街の個性 現代に昇華 共有できるデザインを 2021. 12. 18
- 6 公的機関や職能団体における活動
  1. 政令都市. 新潟市景観審議会委員長
  2. 市町村. 柏崎市都市景観審議会委員長
  3. 市町村. 村上市都市計画審議会委員長
  4. 法人. 独立行政法人 大学改革・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会専門委員
  5. 法人. 建築賞審査委員長 (新潟県建築士事務所協会)
  6. 法人. 新潟県建築設計事務所協会顧問
  7. 法人. 朱鷺メッセ管理運営委員会委員長
- 7 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 日本建築学会
    2. MERA
  - 2) 学会等の役職
    1. 建築学会現代建築評価小委員会委員
    2. 建築学会建築審査部門委員
    3. 研究計画調書アドバイザー・MaST アドバイザー (新潟大学)
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 三条市まちづくり. 環境形成とまちづくり・主催. 三条市. 2021.04-2022.03
    2. 栃尾まちづくり. 環境形成とまちづくり・主催. 長岡市栃尾地区. 2021.04-2022.03
- 8 学外兼務講師
  1. 長岡工業専門高等学校 (建築概論). 2020.04-2020.08

**氏名：古屋 光俊**

- 1 研究題目  
アントレプレナーの特性  
アントレプレナーの育成  
ベンチャー企業の成長

## コミュニケーションとイノベーション

### 2 学会等研究発表

1. 東出浩教, 古屋光俊, 土井淳司. 起業家の心理学的特徴, 価値観, 振返り, 認知バイアス, ヒューリスティクスとパフォーマンス. 日本ベンチャー学会. Zoom 開催. 2021/12/4. 一般発表 (筆頭以外)

### 3 企業経営等の実践

1. RUFT 株式会社. 組織開発, 人材開発, 人材紹介
2. 株式会社クライス. IT システム開発

### 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. NIIGATA 大学生 & 高校生マイプロジェクト STARTUP CAMP でのメンターリング (2021.8.5)
2. 東京工業大学 蔵前 IT コミュニティ, 講演会事務局 (2021.4.14, 2021.10.6)

### 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 東京・日本技術士会 CPD コラボ. DX とエンゲージメントによる組織改革について. 2022 年 3 月 12 日
2. メディア掲載. 新潟日報. 起業促進へ拠点続々

### 6 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 日本ベンチャー学会

### 7 学外兼務講師

1. 九州大学 大学院 (産業連携マネジメント). 2021 年 4 月~2022 年 3 月

## 氏名: 原岡 和生

### 1 学内部活動等の実績

1. 古津瑛陸. Japan Business Model Competition (第 9 回). 全国大会. 入賞. ファイナル進出. オンライン. 3 月 26 日

### 2 研究題目

ランキング学 (社会におけるランキングの使い方・使われ方に関する学際的研究)

音楽情報処理

企業戦略・ビジネスモデル・組織論・ビジネスイノベーション

アントレプレナー実践, アントレプレナー用教材開発

### 3 受賞・表彰

1. 日本開発工学会論文特集奨励賞. 2021 年 11 月

### 4 論文

1. 原岡和生, 福田稔. 共著. 企業経営シミュレータ教材“昂 (SBAL)”の検討 1. 開発工学. 2021: 第 41 巻 1 号: 93-96 (原著論文) (発刊済み)

### 5 学会等研究発表

1. 福田稔, 原岡和生. 大学教育のための「企業経営シミュレーション教材」の要求仕様. 日本開発工学会 ビジネスイノベーション研究会. オンライン. 2021/9/28. 一般発表 (口述・ポスター)
2. 松澤孝紀, 東城歩, 土岐智賀子, 原岡和生. コーオプ型教育プログラムにおける実践と課題. 京都大学 第 28 回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022/3/17. 一般発表 (口述・ポスター)

### 6 企業経営等の実践

1. ミクロマクロリンク株式会社. 音楽アプリ特許, 書籍出版
2. ミクロマクロリンク株式会社. 楽譜出版, 音楽教室運営

### 7 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 新潟日報. 地元密着が時代の要請 (新年の経済記事特集として). 2022 年 1 月 3 日
2. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 爽やかなる調べ JASRAC2200938-201. 2022

年 2 月 2 日

3. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 湧きいづる力 JASRAC. 2022 年 2 月 2 日
  4. 作品発表. 楽譜出版 (衛藤公雄全作品集の一端として). 潮流 JASRAC2200940-201. 2022 年 2 月 2 日
  5. 作品発表. 出版 (編集, 構成). はなちゃん ISBN978-4-910020-87-7. 2021/10/18 出版
  6. 公開講座. 東京理科大学オープンカレッジ講義. マーケティングを制するためのランキングの裏側. 2021 年 9 月 3 日, 9 月 17 日
- 8 学会活動
- 1) 所属学会
    1. 一般社団法人日本開発工学会
    2. 一般社団法人俯瞰工学研究所
  - 2) 学術集会の主催
    1. 日本開発工学会. 第 17 回イノベーション研究会. 主催. オンライン. 2021 年 9 月 28 日
  - 3) 学会等の役職
    1. 一般社団法人日本開発工学会 理事, 同学会ビジネスイノベーション研究会副主査
    2. 一般社団法人俯瞰工学研究所主任研究員

**氏名：増田 達夫**

- 1 研究題目  
新型コロナウイルスの経済・社会活動に及ぼす影響  
気候変動対策に対応したエネルギーシステムの在り方  
低炭素化のためのエネルギー・環境技術の開発
- 2 論文
  1. 増田達夫. 単著. Japan's Energy Transition. World Energy. 2021 ; No.49 (発刊済)
- 3 学会等研究発表
  1. 増田達夫. Covid-19 and Tokyo Olympic Games. The World Federation of Scientists (WFS). オンライン. 2021.5.10. 招待講演
  2. 増田達夫. Impacts of Nuclear and Renewables. フランス国際問題研究所 (IFRI). オンライン. 2021.6.30. 招待講演
  3. 増田達夫. Japanese Plan to Net-Zero. The World Federation of Scientists (WFS). オンライン. 2021.8.18. 招待講演
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
  1. 世界経済フォーラム (WEF) の Expert Network Member として, Global Risk Report 作成への協力やウェブ会議参加により貢献
  2. 2021 年 5 月に SDGs 未来都市に選定された愛媛県西条市へのアドバイス
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
  1. 公開講座. 高志中等教育学校 「大学・ビジネス講座」. 世界の超大国：米国 vs. 中国. 2022.1.29
  2. 新聞. Financial Times (英国). Tokyo Games could be a Covid superspreader. 2021.6.7
  3. 雑誌. アジア太平洋エネルギー研究センター (APEREC) OGS Newsletter No.42. Interview with Prof. Tatsuo MASUDA. 2021.10.29
  4. その他. アジア太平洋エネルギー研究センター (APEREC) 25 周年特集. Lovely 15 months at APEREC. 2021.9.22
- 6 公的機関や職能団体における活動
  1. 市町村. 新潟市域再生可能エネルギーゾーニング専門委員会, 委員
  2. 一般財団法人. 一般財団法人 アジア太平洋エネルギー研究センター (APEREC), 評議員



3. 一般財団法人、一般社団法人 社会の中で持続するガストロノミー日本・欧州フォーラム (SGS), ワイキンググループメンバー

## 7 学会活動

### 1) 所属学会

1. The International Association of Energy Economics (IAEE)
2. The World Federation of Scientists (WFS)

### 2) 学会等の役職

1. The World Federation of Scientists (WFS), Permanent Monitoring Panel Member - Energy
2. The World Federation of Scientists (WFS), Permanent Monitoring Panel Member - Mitigation of Catastrophic Risk

## 氏名：向 正道

### 1 研究題目

IT・情報システムと競争力に関する研究  
企業における IT の普及に関する研究  
情報システム構築の成功要因に関する研究

### 2 著書

1. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS). 共著. 企業 IT 動向調査 2022. 書籍・教科書・問題集の編集・監修. 1. 東京. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS); 2022/3/31: 1-204 (担当: 101-123)

### 3 学会等研究発表

1. 栗山敏, 向正道. IT の流行と普及のメカニズムに関する考察. 日本経営システム学会 第 66 回全国研究発表大会. 群馬県 共愛学園前橋国際大学 (ZOOM によるオンライン会議形式). 2021/5/22. 一般発表 (口述・ポスター)
2. 向正道. 新たな IT はどのように企業に普及していくのか - IT 普及過程の分析フレームワークの提案 -. 組織学会 2021 年度組織学会研究発表大会. 東京都 東洋大学 (オンライン開催・Zoom 使用). 2021/6/6. 一般発表 (口述・ポスター)
3. 向正道. 新たな IT はどのように企業に普及していくのか? - 文献レビューを通じた仮説の提示 -. 浜名湖フォーラム 2021. 静岡県浜松市 (オンライン). 2021/8/29. 一般発表 (口述・ポスター)
4. 向正道, 栗山敏. 企業において新たな IT の導入を妨げる要因は何か - 「情報の粘着性」に注目した IT 導入事例の分析 -. 経営情報学会 2021 年全国研究発表大会. 兵庫県 武庫川女子大学 経営学部. 2021/11/14. 一般発表 (口述・ポスター)

### 4 公的機関や職能団体における活動

1. 法人や職能団体. 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 企業 IT 動向調査 2022 委員

### 5 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 経営情報学会
2. 組織学会
3. 日本経営学会
4. 日本経営システム学会
5. 日本マーケティング学会

#### 2) 学術集会の主催

1. 経営情報学会. IT 資産価値研究部会. 主査. 東京・新潟オンライン. 2021 年 4/6,5/6,6/3,7/21,10/13,11/1,12/7,2/15,3/29

### 3) 学会等の役職

1. 経営情報学会 2022 年全国研究発表大会 実行委員長

### 4) 学会等でのその他の活動

1. 専修大学共同研究会, 事務局, 東京・新潟オンライン, 2021/6/12
2. 経営情報学会 全国研究発表大会学生セッション, 審査委員, 兵庫, 2021/11/13

### 6 学外兼務講師

1. 立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員 プロジェクトリスクマネジメント研究, 2021.4~2022.3

## 氏名：石川 秀才

### 1 研究題目

1. 起業教育における不動産法学の視点での実践的教育
2. 空き家問題について（空き家の地域的活用についての考察）
3. いわゆる事故物件について（不動産法の問題点についての考察）
4. 所有者不明土地の問題について（地方創生との関連についての考察）

### 2 著書

1. 石川秀才, 単著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「元請業者と下請業者の両者に工事ミスがあった場合の責任」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
2. 石川秀才, 単著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
3. 石川秀才, 単著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
4. 石川秀才, 単著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「耐震診断・改修に対する補助制度にはどのようなものがあるか」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
5. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「特定住宅瑕疵担保責任とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
6. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「大規模建築物等の耐震診断義務とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
7. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「施工体制台帳の作成に当たりどのようなことに留意すべきか」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
8. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「現場代理人はどのような権限を有するか」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
9. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建築物の解体等に伴うアスベスト等の有害物質の適切な取扱いとは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
10. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建設工事紛争審査会への紛争処理の申請はどのようにするのか」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
11. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建築家責任賠償保険とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
12. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「不当に低い請負代金とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
13. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「建築工事監理業務委託共通仕様書とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
14. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「アスベストを含有する建築物の解体に伴う発注者の責任とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021
15. 石川秀才, 周藤利一, 共著, 建設工事紛争 予防・解決の手引 「住宅瑕疵担保履行法における, 資力確保の方法とは」, 東京都, 新日本法規出版; 2021

16. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「不正行為を行った建設業者に対する監督処分は」. 東京都. 新日本法規出版; 2021
17. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引 「大規模建築物等の耐震診断義務とは」. 東京都. 新日本法規出版; 2021
- 3 学会等研究発表
  1. 石川秀才. 起業教育における不動産法学の視点での実践的教育 (いわゆる事故物件についての法的考察). 一般社団法人 日本開発工学会 (第 17 回ビジネス・イノベーション研究会). オンライン. 2021.9.28. 口頭発表
  2. 福田稔・西村伸也・石川秀才・渡辺康英・島田健太郎. コーオプ型・ハイブリッド型教育のプログラム開発と実践. 京都大学 高等教育研究開発推進センター 第 28 回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022.3.17. 口頭発表
- 4 企業経営等の実践
  1. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 人材サービス部. 資格支援・宅建講座 講師
  2. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 住宅営業部. 資格支援・宅建講座 講師
  3. 日本大学理工学部まちづくり工学科. 資格支援・宅建講座 講師
  4. 東京経済大学. 資格支援・宅建講座 講師
- 5 産官学民連携, 地域連携活動の実践
  1. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 人材サービス部 社員研修
  2. 三井不動産グループ サンライフ・クリエイション: 住宅営業部 社員研修
- 6 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 日本不動産学会
    2. 日本法政学会
    3. 日本法育学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 刑事法研究会. 日本大学. 東京都. 2021.5.22
    2. 刑事法研究会. 日本大学. 東京都. 2021.7.10
  - 3) 学会等でのその他の活動
    1. 日本法政学会. 東京都. 2021.11.28
- 7 学外兼務講師
  1. 日本大学理工学部まちづくり工学科 (宅地建物学). 2014.4~
  2. 東京経済大学 (宅地建物取引士資格試験講座). 2021.5~2021.10
  3. 中央大学 (宅地建物取引士資格試験講座). 2021.5~2021.10

**氏名: 福田 稔**

#### 1 研究題目

専門職大学における実践的な学修を基盤とした体系的な産業人材育成プログラムの開発  
 専門職大学の臨地実務実習におけるアントレプレナーシップ教育プログラムの開発  
 専門職大学の学生向け創業支援  
 専門職大学の臨地実務実習におけるキャリア教育的側面と創業支援センターの機能  
 専門職大学におけるプロフェッショナル人材育成のための新たな教育プログラム開発  
 企業経営シミュレータ教材“昂 (SBAL)”の検討

#### 2 論文

1. 原岡和生 福田稔. 共著 (コレスポ以外). 企業経営シミュレータ教材“昂 (SBAL)”の検討 1. 日本開発工業会. 2021; 第 4 回研究発表大会: 特集. 論文. (発刊予定)

### 3 学会等研究発表

1. 福田稔. 専門職大学におけるプロフェッショナル人材育成のための新たな教育プログラム開発. 地域活性化学会 第 13 回研究大会. 石川県金沢市 (オンライン). 2021/9/11. 一般発表 (口述・ポスター)
2. 福田稔. 企業経営シミュレータ教材“昂 (SBAL)”の検討. 日本開発工業会 第 17 回ビジネス・イノベーション研究会. オンライン. 2021/9/28. 一般発表 (口述・ポスター)
3. 福田稔. コーオプ型・ハイブリッド型教育のプログラム開発と実践. 第 28 回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022/3/17

### 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. (一社) 日本イノベーションマネジャー協会 イノベーションマネジャー フォローアップミーティング
2. (公財) ひろしま産業振興機構 成長支援コーディネーター会議
3. 中国経済連合会 人材育成専門部会
4. (一社) 日本イノベーションマネジャー協会 社内イノベーション創発相談
5. 広島県における移住起業相談

### 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講座. 中国経済連合会 CVG 中国 20 周年記念イベント. 日刊工業新聞主催キャンパスベンチャーグランプリ支援. 7 月 10 日
2. 講座. 広島県移住促進セミナー. 首都圏から広島県への移住起業に関するレクチャー. 11 月 11 日
3. 講座. イノベーションマネジャー® 育成講座 講師. 組織内地域内でのイノベーション推進者を育成. 6 月 5 日
4. 講座. イノベーションマネジャー® 認定講座 講師. 組織内地域内でのイノベーション推進者を認定. 8 月 21 日

### 6 公的機関や職能団体における活動

1. (公財) ひろしま産業振興機構 成長支援コーディネーター会議 委員
2. 中国経済連合会 人材育成専門部会 委員
3. (一社) 日本イノベーションマネジャー協会 代表理事

### 7 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 地域活性化学会
2. 日本ベンチャー学会

#### 2) 学会等でのその他の活動

1. 豊橋商工信用組合. イノベーション支援セミナー 講師. オンライン. 2021 年 1 月 9 日 土曜日
2. 中国経済連合会 ビジネスプランブラッシュアップセミナー. 起業支援 講師. オンライン. 2021 年 9 月 6 日 月曜日
3. 広島県移住促進セミナー. U・I ターン支援. オンライン. 2021 年 11 月 11 日 木曜日
4. (一社) 日本イノベーションマネジャー協会. イノベーションマネジャー® 育成講座 講師. オンライン. 2021 年 6 月 5 日 土曜日
5. (一社) 日本イノベーションマネジャー協会. イノベーションマネジャー® 認定講座 講師. 大分市. 2021 年 8 月 21 日 土曜日

## 氏名: 星 和樹

### 1 研究題目

組織の戦略形成プロセスに関する研究

高信頼性組織のマネジメントに関する研究

組織におけるストーリーテリングに関する研究

## 2 著書

1. 高木俊雄, 星和樹. 共訳 (筆頭以外). 戦略経営論: 競争力とグローバル化. 翻訳書. 第3版. 東京. センゲージラーニング; 2021年11月25日: 1-671

## 3 外部資金受入

### 〔科研費〕

1. 2020年度. 科研費基盤研究(B). これからの組織に求められる危機への対応とレジリエンス: 高信頼性組織論の視点から. 研究分担者. 継続

## 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 新潟市立高志中等教育学校・高校1・2年生「探究中間発表会」アドバイザー (2021年11月18日)

## 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 開志専門職大学紫竹山キャンパス・潟東中学校上級学校訪問学習講座. 大学・ビジネス講座「日常生活からビジネス思考を身につけよう!」. 2021年10月5日
2. 講演. 新潟市立高志中等教育学校・PTA事業土曜活用講座. 大学・ビジネス講座「日常生活からビジネス思考を身につけよう!」. 2021年11月14日

## 6 学会活動

### 1) 所属学会

1. 日本経営学会
2. 組織学会
3. 経営情報学会
4. 日本経営システム学会
5. 経営行動研究学会
6. 日本情報経営学会
7. 産業・組織心理学会
8. 経営戦略学会
9. 日本経営品質学会

## 氏名: 渡辺 康英

### 1 研究題目

過疎市町村における地域商店の運営実態

ソーシャルデザインの検討プロセス

ソーシャルデザインの収益モデル

就労系障害福祉サービス事業所の販路開拓

### 2 企業経営等の実践

1. 新潟県社会福祉協議会. 福祉の店パレット売上向上プロジェクト (置き菓子事業の企画)
2. 社会福祉法人大谷ゆめみらい. ベーカーリー「パンも大谷」の経営改善 (食パン製造のマニュアル作成)

### 3 公的機関や職能団体における活動

1. 県レベル. 新潟県社会福祉協議会 アドバイザー
2. 法人. 社会福祉法人大谷ゆめみらい アドバイザー

### 4 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 地域活性学会

## 氏名: 土岐 智賀子

### 1 研究題目

イタリアの社会政策

イタリアの社会的企業

キャリア形成研究

2 学会等研究発表

1. 土岐智賀子. 持続可能な社会づくりとソーシャルイノベーション・社会的起業家:イタリアの事例より. 日本開発工学会. オンライン. 2021/9/28
2. 松澤孝紀, 東城歩, 土岐智賀子, 原岡和生. コーオプ型教育プログラムにおける実践と課題. 京都大学第28回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022/3/17

3 外部資金受入

[科研費]

1. 2019. 基盤研究 (B). 「EU とその加盟国における多様な社会的包摂政策の展開とシティズンシップに関する研究」. 研究分担者. 継続

4 学会活動

1) 所属学会

1. 日本社会学会
2. 日本キャリア教育学会
3. 日本高等教育学会
4. イタリア学会
5. 日本インターンシップ学会

5 学外兼務講師

1. 明星大学 (教育社会学). 2021 年 10 月 (集中講義)

**氏名: 松澤 孝紀**

1 研究題目

個人投資家の行動

金融機関経営

2 学会等研究発表

1. 松澤孝紀, 東城歩, 土岐智賀子, 原岡和生. コーオプ型教育プログラムにおける実践と課題—学生オリエンテッドの教育実践を目指して—. 第28回大学教育研究フォーラム. 京都大学 (オンライン). 2022 年 3 月 17 日. 一般発表 (筆頭)

3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 出張講義. 新潟県立高田商業高等学校 (1 年生). 金融って, 何?—お金のマイクロリズムに出かけよう. 2021 年 7 月 27 日
2. 出張講義. 新潟県立新潟東高等学校 (2 年生). 金融って, 何?—お金のマイクロリズムに出かけよう. 2021 年 10 月 20 日
3. 出前講義. 新潟県立十日町高等学校 (1.2 年生). 経済学入門—モノの交換で豊かになろう, 金融って, 何?—お金のマイクロリズムに出かけよう. 2021 年 10 月 21 日
4. 出前講義. 新潟県立新潟西高等学校 (1 年生). 金融って, 何?—お金のマイクロリズムに出かけよう. 2021 年 11 月 9 日
5. 土曜活用講座. 新潟市立高志中等教育学校 (全学年). 金融って, 何?—お金のマイクロリズムに出かけよう. 2022 年 1 月 29 日
6. メンター. 龍谷大学経営学部井手ゼミナール. 日経ストックリーグエントリーへ向けたメンター会. 2022 年 3 月 3 日

4 学会活動

1) 所属学会

1. 日本金融学会

2. 日本ファイナンス学会
3. 証券経済学会
4. 日本会計研究学会

## 2) 学術集会の主催

1. 金融プラス・フォーラム. 第 11 回研究報告会. オンライン・ホスト (Zoom). オンライン. 2021 年 3 月 14 日
2. 金融プラス・フォーラム. 第 12 回研究報告会. オンライン・ホスト (Zoom). オンライン. 2021 年 7 月 4 日
3. 金融プラス・フォーラム. 第 2 回会員研究発表会. オンライン・ホスト (Zoom). オンライン. 2021 年 10 月 10 日
4. 金融プラス・フォーラム. 第 13 回研究報告会. オンライン・ホスト (Zoom). オンライン. 2021 年 12 月 12 日
5. 金融プラス・フォーラム. 第 14 回研究報告会. オンライン・ホスト (Zoom). オンライン. 2022 年 3 月 13 日

## 3) 学会等の役職

1. 金融プラス・フォーラム (会長: 唐木事業創造大学院大学教授) 総務担当

## 5 学外兼務講師

1. 青山学院大学大学院社会情報学研究科 (社会人間特別講義 E: リスクマネジメント). 2021.4 より 2021.9
2. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (経営財務論). 2021.4 より 2021.9
3. 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 (観光財務論). 2021.4 より 2021.9
4. 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科 (企業ファイナンス). 2021.10 より 2022.3
5. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (ファイナンシャル・プランニング). 2021.10 より 2022.3
6. 跡見学園女子大学マネジメント学部 (証券論). 2021.10 より 2022.3
7. 中央学院大学商学部 (株式会社と証券市場). 2021.4 より 2021.9
8. 中央学院大学商学部 (近代金融論). 2021.4 より 2021.9
9. 中央学院大学商学部 (経済と株価). 2021.10 より 2022.3
10. 中央学院大学商学部 (現代金融論). 2021.10 より 2022.3
11. 日本大学商学部 (専門ゼミナール: 代講). 2021.4 より 2021.9
12. 日本大学商学部 (コーポレート・ファイナンス A) 2 コマ. 2021.4 より 2021.9

## 氏名: 東城 歩

### 1 研究題目

アントレプレナーシップの育成を志向した会計教育に関する理論的研究  
中小企業が構築する価値共創ネットワーク構築について

### 2 論文

1. 有元知史, 東城歩, 張文婷. 共著 (コレスポ以外). 『新潟の食産業の中小企業間ネットワーク構築の取り組み』フードメッセの役割. 新潟大学中小企業ナレッジネットワーク. 2021 年 6 月; 全 8 頁 (リサーチペーパー) (発刊済)

### 3 学会等研究発表

1. 東城 歩. 「地域ブランド構築のネットワークについて～新潟の食産業の中小企業ネットワーク構築の取り組み～フードメッセの役割～」. オンライン国際シンポジウム「中小企業ネットワークの日台比較～価値共創を中心に～」主催: 新潟大学環東アジア研究センター附置・中小企業ナレッジネットワークセンター 後援: 台湾彰化師範大学企業管理学部, 台湾台中科学技術大学情報管理学部, 台湾東呉大学企業管理学部. 日本, 台湾 (オンライン開催). 2021/2/20. 一般発表 (口述・ポスター)

2. 松澤孝紀, 東城 歩, 土岐智賀子, 原岡和生. コーオプ型教育プログラムにおける実践と課題－学生オリエンテッドの教育実践を目指して－. 第 28 回大学教育研究フォーラム. 京都大学 (オンライン). 京都 (京都大学). 2022/3/17. 一般発表 (口述・ポスター)
- 4 産官学民連携, 地域連携活動の実践
  1. 新潟大学中小企業ナレッジネットワークセンター (定期勉強会)
  2. 新潟大学中小企業ナレッジネットワークセンター (新潟市, 阿賀野市へのインタビュー調査)
  3. 新潟大学中小企業ナレッジネットワークセンター (福岡市, 岡山市の企業へのインタビュー調査)
- 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
  1. 講演. 出前講義 (新潟県立十日町総合高等学校) 新潟県十日町市. 「新潟の企業からわかる会社経営」経営, 会計, マーケティングなど, 会社経営のために必要な要素について, 地元企業を題材にして実際の取り組みについて解説講義を行った. 2021 年 1 月 13 日
  2. 講演. 出前講義 (新潟県立中条高等学校) 新潟県胎内市. 「新潟の企業からわかる会社経営」経営, 会計, マーケティングなど, 会社経営のために必要な要素について, 地元企業を題材にして実際の取り組みについて解説講義を行った. 2021 年 1 月 27 日
  3. 講演. 税理士法人ツチダ会計主催企業セミナー新潟県新潟市. 「経営者塾」「健康企業の秘訣～事例に基づく経営分析」というタイトルでのパネルディスカッション. 2020 年 12 月 16 日
- 6 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 日本ベンチャー学会
    2. 日本簿記学会
    3. 中小企業会計学会
- 7 学外兼務講師
  1. 新潟大学経済科学部 (検定商業簿記 2 級 I). 2021.4～9 末
  2. 新潟大学経済科学部 (検定商業簿記 2 級 II). 2021.10～2022.3 末

## 2) 情報学部情報学科

氏名: 三上 喜貴

- 1 研究題目
  - 情報オントロジー
  - 事故情報の解析
- 2 受賞・表彰
  1. 特願 2021-129688, 情報分析システム. 2022/12/23
- 3 学会等研究発表
  1. 佐藤一真・張坤・Feng XiaoDong・福田隆文・三上喜貴. YAMATO 理論に基づく危険源オントロジーの試作. 第 55 回安全工学研究発表会. Web 会議. 2022/12/2. 一般発表 (筆頭以外)
- 4 企業経営等の実践
  1. にいがたデジタルコンテンツ推進協議会. 理事として協議会の運営委に参画した
  2. 文字情報技術促進協議会. 理事として協議会の運営委に参画した
- 5 公的機関や職能団体における活動
  1. 国レベル. 産業構造審議会製品安全小委員会 委員長
  2. 国レベル. 消費経済審議会製品安全部会 部会長
  3. 国レベル. 製品安全対策優良企業表彰 審査委員長
  4. 国レベル. 製品安全協会 評議員
- 6 学会活動
  - 1) 所属学会



1. 情報処理学会
2. 日本 MOT 学会
- 2) 学術集会の主催
  1. 経営情報学会. 年次大会. 組織委員長. 本学. 2022 年 11 月 12 - 13 日
- 3) 学会等の役職
  1. 日本 MOT 学会 理事

**氏名：磯西 徹明**

1 研究題目

- デザイン思考を活用したオンライン授業及びハイフレックス授業支援システム（個人研究）
- データサイエンティストと協調する拡張可能スマート農業支援技術の研究（科研費，他の助成金申請）
- 「デザイン思考」の教育・研修に関する研究（札幌市立大と共同研究，科研費申請）

2 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著（コレスポ）. Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan: Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022；pp72-pp78（原著論文）（発刊予定）

3 学会等研究発表

1. 磯西徹明. デザイン思考を活用したオンライン授業及びハイフレックス授業支援システム. 文科省スキーム D プロジェクト (<https://scheemd.mext.go.jp/archives/2020/idealist.html>). オンライン. 2021/4/14. 一般発表（口述・ポスター）
2. 鈴木源吾, 磯西徹明, 田中幸一. スマート農業推進のための協調的データ分析環境の提案. FIT2021（第 20 回情報科学技術フォーラム）. オンライン. 2021/8/25-8/27. 一般発表（口述・ポスター）

4 企業経営等の実践

1. 株式会社ジェイ・エス・エス. 顧問として，月 1 回の部門長会議に出席すると共に，本企業の課題につき，適宜，代表取締役社長へ改善提案を実施. 売上・利益ともに好調.

5 産官学民連携，地域連携活動の実践

1. 三菱電機インフォメーションシステムズ（株）の映像解析 AI 技術の教育への応用相談対応
2. IT 企業 / 公共団体への大学紹介・見学同行説明（三菱電機インフォメーションシステムズ，シスココンサルティング，ジェイ・エス・エス，田辺工業，Glia Computing，新潟市，佐渡市，情報技術センター，エクスウェア，インテック，ベーシック他多数）

6 公開講座・講演会，TV・ラジオ出演，新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 新潟県 IT 企業立地セミナー. 開志専門職大学のご紹介. 2021/10/19
2. 講演. 開志専門職大学 情報学部 臨地実務実習シンポジウム. 基調報告『2021 年度開志専門職大学 情報学部臨地実務実習の狙いと成果』. 2021/12/22

7 公的機関や職能団体における活動

1. 法人. NPO 新潟情報通信研究所, 監事

8 学会活動

1) 所属学会

1. 情報処理学会

**氏名：上野 衆太**

- 1 学内部活動等の実績
  1. チアリー. SPS アワード 2022. 全国大会. 審査員. 2022 年 3 月 27 日
- 2 研究題目
  - AI による無線回線設計法の研究
  - スマート漁業におけるデータ共有法の研究
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 電子情報通信学会
  - 2) 学会等の役職
    1. 電子情報通信学会 CS 研究会 専門委員会委員

**氏名：後藤 幸功**

- 1 研究題目
  - オンデマンド型学習用ネットワークシミュレータに関する研究
- 2 公的機関や職能団体における活動
  1. 日本学術振興会. インターネット技術第 163 委員会 運営委員
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 情報処理学会
    2. 日本教育工学会
- 4 学外兼務講師
  1. 東洋大学 博士論文 副査 (外部審委員). 2021/12/16~2022/3/31

**氏名：鈴木 源吾**

- 1 研究題目
  - 異種自律分散環境におけるオープンデータを活用した旅行計画問合せ処理技術の研究
  - データサイエンティストと協調する拡張可能スマート農業支援技術の研究
- 2 受賞・表彰
  1. アーバンデータチャレンジ 2021 銅賞. 2022/3/12
- 3 論文
  1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan:Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022 ; pp72-pp78 (原著論文) (発刊予定)
- 4 学会等研究発表
  1. 鈴木源吾, 磯西徹明, 田中一幸. スマート農業推進のための協調的データ分析環境の提案. FIT2021 第 20 回情報科学技術フォーラム. オンライン. 2021.8.25-27. 一般発表 (筆頭)
- 5 産官学民連携, 地域連携活動の実践
  1. 地元企業とのスマート農業におけるデータ活用に関する共同研究の企画と推進
  2. 地元企業とのものづくりに関するデータ整備・活用に関する共同研究の企画
  3. 新潟県データサイエンス人材育成協議会のメンバー
  4. 大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会のメンバー

## 6 学会活動

### 1) 所属学会

1. 情報処理学会
2. 電子情報通信学会
3. 日本データベース学会

## 氏名：高嶋 洋一

### 1 研究題目

情報セキュリティに関する研究

### 2 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 電子情報通信学会

#### 2) 学術集会の主催

1. 電子情報通信学会. 第 2 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). オンライン開催. 2021/7/19-20
2. 電子情報通信学会. 第 3 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). オンライン開催. 2021/8/25-26
3. 電子情報通信学会. 第 4 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). オンライン開催. 2021/11/15-16
4. 電子情報通信学会. 第 5 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). オンライン開催. 2022/1/27
5. 電子情報通信学会. 第 6 回 EMM 研究会. 幹事補佐 (広報). ハイブリッド開催 (長崎大学). 2021/3/7-8

#### 3) 学会等の役職

1. 電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM) 研究専門委員会幹事補佐 (広報)

## 氏名：田代 秀一

### 1 研究題目

オープンデータ構築法と評価法  
文字符号の国際標準化

### 2 外部資金受入

[科研費]

1. 2021. 基盤研究 (C). オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立. 田代秀一. 新規

### 3 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 (2021 年度第 1 回～第 4 回)

### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 毎日新聞 (電子版). いま, そこにあるわけ 日本のパソコン, なぜ「半角」「全角」?. 2021/5/12
2. メディア掲載. 毎日新聞 東京夕刊. 「半角」「全角」-日本の PC の不思議 始まりは活字文化にあり. 2021/5/26

### 5 公的機関や職能団体における活動

1. 国際レベル. ISO/IEC JTC 1 SC2 (国際符号化文字集合) 国際議長
2. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 SC 2 専門委員会 (文字コード) 委員
3. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 SC 32/WG 2 小委員会 (メタデータ) 委員
4. 国レベル. 情報処理学会 情報規格調査会 JTC 1/WG 11 小委員会 (スマートシティ) 委員
5. 国レベル. 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 分野横断的公募事業に係る事前書面審査委員

6. 国レベル, デジタル庁 採用検討委員会委員
7. 法人, 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 専門委員
8. 法人, 文字情報技術促進協議会 オブザーバ

## 6 学会活動

### 1) 所属学会

1. 情報処理学会
2. 社会情報学会
3. ACM
4. IEEE

## 7 学外兼務講師

1. 中央大学理工学部兼任講師 (情報通信ネットワーク), 2021 年 4 月~2022 年 3 月

## 氏名: 平川 秀樹

### 1 研究題目

知的教育支援システムの研究 (授業コンテンツに基づく教材作成, 適応学習機能によるオンライン学習効率化)

### 2 学会等研究発表

1. 平川秀樹, 授業コンテンツに基づくオンライン個人学習機能の導入によるクラス授業のパフォーマンス向上に向けて, 人工知能学会, 第 93 回先進的学習科学と工学研究会 (ALST), オンライン開催, 2021.11.27

### 3 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 人工知能学会
2. 情報処理学会
3. 学習分析学会

#### 4 学外兼務講師

1. 新潟西高校出張授業, 「IT 産業で働く」に向けて, 講演者, 高校生, 新潟市, 2021.7.26
2. 日本文理高校出張授業, 人工知能 (AI: Artificial Intelligence) について, 講演者, 高校生, 新潟市, 2021.11.04

## 氏名: 堀川 桂太郎

### 1 研究題目

- ・ JetRacer におけるエッジ AI 強化学習プログラミング
- ・ Python3 マルチプロセス・マルチスレッド・非ブロックコンピューティング
- ・ Javascript による関数型プログラミングの適用研究
- ・ Jetson JetRacer 組込み系環境における効率的なリモートプログラミングの研究開発
- ・ GPU + Linux + Docker コンテナをベースとした自動運転ソフトウェア開発環境の構築運用技術
- ・ インターンシップ課題管理へのアジャイルスクラムの実践的導入
- ・ 自動走行と障害物回避を同時並行制御する双眼カメラエッジ AI 技法
- ・ AI + IoT 自動運転技術の実用化研究
- ・ 自動運転における衝突回避のための周波数リソース最適割り当て技術の研究
- ・ AI フレームワーク活用およびポスト AI 技術の連携技術の研究
- ・ 非ノイマン型クラウドのメタオフローディング技術の研究
- ・ 再生可能エネルギー + 電気自動車の実用化にむけた産学連携検討
- ・ 量子アニーリングによる実社会の最適化問題課題解決の研究

- ・プログラミング教育効果向上のための競技プログラミング技術の活用研究
- ・GraphQL, API ゲートウェイを用いた API エコノミー活性化のための技術経営戦略
- ・ビジネス・ケース (数百種類のマシンラーニングによる分類体系化)
- ・類似ケース探索, ナレッジリコメンデーション

## 2 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. Implementation of cooperative and work-integrated education at “Professional University” in Japan: Case studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. WACE IRS 2022 ; 2022 (国際会議論文) (採択)

## 3 学会活動

### 1) 所属学会

1. 人工知能学会

## 氏名：宮元 万菜美

### 1 研究題目

- 日本におけるイノベーションエコシステムの研究
- デジタル化による産業構造の変化と「両利きの経営」の研究
- 日本における「プラットフォーム戦略論」の研究

### 2 著書

1. 宮元万菜美. 単著. 経営情報戦略入門 –文理融合へのいざない–. 書籍. 初版. 東京. 千倉書房. 2021.9.15

### 3 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 経営情報学会
2. 日本経営学会
3. 組織学会
4. 日本経営システム学会
5. 経営戦略学会
6. Academy of Management

#### 2) 学会等の役職

1. 経営情報学会 2022 全国研究発表大会プログラム委員長

### 4 学外兼務講師

1. 早稲田大学 商学部 (経営情報システム 1). 2015 年～現在
2. 早稲田大学大学院 経営管理研究科 (経営戦略の理論と実践研究). 2018 年～現在
3. 明治大学 経営学部 (戦略経営情報システム論). 2015 年～2021 年 9 月

## 氏名：西川 昌宏

### 1 研究題目

- インクルーシブな共創活動における効果的な支援手法の研究

### 2 論文

1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at “Professional University” in Japan: Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of

Technology, Japan. 2022 ; pp72-pp78 (原著論文) (発刊予定)

### 3 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 東京都武蔵村山市の小中学校, 社会福祉協議会と連携した「子どもユニバーサルデザイン授業」実施
2. 愛知県豊田市の小学校, 社会福祉協議会と連携した「子どもユニバーサルデザイン授業」実施

### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. インクルーシブ・テマトーク (オンライン). 実践事例: インクルーシブデザイン視点で既存エレベーターホールの動線改善. 2021年7月
2. 講演. インクルーシブ・テマトーク (オンライン). 社会課題と実践事例: 『モバイルトイレ』の開発と社会に示す新たな可能性. 2021年10月
3. 講演. インクルーシブ・テマトーク (オンライン). 『パラリンピックの残したもの』～パラリンピックで進んだこと, まだまだ残る課題～. 2022年3月

### 5 公的機関や職能団体における活動

1. 特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク 理事長

### 6 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 日本デザイン学会
2. 日本マーケティング学会
3. 人間中心設計推進機構

## 氏名: 江口 将史

### 1 研究題目

バーチャルリアリティ技術を活用した場所や時間, デバイスを問わず教育と学習を可能にする環境の構築に関する調査研究

### 2 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 令和3年度 文部科学省委託事業 専修学校における先端技術利活用実証研究 先端技術利活用実証研究プロジェクト「AR等の技術を利用した人材育成の効率化のための実証研究事業」実証部会委員 参画
2. 令和3年度 文部科学省委託事業 専修学校における先端技術利活用実証研究 先端技術利活用実証研究プロジェクト「AR等の技術を利用した人材育成の効率化のための実証研究事業」実施委員会委員 参画

## 氏名: 柄沢 直之

### 1 研究題目

情報フローティングの制御に関する研究

情報フローティングの性能評価に関する研究

情報フローティングシステム開発に関する研究

### 2 論文

1. 柄沢直之, 宮北和之, 田村裕, 中野敬介. 共著 (筆頭). 歩行者自身が障害物になる状況を考慮した情報フローティングの理論解析. 日本シミュレーション学会論文誌. 2022年1月; 14: 9-19 (原著論文) (発刊済)

### 3 学会等研究発表

1. 柄沢直之, 宮北和之, 田村裕, 中野敬介. 歩行者自身が障害物になる影響を考慮した情報フローティングの理論解析. 日本シミュレーション学会 令和3年度第1回多次元移動通信網研究会. オンライン形式. 2021/4/28. 一般発表 (筆頭)
2. Naoyuki Karasawa, Kazuyuki Miyakita, Hiroshi Tamura, Keisuke Nakano. Effects of human body shadowing and entering and leaving of mobile nodes on information floating in a one-dimensional

street. The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021).  
オンライン形式. 2021/9/1. 一般発表 (筆頭)

3. Kazuyuki Miyakita, Naoyuki Karasawa, Hiroshi Tamura, Keisuke Nakano. Analysis of information floating at an intersection considering traffic lights. The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021). オンライン形式. 2021/9/1. 一般発表 (筆頭以外)
4. 木村幸輔, 宮北和之, 柄沢直之, 田村裕, 中野敬介. 媒介中心性を用いた情報フローティングの送信可能エリアの配置. 2021年電子情報通信学会ソサイエティ大会. オンライン形式. 2021/9/14. 一般発表 (筆頭以外)

#### 4 学会活動

##### 1) 所属学会

1. 電子情報通信学会
2. IEEE
3. 日本シミュレーション学会
4. 電気学会

##### 2) 学術集会の主催

1. 日本シミュレーション学会. 令和3年度第1回多次元移動通信網研究会. ホスト. オンライン形式. 2021年4月28日
2. 日本シミュレーション学会. 令和3年度第2回多次元移動通信網研究会. ホスト. オンライン形式. 2021年12月2日
3. 日本シミュレーション学会. 令和3年度第3回多次元移動通信網研究会. ホスト. オンライン形式. 2022年3月3日

##### 3) 学会等の役職

1. 日本シミュレーション学会 多次元移動通信網研究委員会 幹事
2. 日本シミュレーション学会 和文論文誌推薦論文 編集委員

##### 4) 学会等でのその他の活動

1. The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021). Session Chair (Session 15). オンライン形式. 2021年9月1日

#### 氏名：西川 浩平

##### 1 研究題目

施設不足を補うためのクラウドとVRによる仮想研究室および共創スペースの検証  
自閉スペクトラム症の感覚過敏への音楽聴取の効果 - 音響機器の開発と臨床研究 (研究分担者)  
職種別学び直し機会提供の機構と人的資源開発への影響に関する研究

##### 2 受賞・表彰

1. IBM Champion 2022. 2022/2/15

##### 3 報告書

1. 西川浩平, 大久保実智, 兼山将寿, 田中順子, 嵯峨真理子, 原紀子, 宮城隼人, 角野真寿美. 受託研究 (IBM Community Japan - 2021年ナレッジモジュール研究). リカレント教育の機会提供. 採用担当が求めるスキル基準調査に基づく, リカレント教育受講提案システムの検討. 2021/01-2021/09. 2021/9/30. 共著 (筆頭)

##### 4 学会等研究発表

1. 西川浩平. オンライン医療恒久化の技術的課題. NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構. オンライン. 2021/7/17. 一般発表 (筆頭)

##### 5 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 新潟市立高等学校及び中等教育学校生徒情報管理システム再構築業務委託業者の選定に関する意見聴取
  2. IBM Community Japan - 2021 年ナレッジモジュール研究, 2021/01 - 2021/09 研究チームリーダー
  3. ローラスインターナショナルスクール オブ サイエンス 未来の AI エンジニアワークショップ 講師  
2021/07 - 08
- 6 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
1. 講演. IBM Data & AI Digital Developer Virtual Conference. Watson Discovery における文書削除は  
どうしているか. 2021/6/8
  2. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター プログラミング講座. 機械学習アプリ開発入門: Node-  
RED 開発入門. 2021/5/28
  3. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター プログラミング講座. 機械学習モデル作成と API: AI 開  
発体験. 2021/6/11
  4. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター プログラミング講座. Node-RED による機械学習アプリ  
開発. 2021/06/25
  5. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター プログラミング講座. 画像認識編. 2021/7/8
  6. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター プログラミング講座. 音声認識編. 2021/7/23
  7. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター クラウド入門. クラウドの概要・責任共有モデル・演習  
環境のセットアップ. 2021/8/26
  8. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター クラウド入門. Twilio ハンズオン! 電話の自動音声応答  
を作ってみよう. 2021/9/2
  9. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター クラウド入門. クラウドを使ってみよう! お客様サポー  
ト・お客様の声を集める仕組みづくり. 2021/9/11
  10. 講演. 開志専門職大学未来創造研究センター. クラウドを使ってみよう! データの可視化にチャレン  
ジ. 2021/10/21
  11. 講演. きらめき認知症トレーナー協会主催 きらめき魅力アップ交流会. 医療・介護現場で使える  
チャットボット開発. 2021/11/9
- 7 公的機関や職能団体における活動
1. 職能団体. IBM Cloud Users Group 運営管理者 兼 講師
- 8 学会活動
- 1) 所属学会
    1. 経営情報学会
    2. 情報処理学会
    3. 可視化情報学会
    4. 情報システム学会
    5. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構
  - 2) 学術集会の主催
    1. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構. 第 18 回広域連携医療ネットワークシステム研究会.  
運営委員. オンライン. 2021/7/17
  - 3) 学会等の役職
    1. NPO 法人広域連携医療福祉システム支援機構, 顧問

**氏名: Pann Yu Mon**

- 1 研究題目  
顔認識に基づく情報検索システムの研究,  
グローバルに公開されているデータの分析, グローバル教育データのデータ分析
- 2 論文



1. Pann Yu Mon, Shuta Ueno, Gengo Suzuki, Naoyuki Karasawa, Keitaro Horikawa, Masahiro Nishikawa, Masahiro Awaji, Tetsuaki Isonishi. 共著 (コレスポ). Implementation of Cooperative and Work-integrated Education at "Professional University" in Japan: Case Studies of Faculty of Information, Kaishi Professional University. Refereed Proceedings of the 4th WACE International Research Symposium on Cooperative and Work-Integrated Education, 2022, Kanazawa Institute of Technology, Japan. 2022 ; pp72-pp78 (原著論文) (発刊予定)
- 3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
  1. 講師. オンライン勉強会, IBM Cloud Watson Studio Dashboard によるデータの可視化 (IBM Cloud カタログの Watson Studio と Cognos Dashboard Embedded を使うことで, 30 日以上の利用が可能. Watson Studio で Cognos Dashboard Embedded を使ったダッシュボードの作り方), 講師, 16 歳以上の興味がある方 (オンライン). 2021 年 10 月 21 日
  2. 講師. オンライン勉強会, Python によるデータ分析クラス, 講師, 20 歳以上の興味がある方 (オンライン). 2022.03.01~2022.03.31
  3. 講師. オンライン勉強会, Tableau Public を使用したデータ ダッシュボードの実装, 講師, 20 歳以上の興味がある方 (オンライン). 2022.06.04~2022.06.05
- 4 公的機関や職能団体における活動
  1. Yangon Data Science Hub (創設者兼 & ディレクター). 2018.08~
- 5 学外兼務講師
  1. 学生委員会, メンバー, 情報学部の学生 (開志専門職大学). 2020.4~2021.5
  2. 開志未来創造研究センター, メンバー, 情報学部の学生 (開志専門職大学). 2020.10~
  3. 臨地実務実習員, メンバー, 情報学部の学生 (開志専門職大学). 2021.11~

**氏名：大和田 翔**

- 1 研究題目
  - 遠隔操作ロボットシステムの設計・開発
  - IoT システムに関する研究
- 2 論文
  1. Ryota Murakami, Takumi Toyoshima, Daichi Furusawa, Masaru Suzuki, Kazunari Masumoto, Sho Owada, Yuichi Tsumaki, and Kyoichi Mori. 共著 (コレスポ) 以外. Logger Attaching System for Sperm Whales Using a Drone. Journal of Robotics and Mechatronics vol. 33 No.3, 2021. 2021 年 4 月 15 日 ; 33 卷 (3 号) : 475-483 (原著論文) (発刊済)
- 3 学会活動
  - 1) 所属学会
    1. 日本機械学会
- 3) アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科

**氏名：神村 幸子**

- 1 学内部活動等の実績
  1. 公益財団法人 新潟県国際交流協会が運営する「外国人相談センター新潟」のマスコットキャラクターに, 開志専門職大学アニメ・マンガ学部 2 年 佐藤瞳さんの作品が採用されました. <https://www.niigata-ia.or.jp/topics/796/> <https://www.niigata-ia.or.jp/topics/796/> キャラクター制作指導を担当. 地方大会相当. 入賞. 1. 新潟市. 2022 年 4 月 9 日
- 2 研究題目
  - アニメ・アーカイブ研究およびアニメ・アーカイブ研究を側面から支える基盤研究とアニメーション技術にかかわる各種資料の研究ならびにアニメーション技術表現の研究分析, またはそれらにかかわる国内外

の学会・産業界、大学、行政との連携におけるアニメ業界、アニメ研究の将来展望構築への参画と知見の集積に類するすべて

### 3 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. (株)新潟アニメーション 新人採用会議参加およびを指導・内田, (株) studio ぱれっと斎藤, 新人へ研修課題説明 産業界への貢献およびアニメーター育成として, 新人教育, 課題評価, 新人教育担当の配置

### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 新聞. 2021年5月20日 新潟日報 コメント(取材:5/6 新潟日報 石原記者). アニメ人材養成
2. テレビ(TV). NHK「チョコちゃんに叱られる」縁側コーナーにて「アニメ・マンガのキャラクター」の専門家として. 「チョコちゃんに叱られる」. 2021年6月4日(金)19:57~20:42, 2021年6月5日(土)8:15~9:00
3. コンファレンス. 3/6・3/7 新潟大学オンライン・コンファレンス. アニメ・アーカイブ. 2021年3/6・3/7
4. 新聞. 読売新聞全国版. 「キャンパス探訪」. 2022年1月25日

### 5 公的機関や職能団体における活動

1. 共同主催. 新潟市文化政策課 「いがたマンガ大賞」新潟市との共同主催 5/20 に主催の打診を受け, 受諾

## 氏名: 深井 利行

### 1 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. 東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)2022 短編コンペ部門1次選考委員
2. 東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)2022 コンペ1次選考委員解説付き上映会登壇

## 氏名: belne

### 1 研究題目

アナログマンガ原稿のデジタルアーカイブ研究.

人物・キャラクターのマンガ的デフォルメをグッズ化・ガジェット化してその魅力を探る.

マンガ教育研究

マンガ執筆形態・発表形態の変化・マンガプロモーション・同人誌即売会など発表媒体の多様化を探りマンガ教育に反映する.

### 2 産官学民連携、地域連携活動の実践

1. 新潟マンガ大賞の二次審査員として審査講評にあたった.

### 3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 作品発表. 文字の大きなクロスワード 2021年5月号~2022年3月号 マガジンマガジン社. イラストクロスワードのイラスト担当他 イラスト・パズル作成. 2021/4/2~2022/3/2
2. 作品発表. 電子書籍 ZONE OF CTHULHU 9巻 三栄. 橘外男原作マトモッソ溪谷コミカライズ執筆. 2021/2/24
3. 作品発表. 電子書籍 ZONE OF CTHULHU 10巻 三栄. 橘外男原作マトモッソ溪谷コミカライズ執筆. 2021/12/2

### 4 学会活動

#### 1) 所属学会

1. 日本マンガ学会

## 氏名：ヨシカワ ゴエモン

### 1 研究題目

「ソラヲトブ・フシギ」をテーマにスポンジ・金属を素材としたオブジェを制作 動き・光・音を盛り込み空間ごと作品とする

### 2 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 雑誌, 「ナンプレメイト」マガジン・マガジン社, 表紙立体作品連載, 2021 奇数月
2. 雑誌, 「まちがいさがしメイト」マガジン・マガジン社, イラスト連載, 2021 奇数月
3. その他, ストライプハウスギャラリー企画個展, 「チヘイノツキ」ヨシカワゴエモンスポンジオブジェ展 動物立体作品, 2021 7/2~11
4. その他, ライティングオブジェ2021 東京丸の内 東京ビル TOKIA ガレリア, 震災復興支援や地球環境と子供たちの未来への支援を目的としたチャリティーアートイベント, 2021 12/16~26

### 3 学会活動

#### 1) 所属学会

- 1 現代日本美術会

#### 2) 学会等の役職

- 1 現代日本美術会参与

### 4 学外兼務講師

1. 京都芸術大学 客員教授 (ゼミ・立体造形), 2021 4/1~3/31
2. 東京工学院専門学校 非常勤講師 (立体造形), 2021 4/1~3/31

## 氏名：木村 智哉

### 1 研究題目

1970 年代日本の映画産業における異業種参入事例の研究  
第二次大戦下日本における国策映画製作の産業構造に関する研究  
映像産業史研究についての理論的フレームワークの整理  
アニメ中間素材アーカイブの現状

### 2 受賞・表彰

1. 日本アニメーション学会賞 2021, 2021/6/27
2. 開志専門職大学 学長表彰, 2021/7/27

### 3 著書

1. Wong Heung-wah, Marco Pellitteri, Álvaro David Hernández, Kimura Tomoya, Keith B. Wagner, Asako P. Saito, Herb L. Fondevilla, Ian Uy Cheng Chua, Malaysia, Suraya Md Nasir, G. Benardi Darumukti, Sharmishtha Singh Rawat. 分担. Japanese Animation in Asia: Transnational Industry, Audiences, and Success. 書籍. 第 1 版. 英国. Routledge ; 2021/9/29 : 71~92
2. 佐野明子, 堀ひかり, 渡辺泰, 大塚英志, 秦剛, 木村智哉, 佐野明子, キム・ジュニアン. 分担. 戦争と日本アニメ『桃太郎 海の神兵』とは何だったのか. 書籍. 第 1 版. 日本. 青弓社 ; 2022/1/31 : 111~134

### 4 学会等研究発表

1. 木村智哉. サンリオの映画事業とその時代. 科研費基盤研究 (C)「日本のファンシーをめぐる 1970 年代の女性文化再編の研究—サンリオ出版を中心に」研究会. Web 会議. 2021/11/6. 招待講演
2. 木村智哉. 映像産業史研究から見てきたもの—現代的意義と理論的枠組みについての試論—. 国際日本文化研究センター共同研究「縮小社会の文化創造: 個・ネットワーク・資本・制度の観点から」研究会. Web 会議. 2021/11/13. 一般発表 (筆頭)
3. 木村智哉. 拙著『東映動画史論』について. 京大映画コロキウム書評会. Web 会議. 2022/1/12. 招待講演

## 5 外部資金受入

1. 2019. 基盤研究 (B). 産業史的視点による日本映画史の再構築：1970 年代の構造的変革についての共同研究. 研究分担者. 継続

## 6 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. にいがたデジコングランプリ 2021 審査員

## 7 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 週刊金曜日. 「焼け野原の国策アニメ『桃太郎 海の神兵』」(インタビュー). 2021/7/9
2. 講演. 新潟市中央区. 「日本アニメーション学会賞 2021」受賞記念講演. 2021/9/2
3. メディア掲載. 新潟日報おとなプラス. 映画界の名経営者 大川博 (インタビュー). 2022/3/7

## 8 学会活動

### 1) 所属学会

1. 日本アニメーション学会
2. 美学会
3. 同時代史学会

## 9 学外兼務講師

1. 神戸市外国語大学 (近現代日本社会研究 1). 2021 年 9 月 (集中講義)
2. 群馬県立女子大学 (メディアと文化 2). 2021 年 10 月~2022 年 1 月

## 氏名：KENTOO

### 1. 研究題目

デジタル機器を使用してのデッサンについての可能性を考察し, 参考書化への実現を判断できるようにする.

ゲーム業界におけるキャラクター制作の現状を探り, 実際, 制作することによって具体的な制作方法や最新ゲーム機の新しい制作方法を考え, 形にしていく.

海外イベント, SNS などを通じて海外でのイラスト制作の流れを考察し, 方法を提示できるようにする.

### 1 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア露出. 東京 LIMITS ASIA CHAMPIONSHIP 2022 日本大会. 審査員. 2022.3.26-27

## 氏名：森岡 淳

### 1 研究題目

地域活性化とアート / デザインの活用 (鎌倉・新潟・宮城)

### 2 企業経営等の実践

1. 鎌倉・文具と雑貨の店コトリ. オリジナル文房具の開発・販売・マーケティング
2. 東北経済産業局 (経産省). TOHOKU CRAFT (産学連携プロジェクトの推進)

### 3 産官学民連携, 地域連携活動の実践

1. 古町エリアでの, 展示企画プロデュースおよび, 展示 (8 番町店舗にて企画展示 5 回)
2. 原宿のギャラリーの展示企画プロデュース.

### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 講演. 宮城県加美町. (地域活性化のヒント). 2022・6
2. 講演. 仙台・仙台コミュニケーションカフェ. (鎌倉でのデザイン展開および地域活性化). 2022・8
3. 講演. UCOREX・WEB・世界女性デイ. クリエイティブにおける男女格差および, これからに関して. 2022・2

### 5 公的機関や職能団体における活動

1. 市町村. 一般社団法人鎌倉観光フォーラム理事

## 6 学外兼務講師

1. 東北生活文化大学（非常勤講師）. 夏・冬の集中講義

### 氏名：横山 昌吾

#### 1 研究題目

「映像編集技術のメカニズムの解析と編集教育プログラムの作成」

アニメ・アニメーション・映像関連に関するワークショップの実地「クレイアニメーションワークショップ」

#### 2 受賞・表彰

1. 「彼方の閃光」東京国際映画祭 Nippon Cinema Now 部門 出品（編集担当）. 2022/10/25

#### 3 外部資金受入

〔科研費〕

1. 令和2年度 科研費基盤 C. 「映像編集技術のメカニズムの解析と編集教育プログラムの作成」. 研究代表者. 継続

#### 4 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. 作品発表. 東京国際映画祭. 「彼方の閃光」. 2022年10月25日

#### 5 学会活動

##### 1) 所属学会

1. 日本テレビ映画編集協会

## 6 学外兼務講師

1. 立教大学（映像技術論2）. 2022年 前期

### 氏名：雑賀 忠宏

#### 1 研究題目

- ①「マンガを描くこと」の日本における言説史的展開
- ②マンガにおける自己表象の様相
- ③日本マンガとコミックス／グラフィックノベルとの比較文化的研究

#### 2 著書

1. 雑賀忠宏. 分担. 『メキシコ漫画イストリエタ——民族文化としての漫画表現』（収録論文「ホラー・イストリエタの展開と貸本怪奇マンガ——ジャンルの想像力のローカルな馴致をめぐって」執筆）. 書籍. 京都. 思文閣出版. 2022年3月30日；261-283

#### 3 論文

1. 雑賀忠宏. 単著. 「前川修・奥村弘：編『マンガ／漫画／MANGA』 人文学の視点から」. マンガ研究. 2022年；28号；97-101（書評）（発刊済）

#### 4 学会等研究発表

1. 雑賀忠宏. ホラー・イストリエタの展開と貸本怪奇マンガ——ジャンルの想像力のローカルな馴致をめぐって. 国際日本文化研究センター大衆文化研究プロジェクト総括シンポジウム「日本大衆文化研究の最前線—新しい日本像の創出にむけて—」. 京都・オンライン併催. 2022年1月21日. 一般発表（筆頭）

#### 5 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信

1. メディア掲載. 『BRUTUS』特集「やっぱりマンガが好きで好きで好きでたまらない」. 「時代を創った名作マンガクロニクル」（「バトル」担当）. 2021年4月15日
2. メディア掲載. 『朝日中高生新聞』掲載「マンガこの人この2冊」. 「佐々木倫子 ジャンルにくくれない世界観」. 2021年6月13日
3. メディア掲載. 『朝日中高生新聞』掲載「マンガこの人この2冊」. 「藤子不二雄 A 奔放なギャグから黒

い笑いまで」. 2021年10月10日

4. メディア掲載. 『朝日中高生新聞』掲載「マンガこの人この2冊」. 「藤田和日郎 ほとぼしる熱さが胸を熱くする」. 2022年2月13日
  5. メディア掲載. Google Arts & Culture 掲載「Manga: Out of the Box」(Web). 「マンガ家マンガ」が描き出す「マンガを描く」ということ. 2022年3月24日
  6. メディア掲載. 書籍『日本の医療マンガ50年史 マンガの力で日本の医療をわかりやすくする』. 「人間仮免中」「失踪日記2」「くも漫.」「腐女医の医者道!」「ラディカル・ホスピタル」「あぼばクリニック」の項目を担当. 2021年5月19日
- 6 学会活動
- 1) 所属学会
    1. 日本マンガ学会
  - 2) 学術集会の主催
    1. 日本マンガ学会. 日本マンガ学会第20回研究発表大会. 実行委員. オンライン. 2021年7月3日・4日
    2. 日本マンガ学会. 日本マンガ学会第20回大会シンポジウム「BLとメディア」. 実行委員. オンライン. 2021年11月21日
  - 3) 学会等の役職
    1. 日本マンガ学会 理事(第10期)
  - 4) 学会等でのその他の活動
    1. 日本マンガ学会. 会誌『マンガ研究』査読担当者
- 7 学外兼務講師
1. 甲南女子大学(メディア文化論B). 2021年4月13日~2021年7月20日

**氏名：高山 瑞穂**

- 1 研究題目  
画力向上メソッドの研究  
新潟市の歴史. 文化の研究とそのマンガ化の可能性への探求.

**氏名：日高 トモキチ**

- 1 研究題目  
創作における物語表現の実践
- 2 著書
  1. 日高トモキチ. 単著. レオノーラの卵. 書籍. 初版. 東京. 光文社. 2021/5/25
- 3 公開講座・講演会, TV・ラジオ出演, 新聞・一般紙掲載等の情報発信
  1. メディア掲載. 週刊ポスト. 書評・著者紹介. 2021/6/18
  2. メディア掲載. 小説幻冬. インタビュー「書くこと読むこと」. 2021/7/27
  3. メディア掲載. ダ・ヴィンチ(KADOKAWA). トロイカ学習帳連載挿画. 2021/4~2022/3
- 4 公的機関や職能団体における活動
  1. 職能団体. 一般社団法人日本SF作家クラブ 会員
  2. 職能団体. 公益社団法人日本漫画家協会 会員

**氏名：小針 莉緒奈**

- 1 研究題目  
就職活動におけるポートフォリオの研究(境 佑莉助手との共同研究)

**氏名：境 佑莉**

1 研究題目

就職活動におけるポートフォリオの研究（小針 莉緒奈助手との共同研究）

**氏名：謝 振威**

1 研究題目

中国動漫ファンの形成と現状

2 学会等研究発表

1. 謝振威. アニメーション史を通じた戦後日本のヒロイズムと価値観に関する研究. 日本アニメーション学会・理論研究部会. オンライン. 2021/8/14. 一般発表（口述・ポスター）

3 学会活動

1) 所属学会

1. 日本アニメーション学会
2. 日本映像学会

**氏名：落谷 雄輝**

1 研究題目

中古文学作品の翻案をめぐる研究——アニメ・マンガを中心に

2 学会活動

1) 所属学会

1. 中古文学会
2. 日本文学協会
3. 物語研究会
4. 古代文学研究会
5. 立教大学日本文学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 物語研究会『物語研究 22号』. 編集委員
2. 古代文学研究会. 発表司会. オンライン開催（ZOOM）. 2021/7/11

4) 外部資金の獲得・取組活動

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費補助金採択一覧表

(円)

	補助事業 期間	研究種目	研究者名	学部	研究課題名	期間全体の 助成金額 (直接費+間接費)
1	2020～ 2022 年度	基盤 C	近藤正幸	事業創造 学部	日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略	4,160,000 円
2	2020～ 2022 年度	挑戦的 (萌芽)	平田沙織	事業創造 学部	社会福祉法人におけるディスクロージャーの考察と統合思考を用いたモデルの構築	6,240,000 円
3	2021～ 2025 年度	基盤 C	西村伸也	事業創造 学部	小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ為に環境・行動特性から捉る建築計画研究	4,030,000 円
4	2021～ 2023 年度	基盤 C	田代秀一	情報学部	オープンデータのライフサイクル全体を視野に入れたデータ設計・評価手法の検討と確立	4,160,000 円
5	2020～ 2022 年度	基盤 C	横山昌吾	アニメ・ マンガ学部	映像編集技術のメカニズムの解析と編集教育プログラムの作成	4,290,000 円



## 8. 図書館および図書室

### 1) 蔵書数 ※1

2022年3月31日時点

紫竹山キャンパス	5,485 冊
米山キャンパス	4,373 冊
古町ルフルキャンパス	3,858 冊
アニメ・マンガ図書館	30,293 冊

### 2) 年間受入冊数 ※1

2021年度

紫竹山キャンパス	購入 355 冊	寄贈 489 冊
米山キャンパス	購入 180 冊	寄贈 84 冊
古町ルフルキャンパス	購入 255 冊	寄贈 104 冊
アニメ・マンガ図書館	購入 0 冊	寄贈 27 冊

### 3) 利用状況

2021年度

(1) 開館日数	221 日
(2) 貸出冊数	
紫竹山キャンパス	335 冊
米山キャンパス	521 冊
古町ルフルキャンパス	342 冊

### 4) 内訳等

(1) 蔵書データ 2022年3月31日時点

	図書			電子 図書	視聴覚 資料	雑誌※2		
	蔵書数	和書	洋書			種数	和雑誌	洋雑誌
紫竹山キャンパス	5,485	5,165	320	47		27	16	11
米山キャンパス	4,373	4,285	88			33	17	16
古町ルフルキャンパス	3,858	3,705	153		261	27	22	5

(2) 利用データ 2021年度

	開館日数	貸出冊数	複写依頼
	日	冊	件
紫竹山キャンパス	221	335	18
米山キャンパス		521	0
古町ルフルキャンパス		342	38

※1 視聴覚資料数含む

※2 雑誌は電子ジャーナルを含む

## 9. 学生関係

### 1) 収容定員

学部学科	入学定員	収容定員
事業創造学部事業創造学科	80名	320名
情報学部情報学科	80名	320名
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	80名	320名
合計	240名	960名

### 2) 入試広報活動

- ①入学選考試験実施 全18区分
- ②試験会場 新潟, 東京, 福島(郡山), 長野
- ③オープンキャンパス等の学内イベント実施 全14回
- ④オープンキャンパス無料バスツアーの実施 全6回(4県より運行)
- ⑤高校内進学ガイダンス(出張講義等含む)参加 県内102回/県外25回
- ⑥会場形式進学ガイダンス参加 県内13会場/県外23会場
- ⑦高校生徒, 保護者, 教員等の大学見学の受け入れ 11団体
- ⑧大学公式SNSの設置および登録者促進

### 3) 入学者選抜方法

学部・学科名称	募集定員	試験区分別募集人員											
		総合型選抜			学校推薦型選抜(専願)			一般選抜(併願)			外国人留学生選抜(専願)		
		専願型		併願型	公募型		指定校型	個別試験型	共通テスト利用型		A日程	B日程	C日程
		A日程	B日程		前期日程	後期日程			前期日程	後期日程			
事業創造学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名
情報学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名
アニメ・マンガ学部	80名	25名	5名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名
計	240名	75名	15名	15名	21名	9名	60名	30名	15名	若干名	若干名	若干名	若干名

#### 4) 入学選考試験結果

2022年度入学選考試験(2021年度実施)結果

##### ■事業創造学部 事業創造学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	28	28	28	27	24	3
学校推薦型選抜	30	26	26	26	26	16	10
一般選抜	15	33	32	21	9	14	-5
外国人留学生選抜	若干名	0	0	0	0	0	0
小計	80	87	86	75	62	54	8

##### ■情報学部 情報学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	40	38	28	28	28	0
学校推薦型選抜	30	34	34	34	33	29	4
一般選抜	15	55	54	38	18	15	3
外国人留学生選抜	若干名	1	1	1	1	0	1
小計	80	130	127	101	80	72	8

##### ■アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	34	33	31	30	28	2
学校推薦型選抜	30	22	22	22	20	6	14
一般選抜	15	19	19	17	11	8	3
外国人留学生選抜	若干名	4	4	4	3	0	3
小計	80	79	78	74	64	42	22

##### ■開志専門職大学 全体合計

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
合計	240	296	291	250	206	168	38

#### 5) 在籍学生数

在籍学生数の状況(2022年3月31日付)

(人)

学部学科	1年	2年	3年	4年	合計
事業創造学部事業創造学科	49	61			110
情報学部情報学科	67	74			141
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	40				40
合計	156	135			291

#### 6) 異動学生数(2022年3月31日付)

学部学科	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
事業創造学部事業創造学科	1年	0	5	0	0
	2年	1	2	1	0
	3年				
	4年				
情報学部情報学科	1年	1	5	0	0
	2年	0	3	0	0
	3年				
	4年				
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	1年	0	2	0	0
	2年				
	3年				
	4年				
合計		2	17	1	0

## 7) 学生生活

### (1) 学生生活に関する指導

学生一人ひとりが安心・安全で充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学生生活に関する情報提供や必要に応じた支援・指導を以下の通り計画・実行した。

#### ①新型コロナウイルス感染症対策

2020年度より継続して、2021年度も新型コロナウイルスの感染が世界的にまん延した1年であった。本学では、学内でのクラスター発生の防止を優先的な目標に掲げ、以下の通り対策を行い、学生・教職員の感染防止、クラスターの発生防止に努めた。

- ・授業は教育効果を低下させないために対面実施しつつ、パーテーション等を活用。
- ・臨地実務実習においては企業側のリモート出勤等の状況に応じて弾力的に対応。  
(リモートによる臨地実務実習場所として、学生自宅はもとより大学の教室も利用。)
- ・学内における感染防止の基本的対策の徹底(検温、手指消毒、机椅子等の消毒)
- ・県外との往来、会食機会の削減(県外往来は申請にて管理)
- ・感染者発生時の通報体制の確立
- ・校医、看護師との連携
- ・危機対策本部の設置と定期的な対応策の協議

#### ②駐輪指導

#### ③禁煙指導

#### ④ SNS の利用指導

### (2) オリエンテーション

各学部において学生生活や履修手続き等についてのオリエンテーションを実施した。

### (3) 心理相談

看護師を1名採用し、3キャンパスを巡回しつつ問題を抱える学生の相談に対応した。また、通院が必要な学生や現に通院している学生に対しては、校医(非常勤)との連携によって行為による面談、産業カウンセラーとの面談を行った。

### (4) 奨学金制度

奨学金制度には、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体等によるものがある。

2021年度の実績は次の通り。

#### ①日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金制度(返還義務なし)43名

区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
給付金額	自宅：38,000円 自宅外：75,800円	自宅：25,600円 自宅外：50,600円	自宅：12,800円 自宅外：25,300円
給付期間	採用月～卒業年3月まで ただし、マイナンバーによる収入根拠の見直しにより支援区分の変更があります。		
授業料減免	700,000円	466,700円	233,400円
入学金減免	200,000円	133,400円	66,700円
募集時期	4月～6月	4月～6月	4月～6月

#### ②日本学生支援機構(JASSO)の貸与奨学金制度【無利子】(返還義務あり)63名

#### ③日本学生支援機構(JASSO)の貸与奨学金制度【有利子】(返還義務あり)94名

種類	第一種奨学金【無利子貸与】	第二種奨学金【有利子貸与】
貸与月額	自宅通学者 3万円, 5万4千円から選択 自宅外通学者 3万円, 6万4千円から選択	2万円～12万円(1万円単位)で選択
貸与期間	採用年度の4月から卒業までの最短修業年数	採用年度の4月～9月の間で希望する月から卒業までの最短修業年数
返還期間	卒業後およそ14年から16年	卒業後およそ13年から20年
募集時期	4月～6月	4月～6月

④日本学生支援機構の「学びを継続するための緊急給付金」22名

⑤新潟県奨学金(貸与)1名

⑥古泉育英財団 給付奨学金 2名

⑦森下仁丹奨学会 給付奨学金1名

⑧開志専門職大学 資格奨学生制度 21名

#### (5) 学友会

学生の自主性による文化活動、スポーツ活動ならびに地域活動等を通じて、学生相互の親睦、資質の向上及び健康の増進を図り、学生生活を充実したものにするために、学友会組織「専律会」が発足した。

会長、副会長、学部代表、クラブ運営部長、会計部長、広報部長、監事、大学祭実行委員長を中心に活動した。

・4月16日 第1回 運営委員会

各部門の進捗、組織化、専律会のビジョン、一年生の募集について

・4月27日 第2回 運営委員会

役員三人の辞職案の審議、各部門の新入生確保の進捗、会費額について

・5月24日 第3回 運営委員会

各部門の進捗状況の共有、会計監査、収支報告書の承認について

・6月30日 第4回 運営委員会

各部門の進捗状況の共有、会費増収案、総会の開催について

・7月24日 2021年度第1回 専律会総会

時間：1300～1345

場所：Teams サークル掲示版チャンネル

議事：

1. 専律会の意義

2. 昨年度活動報告及び今年度の計画・会計報告と予算案(会計部、監事部)・各部門活動報告(各部門長)

3. 新規会則案の説明・審議・会費増収案・大学指定クラブ案・その他変更点

4. 今年度役員の発表

・8月5日 第5回 運営委員会

各部門活動報告、将来構想、同窓会発足案、大学祭の課題と今後の進め方について

・10月13日 第6回 運営委員会

前回の会議内容の共有、学園祭の進捗、専律会の在り方(専律会の今後)について

・10月30日 第1回開志専門職大学大学祭「橙華祭」実施

・3月18日～23日 専律会 会長選挙

役職・所属	学部・学年	氏名
会長	事業創造学部 2 年	古津 瑛陸
副会長	事業創造学部 2 年	渡部 優大
学部代表	事業創造学部 2 年	上野 真路
〃	情報学部 2 年	井出 大翔
会計部長	事業創造学部 2 年	石崎 大和
会計部門役員	事業創造学部 2 年	落合 諒
〃	事業創造学部 2 年	高橋 興世
〃	情報学部 2 年	早川 透哉
クラブ運営部長	情報学部 2 年	上沼 大和
クラブ運営部門役員	事業創造学部 2 年	水落 優宝
〃	情報学部 2 年	村田 匡平
学祭運営部長	情報学部 2 年	上田 和史
学祭運営部門役員	情報学部 2 年	池尻 裕輝
〃	事業創造学部 2 年	本間 杏理
〃	事業創造学部 2 年	吉田 拓真
監事部長	情報学部 2 年	平山 泰暉
監事部門役員	事業創造学部 2 年	大平 涼介
〃	情報学部 2 年	箱岩 魁太
広報部長	情報学部 2 年	高橋 朋宏
広報部門役員	事業創造学部 2 年	小野塚優作

## (6) 大学祭

### 1. 実施日時

2021 年 10 月 31 日 (日) 10:00~16:00

### 2. 会場

開志専門職大学 紫竹山キャンパス (新潟市中央区紫竹山 6-3-5)

### 3. 大学祭呼称

橙華祭 (とうかさい)

### 4. スローガン

On Stage

### 5. 大学祭の趣旨

大学祭の目的は、学部間・学年間の繋がり、ひとつの総合大学として横にも縦にも広がりを作ることです。昨年、一期生は入学式も大学祭も無く、他学部と関わりを持つ機会がありませんでした。今年は、学部・学年が共に増えて全体の人数が増えました。そのことにより、多くの人と関わりを持ちたいと考えている学生が多くいます。そのような学生同士の繋がり場の場所になればいいと考えています。(原文)

### 6. 当日スケジュール

10:00 開場 (4 階ステージではリハーサル開始)

#### 【ステージ】

12:25 オープニング

12:30~13:20 音楽バンド (学生バンド BONDY による演奏 50 分)

13:20~13:35 休憩時間 (15 分)・音楽バンドは片付け・学祭ダンスは準備

13:35~13:50 学祭ダンス (学生ダンスユニットによるパフォーマンス 15 分)

13:50~14:10 休憩時間 (20 分)

14:10~14:40 お笑い芸人ライブ (15 分 / 2 組)

14:40~14:50 休憩時間 (10 分 ※少し短め)・Connect の準備

14：50～15：55 Connect KPU(65分)

15：55～16：00 閉会の挨拶

#### 【他企画】

10：00～14：30 適宜休憩を入れながら行う。

学生は 14：30 にはすべての企画を終了し、connectKPU 参加のために S406 へ移動。

### 7. 新型コロナウイルス感染対策

#### ①入構者の限定

「学生・教職員とその家族」に限定。

#### ②入構手続き

入口でワクチン接種者を職域接種履歴で確認。職域接種以外で接種した人には、「証明書予防接種済証」と「身分証明書」を提示することで入構可とする。

または、PCR 検査（過去 72 時間以内）、もしくは抗原検査（過去 24 時間以内）を実施した検査キット等で陰性を証明する。

上記書類を用意できない場合はキャンパス前の特設会場にて検査を行い、陰性だった場合、入構可とする。

#### ③体温が 37.5 度以上、体調が悪い場合は入構をお断りする。

#### ④入構者全員にマスクの着用、検温、消毒を徹底。

#### ⑤ 1F カフェテリアのみ飲食可とする。

##### 【カフェテリア利用条件】

1. 原則 1 人 1 テーブルとする。（間隔は 1m 程度離す）
2. 隣り合う場合はアクリル板で囲む。
3. 黙食を徹底させる。
4. 手指消毒を徹底させる。
5. カフェテリア内は定期的に換気を行う。
6. 満席の場合は入口で列を作って待機。列の間隔は前後 1m 程度空ける。
7. オープン時間を 10：00～14：00 に限定する。
8. 1 回あたり 20 分以内の利用とする。
9. チェックシートに基づいた管理を徹底する。

#### ⑥ステージイベント時の休憩・換気

ステージイベント時の休憩時間を長くとることで、全員を会場外に出し会場内の換気を図る。

#### ⑦ソーシャルディスタンスの確保

密になる可能性がある箇所は適宜、実行委員会が声をかけ、ソーシャルディスタンスの確保を図る。

### 8. バス運行

同日、開催される保護者会と連携し、バスを運行予定。紫竹山キャンパスと米山キャンパス、古町フルキャンパスとをそれぞれ結ぶシャトルバスを一日 3 便を運行。

学校法人 新潟総合学院  
開志専門職大学年報  
2021（令和3）年度

発行日 2023年1月26日

編集・発行 開志専門職大学  
〒950-0914 新潟市中央区紫竹山6-3-5  
TEL：025-240-8118  
FAX：025-240-8123  
URL：<https://kaishi-pu.ac.jp/>

印刷 株式会社ウィザップ